

Brand-New Pride

ともにつくれ！あらたな誇り～伝承と革新～平成改元会

幹事学年も
平成卒に。

平成

紫紺の詩

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会

2016年総明会会報

明治中學校 校歌

校 歌

作詞 武島 羽衣
作曲 楠見恩三郎

作詞 児玉 花外
作曲 山田 耕筈

一章

帝都の真中駿河臺
遙かに望む富士のねの
高きに理想の影追ひて
集る健児勇ましや

一、

白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の棠になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二章

学びの高嶺文の海、
嶮しく荒き行末を
懼れず笑みて進みゆく
我等が意氣は天を吞む

二、

権利自由の揺籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗翳し
高き理想の道を行く
我等が健児の意氣をば知るや
我等が健児の意氣をば知るや

三章

忠と孝の大系を、
色どる正義、愛、誠
我等が胸をかざるべき
大和錦の美ならずや

三、

霊峰不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

四章

世界に王たる日の本の
國民の基と身をなして
我等が校の名を揚げむ
我等が國の威を揚げむ



特別企画

棟朝銀河 跳べ、銀河まで!

明治高校出身のアスリートが五輪の舞台で躍動する、
その名は棟朝銀河(平成25年卒)。
現在慶應義塾大学在学中の22才。
2015年世界選手権で下馬評を覆して
五輪への切符をつかむと、
5月の上海でのワールドカップでは3位。
急激な上昇カーブを描く
棟朝の跳躍の視界に
見えているものは?

取材：水野 勇、田中潤二
文：田中潤二



写真：中西祐介/アフロスポーツ

記憶に残るような跳躍を

北京・ロンドン五輪で入賞を経験している3選手に次ぐ、次世代の選手という位置づけで挑んだ世界選手権。五輪選考を兼ねたこの試合で、勝ち抜いて五輪切符をもぎ取ったのは棟朝。若手のホープは一気に表舞台へ。

演技の出来栄え、難度、高さという3要素の合計点で競うトランポリン競技、棟朝の武器は難度だ。高難度の技を演技に織り込むアグレッシブな跳躍で、高校2年時に日本最高の難度点を記録。その3年後に自己記録を更新。高度な演技構成による難度は世界でも最高レベル。

4年後の東京五輪について、棟朝はこう述べる。「もちろん五輪での結果は大きな目標。でも地元という意識はない」

五輪での結果と同様に、目指すものは自らの武器を磨くこと。世界最高難度の演技へのこだわりを見せる。

「結果で覚えてもらうのではなく、記憶に残るようなことをしてみたい。メダルだけでは若干、物足りない。『とんでもねえ技するやつが昔いたなあ』、と言われる存在になりたい」。

棟朝の跳躍は明・大・明・治の歴史に記録として深く刻み込まれた。我々の脳裏に永遠に焼き付ける記憶を作る挑戦が続く。

棟朝銀河 (むねとも・ぎんが)

1994年4月7日生まれ、東京都西東京市出身。明治大学付属明治中学校、高等学校から慶應義塾大学環境情報学部へ。高校1年時にユースオリンピックで銅メダル。2015年、初出場となったデンマーク・オーデンセ世界選手権でリオ五輪の出場切符を獲得、2016年リオデジャネイロ五輪は4位とメダルまであと一步。2020年東京五輪でのメダル獲得に期待がかかる。169cm、63kg

Profile





写真：日刊スポーツ/アフロ

リオ五輪、トランポリン決勝の演技を終えた棟朝銀河。中田大輔コーチ（左）は、思わずガッツポーズを見せたが、悲願のメダル獲得には僅かに及ばなかった

リオの借りは東京で返す！

ものごころ付いたときから始めた体操競技、そのトレーニングの一環で取り組んでいたのがトランポリン競技だった。小学3年時にルールもわからない中で出場した全日本ジュニア選手権で優勝。小学5年時にはオリンピック強化選手のオーディションに合格したことで、トランポリン一本に競技を絞って世界を目指した。

高校1年時のユースオリンピックで銅メダルを獲得、リオ五輪の代表獲得、ワールドカップの表彰台と、競技レベルは世界のトップに肩を並べた。難度と高さは世界最高峰、あと必要なのは演技の出来栄だけ。

「演技点は少し意識するだけで、今の3倍は良くなる。けれど、難度は短期間ではあげることができない。だから、難度にこだわってやってきた」、棟朝は現在の自分をこう評価した。

五輪直前、難度に加えて安定感も増してきた。成長と勢いに確かな手ごたえを感じながら迎えたブラジル・リオ、現地

時間8月13日。予選を7位で通過して迎えた決勝演技は3回宙返りを5回行うもので、成功すれば予選トップの高磊（中国）に次ぐ難度点「18・0」を獲得できる。

棟朝の跳躍は最後まで美しい放物線を描いた。その得点は59・535、大舞台で高得点をマーク。しかし結果は4位、出来栄を評価する演技点が伸ばせず、わずか0・640点届かず、メダルの壁に跳ね返される結果となった。

棟朝はこう振り返る、「自分の力を出し切った4位ではないので、演技にだいぶ悔が残る」と。

五輪でのトランポリン競技の日本選手成績は、北京・ロンドンともに4位と、あと一歩メダルに届かずにいた。リオでのメダル獲得はトランポリン競技界の悲願となっていたが、またしてもわずかに届かなかった。

「今、自分の中に沸いてくるものは色々ありますが、今回の悔しさは東京五輪でのメダルに絶対に繋がります」

東京五輪で、悲願の扉を開ける戦いは、すでに始まっている。

総明会

総明会の会名は、初代校長の鶴澤總明先生のお名前をいただき、かつ明治中学校・高等学校同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものとして昭和59年開催の第20回総会で命名されました。現在は、「総明会」という表記が正式であることを認識しつつ、日本における漢字表記の基準である略字＝標準字体(新字体)を採用し、「総明会」と表記しています。

◎目次

カラーグラビア	跳べ、銀河まで! 棟朝銀河	1
第52回総明会総会・懇親会のご案内		6
総明会会長挨拶		12
校長挨拶		13
特集1	明大明治今昔物語 ～今明かされる、明治の文化・風習の変遷!	15
特別企画1	27年後の訓示 ～今だから、今こそ聞きたい恩師の言葉	43
幹事学年特別広告企画		49
特別企画2	紫紺通信 ～明治にまつわる話題・情報が満載!	59
特集2	What is 総明会? ～嗚呼45才、なぜ今、幹事学年	67
平成28年度学校報告		85
OB・OG活動報告		101
平成28年度総明会活動報告		161
平成28年度総明会 理事・役員・評議員一覧		162
前年度・次年度・本年度 幹事学年挨拶		178
第52回総明会 御寄付者一覧		181
総明会 会則		183
編集後記		189

(明治大学政治経済学部教授)

安藏伸治

明治大学付属
明治高等学校・中学校校長

明治大学長

土屋恵一郎

(学)明治大学理事長

柳谷孝

第52回 総明会 総会・懇親会のご案内

Brand-New Pride

ともにつくれ！あらたな誇り
～「伝承と革新」～

幹事学年も平成卒に。



昨年の懇親会の写真

日時：平成28年11月20日（日）

総会 午後4時30分から

懇親会 午後5時30分から（受付開始 午後5時）

場所：セルリアンタワー東急ホテル B1F及びB2F

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26-1

TEL.03-3476-3000（代表）

<https://www.ceruleantower-hotel.com/>

会費のご案内

今年もあります！ 便利な事前納付！お得です！

今年も会費事前納付制度を実施いたします。当日のお支払いに比べ、**1,000円割引**させていただきます。ぜひ、ご利用ください。
事前納付のお振込み先につきましては、下記をご覧ください。

	当日払い	事前納付
一般会員(昭和50年から平成16年までのご卒業)	10,000円 >	9,000円
シニア会員(昭和49年以前のご卒業)	8,000円 >	7,000円
ヤング会員(平成17年から24年までご卒業の社会人)	6,000円 >	5,000円
学生会員(大学生・大学院生)	3,000円 >	2,000円
ご同伴者(上記会員が同伴する会員以外の方)	5,000円 >	4,000円

会費 事前納付振込先

10月31日(月)までに納付をお願いいたします。
入金確認のため、氏名の前に卒業年を入れてください。ATMでの振込名義の変更は可能です。

例：昭和年代卒業の方：61 メイジ コウタ
平成年代卒業の方：ヘイ 10メイジ チュウタ

個人名義の同行口座間のATMおよびインターネットバンキングを利用した振込は無料です。
ATMご利用の場合、時間外手数料が発生するケースもございます。

- 第五十二回 総会式次第(案)

一、開会の辞

二、会長挨拶

三、議長選出

四、書記選出

五、議事進行

六、閉会の辞

第一号議案 会務報告

第二号議案 会計報告

第三号議案 監査報告

第四号議案 その他

ゆうちょ銀行 振替口座

記号：00120-0
番号：265323
名義：第52回総明会総会懇親会
名義カナ：ダイゴジユウニカイソウメイカイ
ソウカイコンシンカイ

三菱東京UFJ銀行

支店名：五反田支店(店番 537)
預金種類：普通預金
口座番号：0496048
名義：第52回総明会総会懇親会
横島 高之
名義カナ：ダイゴジユウニカイソウメイカイ
ソウカイコンシンカイ
ヨコシマ タカユキ

※なお、一旦納付された会費につきましては、お返しできません。予め承ください。当日欠席された場合も、同様にご返金できません。貴重な浄財といたしまして、総明会活動に利用させていただきます。
※誠に手数ながら、ご出席頂ける場合には、同封のはがきにて又は、総明会ホームページよりご連絡をお願いいたします。
なお、出席のお知らせをいただいていない方でも、直前に出席可能になった方など、ご連絡をいただかなくても出席可能ですのでお気軽にお選びください。

総明会ホームページ：
<http://www.meiji-soumeikai.com>

総明会 総会・懇親会 事前企画 その①

就職への近道は『総明会』

～就活生のための有名企業OB・OG紹介～

時間：午後3時～5時

場所：セルリアンタワー東急ホテル B1F特設会場

明治高校・中学校OB・OGによる明治高校・中学校OB・OGのための
有名企業OB・OG紹介、カジュアルOB・OG訪問です。

先輩方が就職支援、業界の実態を解説する超・大型企画です。

ぜひこの機会を、お見逃しなく！

明高明中OB・OGなら事前連絡で誰でも参加可能です。

皆様の先輩方には、すごい会社のすごい肩書きの人が、たくさんいます。

三菱商事とか、丸紅とか、東レとか、パナソニックとか、積水ハウスとか、

富士通とか、東芝とか、マイクロソフトとか、

三菱東京UFJ銀行とか、三井住友海上火災保険とか…

管理職だってゴロゴロいます！

この機会に就職説明会では聞けないぶっちゃけ話も

どんどん気軽に聞いちゃいましょう！

興味のある人は是非以下のフォームにて登録をお願いします！

<https://kaigenkai.org/e16/>

なお、詳細については後日、メールにてご案内さしあげる関係上、
登録するメールアドレスは、PCからのメールも受信できるアドレスをご登録ください。

キャンセルはいつでも可能です。遠慮なく幹事学年

info@kaigenkai.org

までご連絡下さい。

白熱教室

あの愛のムチをもう一度!!

あの伝説の授業がやってくる、
総会・懇親会当日限りの特別企画。

恩師の授業をもう一度受けたい、
高校時代に味わった愛のムチをもう一度味わいたいなどなど、
高校時代に戻った気分で盛り上がりましょう!

時間：1時限目 午後3時15分～3時45分(予定)

2時限目 午後4時～4時30分(予定)

場所：セルリアンタワー東急ホテル B1F特設会場

もう一度授業を受けたい先生やもう一度の味わいたい愛のムチなど
ご意見があれば、是非以下までメールにてご連絡ください。

info@kaigenkai.org

※現在、講義をしていただく先生方とスケジュールを調整中です。

※会場の都合上、満席の場合にはご入場いただけない可能性もございますので、
予めご了承ください。



平成12年卒 **金森駿介が来る!**

明治にちなんだマジックがみられるかも!?

PROFILE



人数、シチュエーションに応じさまざまな種類のマジックを幅広くこなすオールラウンダーマジシャン。

英語でのショーも得意としており、アメリカ・Magic Castleにて日本を代表するマジシャン、マギー司郎氏の代演として高評価を得る。

技術面においても定評があり、特にコインマジックのテクニックの一つ「コインロール」ではアメリカ人マジシャンが持つギネス記録を大幅に更新する快挙を成し遂げる。

2012年には東京で開かれた国際コンベンションの一つ「Magic Masters Open 2012」にて総合準優勝に輝く。

主な経歴

- 2007年10月 Magic Castle(Academy of Magical Arts Inc.)レギュラーメンバーシップ取得
- 2008年 1月 Magic Castle Scout Caravan 2008 1\$コインロール部門ギネス記録更新
- 2009年 3月 Magic Castle Scout Caravan 2009 50¢コインロール部門ギネス記録更新
- 2010年 8月 Magic Masters Open 2010 Technical Award 総合優勝
- 2011年 8月 Japan Greatest Magic Convention ゲスト出演
- 8月 Magic Masters Open 2011 Central Tournament 優勝
- 9月 Magic Masters Open 2011 World Tournament ベスト8
- 9月 Japan Cup 2011 第3位
- 2012年 3月 Magic Castle “Palace of Mystery” 出演
- 8月 Magic Masters Open 2012 World Tournament 準優勝
- 2013年 8月 Magic Masters Open 2013 World Tournament ベスト4



明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
総明会会長

「若い人の参画を」「母校と交流」「財政基盤の確立」を実現する

吉田 耕太郎

昨年の第51回総明会総会において、会長の大役を仰せつかりました吉田耕太郎です。不器用、浅学の若輩者ではありますが、どうか宜しくお願い申し上げます。

私は、明治高校を昭和45年3月卒業、中・高・大と応援団に所属しており、母校恩師の導き、先輩・後輩、そして同期との繋がりなどの中で「明治」を学ばせて頂きました。今、ここに自分があることは、「明治」のおかげと得心しております。総明会との関わりは、応援団OB会活動の中で多少なりともあったのですが、幹事学

年を務めた向殿会長（現・総明会名誉会長）時代からでした。当時は、調布への移転問題があり、続く佐久間会長、尾島会長時代には、総明会の充実と発展がはかられ、母校

100周年、総明会創設50周年などの記念事業を務められ、そのお手伝いをして参りました。

私は、会長就任挨拶の中で、「若い人の参画」「母校と交流」「財政基盤の確立」を述べました。母校も調布移転と同時に共学となり、総明会会員にも女性会員が増えてきたことは皆様ご存じの通りであります。

総明会も時代の変化に即応して行かねばなりません。

総明会の各種行事には、私共もそうでしたが、幹事学年を経験してからの参加が大多数であるようです。卒業と同時に総明会会員であるのですから、もったいない話です。若い人にも大いに参加してもらいたいと思いますし、そのための活動も進めております。

また、会の目的の一つである母校への賛助ですが、母校と総明会は深くつながるべきであり、現役支援と共に、若手会員との交流と育成を兼ねて「調布ホームカミングデー」や

「M(エム)」の復刊、法曹部会（組織委員会所属）の充実などを通じ、若手会員の活性化に努めていきたいと思っております。

しかしながら、これら諸行事を遂行するには、スタッフの皆さんも頑張ってくれておりますが、会員の皆様の暖かい支援が欠かせません。総明会活動のため、ご協力ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

なお本年の総会は、平成元年卒「平成改元会」が幹事学年を務め、「Brand-New Pride」ともにつくれ！あらたな誇り「伝承と革新」を掲げて活動しております。真にこれからの総明会に必要なテーマであります。

総会および懇親会で、皆様にお会いすることを楽しみにお待ちしております。



「第一級」の学校へ

明治大学付属明治高等学校・中学校
校長

安藏 伸治

今年の総明会総会は、平成元年に卒業された「平成改元会」が幹事学年として企画・運営されています。新しい時代の新しい力が、総明会を支えていくこととなります。明治、大正、昭和、そして平成と、本校は百有余年の歴史を刻んできました。その中でも2008年の調布市への移転及び共学化は、本校の歴史に非常に大きな軌跡を残しました。

総明会会員の多くは、猿楽町の校舎とあの狭い校庭、男坂の急な階段が、まさに母校の想い出の画像として

脳裏に残っていることでしょ
う。調布に移転後の卒業生には、大きな空に開かれた広々とした人工芝グラウンドや、教室よりも広い100メートルもある廊下のある学び舎、1400名収容の鶴澤総明ホールでの学校行事などが印象に残っていることと思います。

総明会会員は年代により母校に関する異なるイメージを有しながらも、全員に共通して流れている「明治愛」は不変のものでありましょ
う。入学直後の新入生歓迎会では、応援指導班の指導

のもと応援歌、チャンスパ
ターンメドレー、肩を組んで
の三番までの校歌斉唱を経
験し、「紫紺」の血の注入が
行われています。

いくら校長が、国公立大
学や医歯薬系の大学への受
験を勧めても、ほとんどの生
徒が明治大学に進学を熱望
するのは、6年あるいは3年
間育んできた友との友情と
「M」に対する深い愛情があ
るからだと思います。

現在、明治中学ならびに
明治高校は、受験界から高
い評価をいただいています。
中学から高校へは、全員が

英検準二級の一次試験を、
高校から大学への推薦は英
検二級の合格とTOEIC
450点のクリアを条件と
しています。「全員」が、こ
の条件を満たさなくてはな
らないというのは、教育する
側にも大変な努力が必要で
す。これらを満たしながら、
大学進学後は公認会計士や
司法試験、国家公務員総合
職の合格、各学部の総代や
成績優秀者を多く輩出して
きています。

大学に入るための学校で
はなく、大学進学後、あるい
は大学卒業後に評価される
「第一級の人物」を育成でき
る、「第一級の学校」へと発
展していきたいと思ってお
ります。総明会会員皆さまの
あたたかい御支援を今後と
もよろしくお願い申し上げ
ます。

総明会

会長 吉田耕太郎

四十五年卒 獅子の会

副会長 関谷 芳久

四十四年卒 男坂倶楽部

副会長 井家上哲史

五十一年卒 明々会

専務理事 山崎 秀樹

五十年卒 明紫会

常務理事 熊倉 章雄

五十四年卒 明誠会

事務局長 平野 一哉

五十九年卒 明心会

会計 吉武 孝生

五十年卒 明紫会

第52回総明会総会・懇親会

総明会会長（昭和45年卒 獅子の会）

吉田 耕太郎

〒262-0033 千葉市幕張本郷5-5-30

昭和50年卒
総明会
専務理事

山崎 秀樹

明紫会

昭和51年卒
総明会
副会長

井家上哲史

明々会

昭和44年卒
総明会
副会長

関谷 芳久

男坂倶楽部

昭和50年卒
総明会
会計

吉武 孝生

明紫会

昭和59年卒
総明会
事務局長

平野 一哉

明心会

昭和54年卒
総明会
常務理事

熊倉 章雄

明誠会

明大明治 今昔物語

特集1

今明かされる、明治の文化・風習の変遷！



27年ぶりに訪れた我が母校は、まるで違う学校のようにだった。
広いグラウンドに最新鋭の設備、開放的な教室——
華やかで煌びやかな学校がそこにはあった。
明るく礼儀正しい生徒たちは、昔のまま健在だったが
そんな彼ら・彼女らが、もう決して味わえない、
あの御茶ノ水の明大明治を体験したら、どう感じるのだろう。
その「ありえない」ことが、誌上で実現！
今の明高生が、時空を超えてタイムスリップ！
平成生まれが昭和な明治にやってきた！

漫画：薮乃ラン／制作：株式会社ギミック／企画：水野勇
原案：水野勇、福島維規、田中潤二、北條勝彦（平成改元会）／文・構成：田中潤二
Special Thanks：三浦直人、高橋凌士（共楽会）、土屋弦（平成26年卒）

※漫画に出てくるものは、全てフィクションです。

同じ高校ですか？ここは。





それは先生



ここは軍隊か？ 力と力の真剣勝負

明治中学・高校に入学するには、難しい試験と厳しい競争を勝ち抜かなければならない。

中学受験者は小学校で、高校受験者は中学校で、それぞれ真面目な優等生だった、というのがほとんどだが、どこで何がそうさせるのか？ ヤンチャな男子に育ってしまう。

そんな元気な男子と、正面から向き合うためだろうか？

とにかく先生方の気合や迫力も半端ではなく、ときに刺すか刺されるかの緊張感が漂っていた。

威嚇なのか、防衛のためなのか、ムチ（黒板を示す棒）を振り回す人、竹刀を持って授業する人、扇子を振り回す人、通信教育で空手を習う人など愛用の武器を携行したり、武術の技を磨いたりしていて、先生方も日々鍛錬していた。

決して忘れない チーター伝説の数々

そんな先生の中でも、ダントツで迫力があつたのが、「チーター」こと松枝正弘先生だろう。

新入生が最初に松枝先生の洗礼を受けるのは入学式だ。司会進行である松枝先生の気合が入った号令に度肝を抜かれる。

「気をつけ、礼」の掛け声に驚く生徒がほとんどで、「恐ろしい場所に来てしまったのではないか？」と疑念を抱いたものだった。

そして、その気持ちは雪の日に頂点を迎える。「上半身裸・裸足で・掛け声を上げながらのランニング」は、明大明治の名物として語り継がれているが、初めて見るものには、その光景は恐怖に満ちたものだった。

偶然にも、この様子を見てしまった受験生の父兄の中には、願書を出すのをやめた、という逸話が残るほどだった。

昭和晩年、松枝先生は体を壊し、筆者が直接指導を受けた頃には往時の迫力はだいぶ衰えていた。それでも整列中に一切の雑音が消えた緊張感は、決して忘れることはないだろう。

共学化のため？ 時代の流れのため？

当時の校内放送は、バラエティに富んでいた。先生から「来なさい」「来い」「出頭せよ」と怒り声で呼び出され、震え上がったものだ（ほかの生徒は大笑いだったが……）。

また、朝の校門で待ち構える生徒指導の先生方の圧倒的な存在感に、制帽を忘れてしまった日には、恐ろしくて近づけずに遅刻してしまうこともあった。

そんな迫力ある先生たちの姿は、もう見ることはない。共学化のためだろうか、時代の流れだろうか、それとも生徒が変わったのだろうか？ 先生方の生徒

との接し方は大きく変わった。女子生徒を迎えるにあたり、先生たちは彼女たちとの接し方を研修し、現場視察や実習なども行った。

昭和の時代、最も怖かった一人である小西哲男先生が「コニタン」の愛称で、生徒とにこやかに接していた姿に、腰を抜かしたOBは多かったようだ。



▶とにかく存在感があった松枝先生。あれほど緊張感のある時間を過ごすことは、もう永久に経験できないかもしれない。その反動で、ヤンチャをしてしまったという噂も……

明中生・他中生



**倍率は8・6倍！
どれだけ難関？**

「100番落ちる」は、明治中学出身者が高校進学前に何度も先生から聞かされた言葉だ。

昭和晩年から平成にかけての明治高校は、高校から入ってくる生徒が、圧倒的に成績が良かった。

ちなみに、平成元年卒の生徒が中学受験したときの倍率は約5倍で、かなりの難関。決して簡単ではなかった。

しかし、この学年の高校受験の倍率は約8・6倍と、たいへんな狭き門。

「団塊ジュニア」と呼ばれる世代で、人口が多かったこともあったが、とにかく明治高校への受験は厳しい競争を勝ち抜く必要があった。

ちなみに当時の受験生は、多くは明治明治を第一志望にしていたので、合格者はほぼ入学した時代だった。

簡単すぎる授業がいけなかった！

こんな難関を越えてきた

のだから、明治中学出身者が100番、成績が下がってしまったのは無理もない。高校からの入学組は、明治中学出身者とのレベルの差に、驚くことも多かった。

そればかりか、明治中学出身者の態度のデカさや、授業中のハシヤギっぷりには、さらに驚嘆させられたとか？「これが付属校というものか……」と、思い悩む者もいたと聞く。

そして、口を揃えるのが「高校1年の一学期の授業なんて、受験のときに終わっていた。授業簡単すぎ、レベル低すぎ」ということだ。

当時の先生曰く、「真ん中のレベルに合わせた結果」とのこととで、護送船団方式が招いた結果のようだ。ここから慢心が生まれ、明治中学出身者との交流

も深まり、受験での貯金も使用果たし、高校3年時には、マンガのように、すっかり馴染んでしまう者も少なくなかった。

今は中学出身のほづが成績が良い！

現在の明治高校では、当時の時代とは逆転現象が生まれている。安藏伸治校長の話では、成績上位を占めるのは明治中学出身者が多いとのことだ。

これについて安藏校長はさまざまな分析をしていて「我々の教育が上がったのかもしれないし、公立中学の教育レベルが落ちたのかもしれない。慎重に見極める必要がある」とする。いづれにしても、明治中学出身者にとっては100人が加わることに、高校から入学した者は前に古参!? の150人がいることが、さまざまな面で大いに刺激になっていたことは間違いない。

どう呼んだ？ 明中生、他中生

当時は気にしていたわけではないが、なぜ、あんな排他的な呼び方をしていたのだろう？ 高校からの入学してきた者のことだ。

当時、「新高Ⅰ」「他中生」が一般的な呼び方だったが、いろいろ年代によって呼び方が微妙に変わっていて、「外中生」「外部生」など、どこかの傭兵部隊のような呼び名も存在した時代もあった。

現在では「高入生」という呼び方で統一。ちなみに明中出身者は、「内進生」という呼び方が一般的だそう。

ところで明治は中学と高校だけだが、幼稚園や小学校もある青山や慶應はどう呼ぶのだろうか。誰か知っている人いる？

おれにはコレがある。(試験勉強法)



7回目の試験を 乗り切るために―

昭和終盤から平成はじめ、中学・高校を問わずに、定期試験は年7回も行われていた。高校3年に至っては、2学期終了までに7回という、とてつもないハイペースだった。

こうした試験を乗り切るには、もちろん勉強するしかない。その勉強法は人それぞれだが、大切なのは、伝統と友情とテクノロジを最大限に利用することだろう。

伝統Ⅱ 過去問題。友情Ⅱ ノートを借りる。テクノロジⅡ 複写機利用。三種の神器を駆使して、多くの男子たちが明治大学の門を目指した。

寝る子はよく育つ はずだよな？

これら三種の神器に頼らず、独自の勉強法で戦いに挑むも

のも珍しくはなかった。

自らの武器（ノート）と実力でのみ勝負するのは男の中の男で、尊敬と友情を集めたのは言うまでもない。

一方で、さらなる勇者は、コペルニクスの転回により、マンガ誌の巻末に掲載されていた「睡眠学習機」や「Dr. キャッポー」なる、近未来マシンに挑戦した。その効果たるや、目を見張るものがあつたが、敢えて詳しくは説明しない。

最強の勇者は、機械に頼らない「睡眠学習」に挑戦。その結果は、想像に難くないだろう。

今でも活躍中！ 三種の神器

もちろん今の時代も、三種の神器は健在だ。試験が近づくと、調布駅前のコンビニのコピー機には多くの明中高生が集う。ただし、コピー機のある店が数軒なので、たいへんな盛況

況になるのが悩みだという。ちなみに、御茶ノ水には当時、「コピー屋」なるものも存在し、ノートのコピーに困ることはまったくなかった。

一方、過去問題については、近年は先生の入替えが多かったために（とくに調布移転直後）、伝統という武器は失われつつあるという。

いずれにしても、やはり最も大切なのは「友情」ということになるのかもしれない。

まだ売ってるぞ！ブルワーカー

雑誌の巻末の、「興味深げ」な通販広告の巨頭と言えば、「ブルワーカー」の右に出るものはいないだろう。

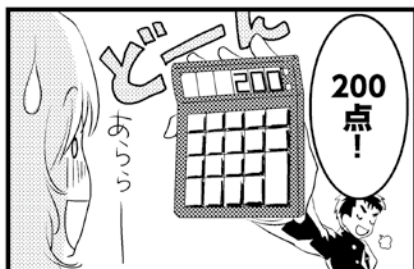
「まったく、カン、タン」に遅くなり、モテモテになる夢を、何度見たことだろう。

ちなみに、ブルワーカーは1964年の発売以来、全世界で900万本以上を販売。もちろん今でも絶賛販売中。あの王貞治選手も、このマシンで鍛えていた時代もあったとか！?



▲このマンガに誘われて、買ったやつ手あげろ～

テスト 40/40



**平均点40点は
まずくないか？**

3学期の期末テストが終了し、最終的に1教科でも赤点(40点未満)となれば、悲しい現実が待っている。進学できないイコール留年することになる。

多感な高校生にとって、留年や推薦取り消しは厳しすぎる現実だが、そもそも普通に勉強していれば、なかなか赤点など取れるものではない。

それでも当時、毎年かなりの赤点取得者が出てしまっていたのは、それなりの理由もあった。「とてつもない難解なテストを出す先生」の存在があったからだ(どのくらい難しいかは、コラム内の問題を参考にしてほしい)。

ある教科では、ドラえものの「のび太」の答案のような点数が続出。平均点が赤点になるという、過酷な時もあった。

**自信を持てば
軽くクリアできる!?**

そんな過酷なテストを潜り抜けるには、綿密な計画が必要となる。

当時、試験は7回、つまり合計で280点を取れば良いことになる。不安の残る教科は、「あと何点必要」ということを認識し、ときには1教科捨てて、この教科に賭けるくらいの心構えも必要だ。

そして最も大切なのは、自分が落ちるイメージは決して持たないことだ。ギリギリのラインで何度も潜り抜けてきた人たちの共通する言葉は、「落ちるイメージはまったく持ってなかった」というもの。不安や自信のなさ、足元を掬われるもとなる。

不思議なもので、ポジティブ・シンキングな人は、危機的状况にも動じずに、ごく普通に

進学を勝ち取っていた。

**落ちても気にするな
人生は長いぜ!**

なお、不幸にも留年したり、大学推薦を受けられなかったりしたからといって、自暴自棄になったり、自信を失ったりしてはいけない。

長い人生の中では、ほんの小さな出来事だ。大学に行けば、1浪・1留当たり前。

この問題解いてみる!

最も難解なテストを出す人の1人が、化学の山脇信彦先生だった。どのくらい難解か、当時の試験問題から出題してみよう! 出来なかったやつ、卒業証書返せ〜。

■問題: 物質の活性化エネルギーが今より小さかったらどうなるか説明せよ。

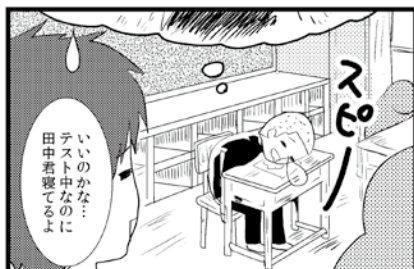
答えは27ページで!



▲山脇先生は超難解なテストを出しておきながら、最後は辻褄をあわせてくれる、不思議な優しさのある先生だった

ドロップアウトしてしまった人たちの、その後の人生を追いかけると、意外と大活躍している。明治より難関大学に行った人、開業して社長になった人、生徒会長になった人など、それぞれ活躍している人が目立つ。明治中学・高校に入れたというだけで、十分、胸を張って生きるべきなのだ。赤点やドロップアウトなど、時が立てば「男の勲章」へと変わるものだ。

テスト完璧



短期決戦を制する
には一夜漬け？

多くの明高生の目標は大学推薦を勝ち取ること。それには定期テストで規定の点数をクリアする必要がある。

できる人は普段の勉強でテストを乗り切れるが、多くは試験直前に慌てて勉強を始めたものだった。

クラブ活動が停止する1週間前から、ようやく本気モードになり、文字通り、寝る間も惜しんで勉強(丸暗記)する。

そして試験前日は、「寝ると忘れてしまいそう!」ということで、徹夜のまま挑戦する人も多かった。

しかしこの方法が通用するのは前半戦のみ。慣れない不規則な生活をする、そのしわ寄せは後半戦にやってくる。

睡眠との戦いにより、かえって能率が落ちてしまう危険性をはらんだ勉強法であった。

編み出された数々の
一夜漬け方法

当時、数々の一夜漬け方法が編み出された。例えば「レム睡眠法」は、浅い眠り(レム睡眠)のときに起きれば頭スッキリ、ということとで計画的短時間睡眠をするものの、そのままノンレム睡眠(深い眠り)に突入する危険性の高い方法だった。

また、「単純な運動を行いながら暗記すると記憶に残る」ということで、眠気退散も含めて深夜に街を歩きながら覚える人もいたが、体力の消耗が激しいうえに、不審者として補導される危険性をはらんでいた。

ほかにも数々の方法が編み出されたが、うまくいったという報告は少ない。ちなみに、科学的には「一夜漬けの効果は低い。記憶は寝ている間に定着される」そう。もともと早く知ってれば深く寝たのに……。

休んだほうが
良かったんじゃない？

寝不足により、試験期間中に体調を崩してしまう例は、少なくなかった。こんなときは、無理せず休むほうが良いときもある。試験中に力尽きて寝てしまい、悲惨な点数となった例もあるからだ。

なお、試験中に寝てしまった場合、普通は試験監督の先生が叩き起こすが、「とても優しい先生」は、マンガのように睡眠を妨げるような行動は取らない。そんな先生は、テストに限らず、授業中も起こさないという一貫性を持っていた。

ところで、テストを欠席した場合はどうなるのか？ 過去の点数に照らし合わせて配点される、ということらしい。なら休んだほうが良くないか？ と、今更ながら思う。

伝説のDr.キャッポー蘇る！

Dr.キャッポーを覚えているだろうか？ 睡眠学習器に勝るとも劣らない超時空学習兵器だ！ 手のひらを機械にかざすだけで、α波があなたの集中力を高め、ポテンシャルを最大限に引き出し、学習効率をアップさせるという、雑誌の裏表紙でよく見かけた、アイツである。

喉から手が出るほど欲しかったあの伝説の

マシン、なんと「ミスターキャッポー」となってAndroidアプリに登場！ しかも、たったの180円だ。



▲Google Playで「ミスターキャッポー」で検索!

棒倒志(体育祭)



「棒倒志」が衰えた 男と男の狂詩曲

選手入場前から血気盛んな輩は、すでに相手を挑発して戦闘モードに入る。

入場の際には、メガネをかけた者は本部テント前に静かに置く儀式を行う。

スタートの号令と共に、男たちは一直線に一本の棒に突撃。競技と関係ない場所で行われる小競り合い。その中に割って入って争いを止める先生たち。討ち死にしてグラウンドに横たわる、名も無き戦士たち。

調布市・つじヶ丘グラウンドで行われていた体育祭のメイْنイベントは棒倒しだったことに異論を挟むものはいないだろう。

草むしりから始まる 秋の大イベント

学校全体の、体育祭に賭ける思いは半端ではなかった。

体育祭数日前に、1日かけて行われるグラウンドの草むしり。本番さながら行われるリハーサル。そしてピタリと揃うまで延々と繰り返される入場行進の練習。

生まれた季節によって四季別に分かれて争われるシステムは実に秀逸で、四季別に応援歌を割り当てられて何度も練習するために(春…紫紺の歌、夏…血潮は燃えて、秋…紫紺の旗の下に、冬…都に匂ふ花の雲)、自

然と自分の生まれた季節の応援歌は習得できてしまった。

危険極まりない 棒倒し競技の行方

なぜか他の学年の競技に借り出されて、1日中競技に参加している者がいる一方で、最後まで観客のままの人もあった。

ほかにも、途中でルールが変更になってしまう長距離走競技、昆虫採集に励む人、やたら張り

切っている体育教師たちなど、たくさんさんの想い出が蘇る。

何もかもが懐かしい、あの体育祭は、2006年のつじヶ丘グラウンドの売却と共に幕を閉じた。その後も明治大学・和泉校舎グラウンドで開催された時代もあったが、棒倒し競技はプログラムから消えていた。

調布に移転した今は球技大会に形を変えて、若いパワーをぶつけ合っている。

棒倒志とは？

天下統一を果たした豊臣秀吉が、全国の大名たちを集めて競わせたのが始まりといわれる。

戦国時代終盤、血気盛んな大名たちは合戦を求めたが、天下人・秀吉は平和に解決する手段として考案。

そそり立つ棒を敵の大將と見立て、棒を倒す＝大將を討ち取ったものが勝者という合戦さながらのルールが受けて、武士の嗜みとして全国に広がった。

1589年には大阪城で第1回全国大会が開催された。なお、第1回の優勝者は真田幸村(信繁)軍で、ここから「真田、日本一の兵」の言葉が生まれたという説もある(民明書房刊、『絶・体育競技指南大全』より)。



▲宮下あきら『民明書房大全』
集英社より絶賛発売中！

文化祭(ナンパ編)



勢いなら負けない！ アタック精神抜群

「女子禁制」の明大明治の掟が破られる日——。血気盛んな男子生徒にとつて、唯一にして最大のイベント、それが文化祭だ。

千代田区猿樂町の近くは、とにかく女子校が多かった。最も近い「神女」をはじめとして、いくつ女子校があっただろうか？ そんな女子が、大挙して押し寄せてくるものだから、健康な男子であれば、それはもうハシヤがないほうがおかしい。

文化祭前は散髪して、ワイシャツにアイロンをかけて身だしなみもスツキリ、万全の準備で当日を迎える。

周囲の雰囲気と勢いも手伝って、ふだん発揮されない勇氣とパワーがみなぎり、「面識のない者に対して、公共の場で連絡先交換に誘う行為」、すなわちナンパに精を出したものであった。

ナンパよりも ドキドキのイエデン作戦

訪れた女子高生たちも、おそらくは「出会い」目的で来ているので、電話番号を聞きだすことは決して難しいことではなく、5人・10人当たり前だった。しかし、当時の状況から、ここから先に進むのは難儀だった。最大の関門がお誘いコールだ。

当時は携帯もメールもない時代。「家に直に電話」、通称…家電（イエデン）しなければなら

家電（イエデン）トラブル事件簿

「家電（イエデン）」してのトラブルが多かった当時だが、その中でも最高傑作が以下の事例。

「父親が出て、正直に『明治高校の鈴木（仮名）』と名乗ったら、『明治って、中野が明治か？』と聞かれた。御茶ノ水の明治ですと言ったら、繋いでくれた」というもの。

あくまでも予想だが、父親が明高OBか、兄弟に明高がいたんじゃないのかな？

なお、こうしたドキドキイエデンがなくなるのは、ポケベルの登場まで待たなければならない。ポケベルが大流行したのは1993年（平成4年）、もう少し先の話となる。



▲販売当初、メッセージは数字だけだったが、やがて短文も送れるようになった。公衆電話から日本語メッセージを送るには、高度な暗号技術が必要だった

ない。

母親が出るのはまだ良い方、父親が出て切られる・問い詰められる、姉妹になりすましされるなど、ナンパ以上に困難で、ドキドキする瞬間だった。

あのときの勢いは？ 2人きりには滅法弱い

さらに問題は、実際にデートに誘ってからだ。20人・30人と声を掛けているので、もはや名前と顔が一致しない。待ち合わせ

場所でも誰かわからない。

加えて、最も大きな問題は、文化祭の勢いはすっかり消沈していることだ。女性に免疫のないシャイな（人が多かった）明高生は、女子とどう話せばいいのかわからず、盛り上がりがないデートに終始した。

制服でデートするのが夢だった、という人が多かった時代。男女が話しながら歩いている、今の調布校舎の様子がほんとうに羨ましい……。

文化祭(訪問編)



来ないなら
こっちから行くぜ！

明治の文化祭が本番なら、周囲の女子校の文化祭は、いわば前夜祭や後夜祭だ。男子校にとつて知り合い集めのための必須の行事であった。

しかし、当時の男子禁制な学校の文化祭への入場は、決して簡単なものではなかった。それは、近親者のみが入手できる、チケットが必要だったからだ。

小・中学校での同級生、姉や妹や親戚などを介してチケットを入手。ここから、すでに祭りのはじまりだった。

このチケットを持つているだけで一躍クラスの人気者となるほどだった。

綿密な作戦が
勝利を呼び込むのだ！

文化祭に訪問すると、展示物など、そつちのけ。まっしぐら

に声を掛け、デートや合コンに繋げるかがポイント。

ここで、気をつけなければならぬのが、決して高校3年生に声を掛けてはいけないことだ。我々と違って、相手は受験を控えていることが多いので、成功率は低い。まっしぐらに、高校2年の教室に向かうのが必勝法の1つだった。

うっかり中学生の教室に行つてしまい、仲良くなつてしまふのもご愛嬌。それはそれで、楽しい時間だった。

魂のふれあい、合コン

合コン、平成元年における定義では、思春期のオス・メスの魂のぶつかり合い、すなわち合魂が転じて合コンとされる(出典：民明書房)。

男子校にして異性との交際への最初にして最大の場であり、この場を創造できる者(幹事)は、もはや神として尊敬された。

明治でよかった！
のだろうか？

何ごとも、おおらかな時代で、前ページでも伝えたように、電話番号まであれば、簡単に教えてもらえた。

これは、「明大明治」というブランドがあったことも大きい。当時はそれほど意識していなかったが、明治は周囲の女子校に人気があった。女子校の文化祭からの帰り道は、「明治に入つてよかったな」とみんなで同意

しながら歩いたものだった。もつとも、共学だったら、こんな苦勞する必要もなかったのだが……。

そんな思い出の文化祭訪問は、今はほぼ行われていない。それはそうだろう、今は自給自足できるのだから……。

ちなみに、文化祭への来場者は、受験を控えた小学生・中学生とその保護者がほとんどで、ここではナンパが行われることは考えにくい。



▲あの頃磨いたさまざまな合コン術は、その後ビジネスでも大いに活かされた『大人の合コン力検定』石原壮一郎(ソフトバンククリエイティブ)

あのころはラブレター



明治はモテた！ らしいぞ・・・

突然だが、中学・高校時代にラブレターをもらった経験を持つている者は、どのくらいいるだろうか？ ちなみに筆者は、そのような経験をすることなく卒業の日を迎えるに至った。

そんな残念な青春時代を尻目に、もらったことがあるという人は何人かいる。しかも「ある」という人の多くは、1回ではなく複数回もらっているというのだ！

学校周辺には、たくさんの女子校があった。同じ電車でも日、顔を合わせ、気になった子もいた。向こうも認識していたはずだが、それ以上は何も起きなかった、というのが普通だ。

しかし、モテるやつは違う。電車の降り際、校門で待ち伏せ、帰りの駅、バレンタインチョコと一緒になど、なんとも羨ましい経験を、複数回しているというのだ。

ずっと後で知ったことだが、明大明治は、かなりのブランドがあり、女子にとってお近づきになりたい学校の最上位クラスだったらしい。

逆に渡したことあるヤツいるか？

こうした例とは逆に、ラブレターを渡したことのある人は、

どれくらいいるだろうか？ 残念ながら、同期でそのような人は見当たらなかった。

男子校ゆえチャンスは限られていたが、決してゼロではなかった。あの頃、通学の電車によく一緒になった、あの娘に渡してみたら、どんなことが起きたのだろう。そんな経験を、一度しておきたかったと思うのは、筆者だけだろうか？

ところで、今の時代、ラブレターはアリだろうか？ 大学生に聞いたところ、「まずありえない」とのことだ。

イマドキは、あるとしたら、LINEのIDやメールアドレスを渡す、携帯電話の番号を渡すのが健全な方法。ラブレターだと、ネットに晒されるリスクがある、とのことだ。

ラブレターは過去のもの？

ラブレターで思いを伝えるのは、もはや過去の遺物なのだろうか？

世相を反映すると言われる歌謡曲を見てみると、『ラブレター』という文字が含まれるタイトルの曲は80曲近く登録されていて、『恋文』も含めれば100曲以上はありそうだ（歌詞検索J-Lyric.net調べ）。『全裸で書いたラブレター』『完全犯罪ラブレター』など気になるタイトルも目につくが、いずれも古いもの。最近の曲では、やはり存在しないのか？ と思ったが、超イマドキな人が歌っていた！ あの初音ミクが『文学者の恋文』というタイトルでリリースしている！ 歌詞を紹介することはできないが、恋をした少女が切ない思いで手紙を綴る描写が歌われており、今の時代もラブレターの力は失われていないことが理解できる。



▲『文学者の恋文』はアルバム『Nostalgia』に収録！ボーカロイド初音ミクの切ない気持ち共有しよう！ 発売：ピーピング

総明会路線図

昭和30年卒業同期会

エレスア会

八丈島高校卒
「八明会」

二九会

明窓会

明高会

猿楽会

明二会

明高一期会

明高一期会

珊瑚の会

明駿会

三七会

S38

S37

S36

S35

S34

S33

S32

S31

S30

S29

S28

S27

S26

S25

S24

S23

S22

S21

S20

S19

S18

S17

S16

S15

S14

S13

S12

S11

S10

S9

S8

S7

S6

S5

S4

S3

S2

T15

T14

T13

T12

T11

T10

T9

T8

T7

T6

乙丑会

明士会

昭四会

明中

明交会

大平会

虎の会

昭八会

四志会

明中二六会

明中二二会

二三会

明中一七会

午巳の会

午巳の会

明高一期会

明高一期会

明二会

猿楽会

明高会

明窓会

二九会

明楽会

明治会

三三三会

旧雨会

珊瑚の会

明駿会

三七会

S38

S37

S36

S35

S34

S33

S32

S31

S30

S29

S28

S27

S26

S25

S24

S23

S22

S21

S20

S19

S18

S17

S16

S15

S14

S13

S12

S11

S10

S9

S8

S7

S6

S5

S4

S3

S2

T15

T14

T13

T12

T11

T10

T9

T8

T7

T6

乙丑会

明士会

昭四会

明中

明交会

大平会

虎の会

昭八会

四志会

明中二六会

明中二二会

二三会

明中一七会

午巳の会

午巳の会

明高一期会

明高一期会

明二会

猿楽会

明高会

明窓会

二九会

明楽会

明治会

三三三会

旧雨会

珊瑚の会

明駿会

三七会

S38

S37

S36

S35

S34

S33

S32

S31

S30

S29

S28

S27

S26

S25

S24

S23

S22

S21

S20

S19

S18

S17

S16

S15

S14

S13

S12

S11

S10

S9

S8

S7

S6

S5

S4

S3

S2

T15

T14

T13

T12

T11

T10

T9

T8

T7

T6

乙丑会

明士会

昭四会

明中

明交会

大平会

虎の会

昭八会

四志会

明中二六会

明中二二会

二三会

明中一七会

午巳の会

午巳の会

明高一期会

明高一期会

明二会

猿楽会

明高会

明窓会

二九会

明楽会

明治会

三三三会

旧雨会

珊瑚の会

明駿会

三七会

S38

S37

S36

S35

S34

S33

S32

S31

S30

S29

S28

S27

S26

S25

S24

S23

S22

S21

S20

S19

S18

S17

S16

S15

S14

S13

S12

S11

S10

S9

S8

S7

S6

S5

S4

S3

S2

T15

T14

T13

T12

T11

T10

T9

T8

T7

T6

乙丑会

明士会

昭四会

明中

明交会

大平会

虎の会

昭八会

四志会

明中二六会

明中二二会

二三会

明中一七会

午巳の会

午巳の会

明高一期会

明高一期会

明二会

猿楽会

明高会

明窓会

二九会

明楽会

明治会

三三三会

旧雨会

珊瑚の会

明駿会

三七会

S38

S37

S36

S35

S34

S33

S32

S31

S30

S29

S28

S27

S26

S25

S24

S23

S22

S21

S20

S19

S18

S17

S16

S15

S14

S13

S12

S11

S10

S9

S8

S7

S6

S5

S4

S3

S2

T15

T14

T13

T12

T11

T10

T9

T8

T7

T6

乙丑会

明士会

昭四会

明中

明交会

大平会

虎の会

昭八会

四志会

明中二六会

明中二二会

二三会

明中一七会

午巳の会

午巳の会

明高一期会

明高一期会

明二会

猿楽会

明高会

明窓会

二九会

明楽会

明治会

三三三会

旧雨会

珊瑚の会

明駿会

三七会

S38

S37

S36

S35

S34

S33

S32

S31

S30

S29

S28

S27

S26

S25

S24

S23

S22

S21

S20

S19

S18

S17

S16

S15

S14

S13

S12

S11

S10

S9

S8

S7

S6

S5

S4

S3

S2

T15

T14

T13

T12

T11

T10

T9

T8

T7

T6

乙丑会

明士会

昭四会

明中

明交会

大平会

虎の会

昭八会

四志会

明中二六会

明中二二会

二三会

明中一七会

午巳の会

午巳の会

明高一期会

明高一期会

明二会

猿楽会

明高会

明窓会

二九会

明楽会

明治会

三三三会

旧雨会

珊瑚の会

明駿会

三七会

S38

S37

S36

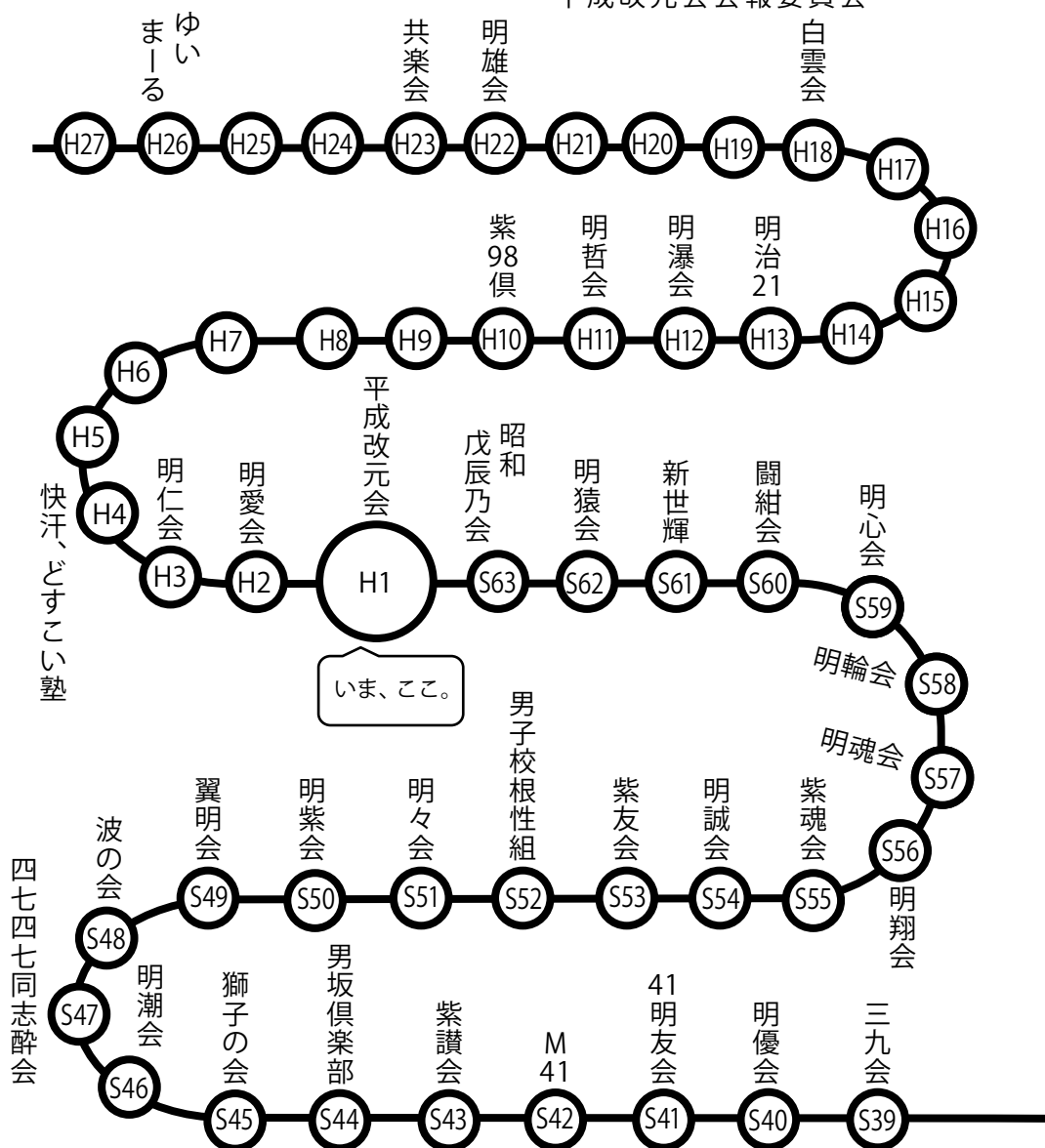
S35

S34

平成改元会 kaigenkai.org

総明会の壮大なる系譜を路線図として作成にしました。
いつの日か、この路線図を継ぎ足し、拡充してくれる
後輩・幹事学年がいることを願っています。

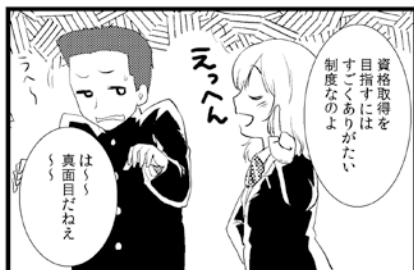
平成改元会会報委員会



このページの本来の内容は、
要請により削除されたため、総明会路線図に変更されました。

平成改元会 kaigenkai.org

大学との交流



これぞ付属校！
高大連携進行中

明治大学の正統な息子・娘である明大明治。その強力な絆によって、現在は、さまざまな連携が行われている。

いわゆる「高大連携プログラム」は、ホームページを確認すると、実に豊富だ。

先生の話によると、これらのプログラムは、資格試験や語学教育には、圧倒的に優位とのこと。

大学の教授が高校に講義に来たり、それとは逆に高校生が大学に講義を受講しにいったりと、さまざまな試みが行われていることが確認できる。

こうしたプログラムにより、高校生たちの学習意欲や目的意識は確実に高まっているという。

あんなに近くだった
にも関わらず・・・

とところで、連携プログラムが

本格的にスタートしたのは、実はわりと最近だ。

ズバリ言ってしまうと、調布に移転してから本格的に行われるようになった。

不思議なのは、猿樂町校舎時代、なぜ何の交流もなかったのだろうか？ 徒歩2〜3分という地理的に近い環境にあったにも関わらず……だ。

もちろん、六大学野球応援

という行事は行われていたが、

昭和末期の時代は、交流らしい交流は、まったく行われていなかった。

ただし、個別の交流は、当時盛んに行われていた。それが「学食（師弟食堂利用）」と「生協利用」だった。

生協は、ほかの書店や文具店よりも、ほんの少しお買い得な価格で販売されていて、何かと

便利。コピー機の台数も多く、試験前を中心に利用頻度は多かった。

また、育ち盛りだった当時、もつとも利用したのは「師弟食堂」だろう。大学進学時には、すっかり飽きてしまうほど世話になった。

そういう意味では、交流は十分に行われていた、と判断しても良いのかもしれない。

師弟食堂に行ってみた

当時の明大明治にとって最大の「高大連携プログラム」の場だった師弟食堂。

かつては小川町校舎（現在の紫紺館）に、その後は大学会館のB1に存在した。そして現在はリバティタワーの17Fに、「スカイラウンジ暁」という名前で絶賛営業中だ。

明治大学の学生食堂は、昔から学生でなくとも自由に食事できる、ということで、早速、リバティタワー17Fに行ってみた。

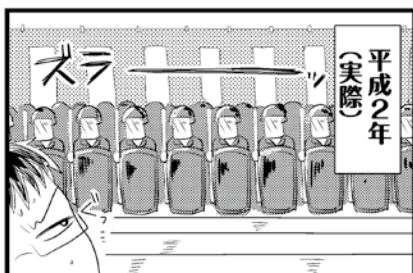
気になったのは、「トリプルカレー（540円）」と、「トリプルラーメン（610円）」だ。この衝撃は、行って実際に見るしかない！

46才のオッサンには、さすがに消化に悪いと思ひ手は出せなかったが、ハラペコな若者には、魅力的なメニューに違いない。



▲トリプルラーメンも衝撃だが、トリプルカレーは、あの「まんてんカレー」よりすごいと思うよ！

卒業式すごろく



この日のために
制帽は存在した!?

制帽が存在した昭和から平成初期の時代、防衛大学のように、卒業式終了と同時に制帽が空に舞い上がるのは、明治高校卒業式の風物詩だった。

この卒業式の制帽投げ、いつの頃からか徐々に派手になり、制帽が宙を舞うと同じくして、紙テープや紙ふぶきが舞うようになった。そんな風景を見た下級生は、翌年さらに派手にしようとして、徐々にエスカレート。

クラッカーが鳴り、さらに爆竹が鳴りと賑やかになり、制帽投げイベントは、明高生にとって、高校生活最後の一大イベントとして定着した。

平成に入り最高潮
行き過ぎに歯止め

そしてこのイベントは、平成元年の卒業式でピークを迎え

た。年々エスカレートしていることに頭を痛めた先生方は、歯止めをかけるために、「卒業式で爆竹を鳴らさないように、紙テープを投げないように」とりハーサル時に忠告していた。

しかし、当時の明高生は、「やっつてはダメ」という言葉をそのまま受け止める人は少なかった。当時、校則は厳しかったが、「お目こぼし」も多かった時代だ。

こうした経験と実績を踏まえると「やっつてはダメ」は「うまくやれ」という意味だと理解していた。うまい具合にやればOKと受け取った高校3年生は大いに知恵を絞った。

そして記念すべき平成元年の卒業式での制帽投げは、新時代の幕開けにふさわしく!? 過去最大に派手に行われた。

卒業式終了時どころか、卒業式の真っ最中にも爆竹が暴発。もちろん、卒業式終了後の制帽が高く宙を舞うときにも相

当量の火薬が投入された。卒業生たちは、何故か1人1つ紙テープを持っていた。約250個の制帽と、紙テープが一斉に天を舞う姿は壮観だった。卒業生にとっては、最高に「うまくいった」卒業式で、父兄からの評判も上々だった。

しかし、先生方の評価はイマイチだったようで……。この「事件」以降、卒業式は厳戒態勢となってしまった。とくに翌年は卒業生入場前に、持ち物チェック、ボディーチェックが行われ

る念の入れ様。開催前の体育館は完全ロックアウト。ネズミ一匹近づけないほどのセキュリティチェックが実施され、昔の卒業式に戻ったのだった。

そんな卒業式の風物詩も、この年(平成元年)の9月に制帽廃止が決まり、徐々に消えていった。制帽を持っていた学年が卒業した6年後には、完全に消滅した。

そして現在では、ごく普通に、おごそかに、卒業式らしい卒業式が行われている。



▶あの平成元年の卒業式のあと、保坂校長(当時)は校長室で涙を流していたとか? いやあへ、うまくやってくれてことだと思っていました……

別の学校に見えても 紫紺の血は受け継がれる

強く逞しく豪快に
泥臭く、おおらかな時代

中学・高校生活は人生で一度しか味わうことはできない。我々が明大明治で過ごした6年間もしくは3年間は、ほかの中学生・高校生と比べると、どう違っているのだろう。

気になって大学

や会社の同期に話を聞くと、彼らは受験を控えていたからだろうか？ 楽しいエピソードを持つものは少なく、高校時代の友人関係は希薄だという。

高校時代の話を楽し



そうに話す我々を、不思議そうな目で見る。あの時代の我々は、熱く・ヤンチャに・全力で高校生活を過ごしていたことに、大人になって気付いた。

団塊ジュニアと呼ばれる我々の世代は、人が多く、何をするにしても競争が激しかった。また『少年ジャンプ世代』とも言

われ、「男子は強く逞しく豪快に」が謳われていた時代だ。実に泥臭く、おおらかな時代だった。

あの時代の、あの文化・風習はもう二度と戻ることはないだろう。寂しい気持ちは

あるが、思い出の中にそっとしまっておくことしかできない。血が騒いだときは、そっと同期で集まって、酒の肴にすること

で鎮めることしかできない。これは打ち合わせが全員男子だったからだろうか、それとも男子校時代を経験している者がいたからだろうか？ 「まったく別の学校」という認識とは、ちよつと違ったものだった。

話して気付いた
同胞の匂い

そんな思いを胸に、初めて調布校舎に訪れると、その広さと開放



た。ピカピカの校舎、しかも共学。昔を知る先生方に話を伺うと、一様に口を揃える「それはまったく変わったよ。やつぱり共学になったからね」と。

詳細を知るために、最近卒業した後輩たちからも話を聞いた。学校行事や名物先生については一一致するものが少なく噛み合わなかったが、ふだんの学

「強いものが生き残るのではない。変わる者が生き残れる」という言葉がある。明大明治は、時代に合わせて変化し生まれ変わったが、そのDNAは消えていない気がする。

今でも紫紺の血は脈々と引き継がれているのではないかと思っている。

特別企画1

27 年後の訓示

今だから、今こそ
聞きたい恩師の言葉



卒業時に恩師からいただいた訓示を覚えているだろうか？

当時の時代に、当時の我々に送った言葉は、
何らかの形で今までの人生の糧となってきた。

あれから、我々にも先生たちにも27年の月日が流れた。

当時を振り返りながら、今の時代を見据えて
幹事学年の卒業時の担任に、もう一度、訓示をいただいた。

取材：水野勇、福島維規、田中潤二、北條勝彦、嶋田剛久、小柳貴裕、
鈴木真樹、伊藤貴淳、篠田守建、瀧慎一郎
文・構成：田中潤二／イラスト：鈴木真樹



A組 西原春雄先生

人生の終わらせ方を そろそろ考えて行動する時

西原春雄先生は、高校3年間継続して英語を担当したため、我々の学年は共有した想い出は多い。自由奔放な我々を、「独立自治」の精神に則り、一貫して生徒本意の活動を支持してくれた。

5年前に退任、現在69才。悠々自適な生活を送る今、我々との想い出と、人生の訓示を、以下のように示してくれた

ノリが良く派手で 打てば響いた時代

平成元年といえ、景気がよく華やかな時代だったこともあって、生徒たちも何かと派手好きな感じだった記憶です。

この頃の生徒全体に言えたことかもしれませんが、非常にノリが良く、打てば響く感じでした。我々が活躍の場を提供すると、それに必ず応えてくれるような、そんな雰囲気がありました。

勉強しない生徒も多かった時代で、どう勉強させるかには苦心しましたが、大学に進学すると、ゼミやクラブでリーダーシップを発揮しているという報告を受け、安心したものです。

残りの人生の 準備を始めるとき

45才を過ぎた頃から、ぜひ考へ・取り組んでももらいたいこと

といえ、**「自分の人生を、どう終わらせるか」**についてです。少しずつ、引退後の人生も考え始めて欲しいと思っています。

45才といえ、人生の折り返し地点を、少し過ぎたぐらいの時期、今こそ次の人生を考えるときです。

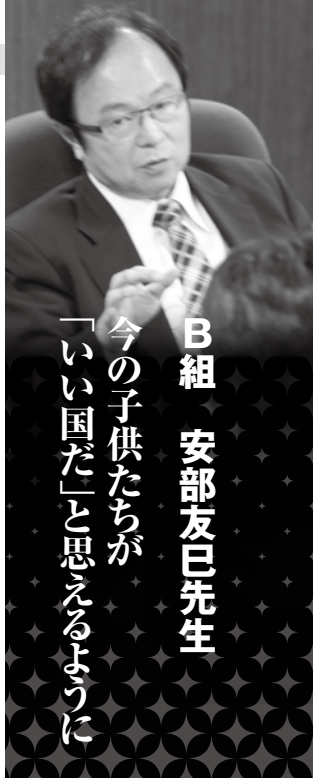
今は会社などで中心メンバーとして働いていることでしょ。学ぶ・考えることといえば仕事・ビジネスに繋がることばかりではないでしょうか？ おそらく、人生の終盤についてな

The days you have spent with here, The memories you have shared with us here, Will keep you young and your life memorable. Be young and grow, MY FRIEND, and discover life is an opening blossom—Deeper color, Wider dimension, Opening, Opening.

——、人生の終盤に、じっくり取り組めるものを、今から見つけていってください。

27年前の訓示





B組 安部友巳先生

「いい国だ」と思えるように
今の子供たちが

黒板に最初に書かれた文字は「仁義」。強面な雰囲気、緊張感漂う授業だったが、その一貫した態度に、多くの生徒が虜になった。

厳しい反面、心に響く言葉も多かったあの頃から27年。再び訪れた教室で、安部劇場は当時のまま開演。あの頃がフラッシュバックするような時間を過ごすこととなった。

勉強の時間を削って 友の為に時間を使っていた

実は君たちの学年が、私が最後にクラス担任を受け持った学年となったんだ。諸君が卒業したあと、学年主任や生徒指導

主任と続き、結果として最後のクラス担任となったので、強烈な印象が残っている。

諸君の時代の明高生と言えば、打たれ強さと逞しさがあつた。蹴られても踏まれても、何ともなかったように立ち上がるような精神力があつた。

そして仁義があつた。根が悪いやつはいないので、悪さしても、説教くらわして反省させれば、ほとんどは気持ちを入れ替え復活して大学に旅立っていった。

ひとこと言えは、人間力があつたのだろう。あの時代の体育祭や文化祭で、勉強そっちのけで諸君がやってきたこと、すなわち友達のために自分を犠

牲に生きてまでやってきたこと、それらは必ず今の時代にも活かされていると思う。

あの頃のあの時間は、ノスタルジックな感覚や皮膚感覚で、良かったと思っていることだろう。

それは決して間違っていない。すべてが正しいとは思わないが、あの感覚はずっと大切にしたいってほしい。

あの場所で培った発想を 今活かすとき！

45、46才になったということ、引退までは最低でも15年くらいはあるだろう。会社員であれば、中堅、もしくは役職についている者もいるだろう。

人生でも仕事の中でも、いろいろ潮目が変わってきて、その変化に対応するために、勉強しなければならぬことも多いだろう。しかし、諸君たちは、それに対応する力を持ち合わせている。あの3年もしくは6年で

必ず身につけているはずだ。

そして君たちには、この国を、今の子供たちが大人になったときに「いい国で育った」と思えるようにしてほしい。その下地を作るのが、ちょうど諸君たちの年代の役目なんだ。

そのためのアイデアを発想する人間を育てるための、中学・高校時代だったはずだ。あの場所ですべてを磨いて、子供や後輩のために頑張るって欲しいという気持ちだ。

これが私からの「アベノミクス」だな。

27年前の訓示

卒業おめでとう！ 情報化社会に出帆する諸君は、如何なる状況にあつても、何事についても、すぐに〇×がつけられる実力を付けてください。そして男としての筋目だけは違えないで生きられる力もつけて下さい。



C組 田中徹太郎先生

各々の人生の中で
次世代の足場作りを！

我々の学年が、最も長い付き

合いとなったのが田中徹太郎先生だろう。中学からの者は5年間、高校からは3年間、田中先生にはお世話になった。

明治高校OBゆえの学校愛と、男子校ゆえの「Hな話」から多くを学んだ我々が、今再び人生後半の教えを請うと、そこには大きなランドデザインを描いた地図が用意されていた。

熱いハートと 力強い生命力があった

まだ私も若かった時代で、若気の至りも多かった。思わずカッとなると、皆さんも負けじと対抗してきた。本気でぶつ

かった記憶もあります。

男子校ならではの、生意気さや気骨さがあり、気概にあふれていた時代だった、そんな思い出です。

今とは生徒の家庭層が違って、商売されている家庭が多かった。私立なので比較的裕福に育ったのだと思いますが、「ボンボン」というのとは違い、お金を派手に使ったり、わがままを言ったりするようなことはなかった。きつと親の苦労を見えていたのでしょう。

だからかもしれません。仲間を助ける、いい気風があった。陰湿なイジメも少なく、生徒同士でよく助け合っていた。友人を大切にしているのが傍から見

て微笑ましかった。

熱いハートと力強い生命力があふれていて、地に足が付いていた気がします。

この国の方向の 先鞭を付けるべし！

皆さんは、社会の中核で活躍しているのはもちろん、組織を下支えしているポジションにいる人も多いでしょう。だからこそ、この国の30年後について考えて欲しいと思います。

今、この国で最も大きな課題は高齢化です。皆さんが、引退しているだろう30年後くらいには高齢化率が35%を超えるというデータもあります。

大きく需要が減ったそのとき、不足分を海外に出て求めるのか、深化させて国内需要を掘り起こすのか、それぞれの選択があるでしょう。その方向性を、今皆さんの世代が示すときです。ビジネスチャンスを作り、

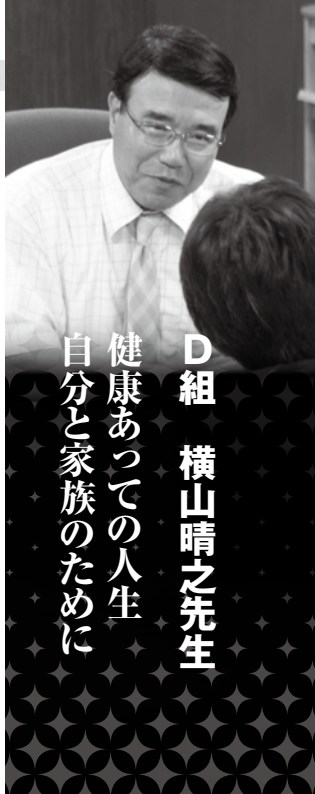
後輩を育てるための布石を、今打っていつて欲しいです。

個々の環境や社会的なポストは別問題です。各々の人生の中で方向性を示し、その足場を築きあげてください。

この国は今、衰退する可能性にあります。そうならないように、先鞭を付けるのが皆さんの世代の役目です。

27年前の訓示
タフであれ。





D組 横山晴之先生

健康あつての人生 自分と家族のために

横山晴之先生はD組の担任を担当。高校3年に進級してから初の顔合わせという巡り合わせだった。大学推薦がかかった1学年のため、テストで点を取ることに血眼になっていた1年だった。そんなときに、横山先生は「ここは出そうな気がする」などと、ボーナス発言を連発。大いに救われた記憶がある。いつも柔和な笑顔で丁寧な授業を進めた横山先生は、今回の取材でも丁寧に受け答える様子が印象的だった。

「壊す」のが得意な 素直でわかりやすい生徒

男子校だった時代全般に言

えることになりましたが、とにかく活発だったという印象です。活力がみなぎっていて、そのパワーがさまざまな方向に向かって、いろいろなものを壊してくれたなあ、という想い出があります。器物だけではなく、規則も(笑)。

良く言えばバイタリティーがある、悪く言えば悪ノリという印象もありました。いたずらも多く、今とは全然違う苦勞をしたなあ、と思います。

ただし分りやすい生徒が多かったという印象です。例えば悪さをしてガツンと怒ると、素直に反省するので、本気になって怒っていました。

私が若かったからかもしれま

せんが、お互いの奥で理解できていた気がします。

無理が利かなくなる時期 身体と家族を大事に！

私がちょうど40代半ばの年齢だった頃に、ある先輩の先生から、「これから残り半分の人生、よく考えて生きた方がいい。とくに体力と健康」と言われたことがありました。

そのときに私が何をしたいというわけではありませんが、今になってみると、とても大切な言葉だったと実感しています。

月並みな話かもしれませんが、健康には十分に気を遣ってください。どう生きるにしても、体に異常がなく暮らせるというのは、最も大切なことです。

仕事上、今がいちばん活躍できる時期かもしれません。しかし、体力的に無理をすると結局、効率が悪くなるものです。健康あつての仕事ということをや

く理解しておいた方がいいでしょう。

そしてその健康は、自分ひとりだけのものではないことも理解しておいてください。家族を支えるためにも、健康管理は十分に行ってください。

27年前の訓示

10年後、20年後……、この卒業アルバムを開いたときも、高魂を忘れずに、明治高校OBとして何事にも全力で誇り高く頑張ってください。





E組 山口弘先生

「いまから ここから」
いつだって、やり直せる

山口弘先生はE組の担任を

担当。我々の学年が高校に入
学・進学したときに新任の先生
として着任し、翌年から我々の
学年を担当。2年間、古文の授
業を受けた。

年齢が近かったこともあり、
友達感覚で付き合った2年間。
その想い出と人生の訓示を以
下のように語った。

発想力があり 常に楽しませてくれた

当時、採用されて最初に学校
に行くのは前年の卒業式なの
ですが、その卒業式は、松枝先
生の号令に従い規律が保たれ、
雑音が一切ない様子を見て圧

倒されたのを覚えています。

初めて受け持った学年は皆
さんの2学年上の高校3年生
でしたが、いちばん年が近かつ
たこともあったのでしょう。生
徒に助けられながら、奔放に
自由に使われて、いい形で教員生
活をスタートできました。

そのあとに、皆さんの学年を
担当しましたが、初めて担任を
受け持った生徒の父兄の皆さ
んとの交流もあると、さすがに
前年のように奔放にはできなく
なりました。すると、ある生徒
から「先生、先輩に聞いていた
ほど、ハチャメチャじゃないつ
すね、残念」と言われて、心の中
で「仕方がないじゃん」って思っ
たこともありましたが(笑)。

それでも、みんなが自分の失
敗をフォローしてくれ、助けあ
いながら過ごせた2年間だった
ことを覚えています。

当時の生徒は、発想が豊かで
遊び心と冒険心を常に持って
いる人が多かった記憶です。

いたずらをするにしても、独
自のアイデアがあり、感心させ
られたものでした。みんなを楽
しませるのが得意だった人がた
くさんいた、という印象です。

過去は変わらない 今からは変わる

それから約30年、私も職務上
やプライベートで色々ありまし
た。そんな中で7〜8年前に出
会った言葉で、今の生徒にも投
げかけている、こんな言葉があ
ります。

「いまから ここから」

相田みつをさんの言葉なの
ですが、今そしてここ以外に生
きる場所はない」というような

意味です。

生きていれば失敗もあるで
しょう。人間関係で悩んだり、
悲しい別れがあったりもするで
しょう。

でも、起きてしまったことは
変えることは出来ない。ならば、
今ここから、もう一度始めるん
だという気持ちを持って欲しい
と思っています。

27年前の訓示

つらい時こそ君の真価が問
われる。信念、良心をいつわ
ることなかれ。思いやりと笑顔
を忘れることなかれ。



祝 平成改元会 幹事学年特別広告企画

Brand-New Prideの旗の下に

突然の招集と共に、集い・笑い・怒り・泣いた、1年間。

たくさんの“野郎ども”が集い、

力を合わせてできあがったその結実に、
強力にサポートした「七人のネ申々」と、

その仲間たちの勇姿は、

我々の記憶に永遠に刻み込まれるだろう。



澤村大樹



北條勝彦



伊藤貴淳



水野勇



嶋田剛久



大塚太郎



小川和弘

平成改元会一同

青柳孝二・秋元修・浅野秀樹・天野雅仁・天久哲郎・荒井工美・荒木雅人・板倉毅・生井剛・石井一光・石井隆之・石川隆志・石坂孝・石澤正俊・石田義之・石森隆寛・五十野博之・伊藤貴淳・犬山博和・井上正也・今井直紀・岩島仁・岩月稔・岩永泰一・上原達雄・植村兼人・鶴澤隆広・白井裕人・内田雅人・江川隆俊・江川雅登・榎本雄峰・大石圭・大石征彦・大久保聡・大竹一成・大塚俊一・大塚太郎・大橋直昭・大見昌良・大宮美行・大村真之・岡浩之・岡崎謙・岡澤恭弥・小笠原豊・岡田智広・小川和弘・小椋彰・尾関伸浩・越智和敏・落合一博・覚井毅・筑紫彦・笠井英昌・加瀬和人・片山祐司・加藤征二・加藤誠・加藤雅樹・加藤幸秀・金久保武士・金子昭史・金子幸一・加納正之・上萬康広・川上義洋・川口貴之・川路利治・川名英行・関誠智二郎・菊田政寛・菊池源・菊池玲史・木田敏広・北野浩介・木村賢治・木村正・木村秀生・木本春樹・触成之・櫛田忍・久野明・栗原寿生・古賀亮彦・小菅宏信・小関友良・小塚純・後藤恵一・後藤士朗・後藤善勝・小林晃・小林大輔・小林隆之・小林久嗣・小林太・小林充・小松聡・小室毅郎・小柳貴裕・近藤剛・斎藤邦功・斎藤隆・斎藤昇・斎藤雅信・斎藤充生・斎藤祐志・坂巻勝裕・佐々木久寿・定谷正春・佐藤真吾・佐藤博・佐藤仁吉・佐野崇・澤村大樹・篠田守建・芝田秀幹・柴山圭一・嶋田憲司・嶋田剛久・清水康・清水力・下真一郎・白井信吾・白川透・杉山純也・鈴木伯嗣・鈴木恭恵・鈴木大悟・鈴木信宏・鈴木裕之・鈴木真樹・瀬尾俊二・関完二・仙波享・曾根幹・高橋洋志・高橋洋介・高柳昌央・高山仁秀・田炳詰・滝慎一郎・竹内淳見・竹内直孝・竹中将記・竹森彰・田中淳・田中潤二・田中武治・田中直樹・田中博樹・田中裕之・田中康成・田原秀範・田結莊斉治・築城健一・智田幹弥・対馬雅史・辻村直人・土子邦洋・土田直之・坪井冬冬・出店秀明・照田晃司・鳥井一宏・直井康生・中西一成・中野昭博・中村知貴・中村融・西沢隆道・西原崇・西村義喜・西山和彦・西山賢一・二宮忠輝・野口泰光・野尻栄一・野中耕介・野澤政史・野村貴史・橋本浩平・橋本武彦・長谷川俊樹・長谷川雅一・馬場秀和・林忠利・原康史・樋口秀光・平田武・平林俊昌・平原男也・廣瀬博一・四手宏尚・廣山真巳・松浦博之・福井一彦・福岡弘晃・福澤徹徳・福島維規・福本恵・藤松洋光・伏見成司・藤村拓也・古谷裕彦・北條勝彦・前澤英則・正村勝宏・増島康浩・松平盛亮・松葉瀬田隆・松原弘人・三浦聡・三ヶ島誠次男・三沢貴弘・水野勇・美濃部健太郎・三宅隆之・宮崎慎吾・宮崎勇一・宮本孝光・宮本武志・村上將・村嶋健児・森生裕次・森川崇之・森田智比呂・矢口直行・矢代収・矢代隆弘・柳田雄介・矢萩淳・山際得道・山口史郎・山口勝・山下博之・山田健人・山本眞介・山本武史・山本泰輔・油谷敏昌・横島高之・横田直樹・吉井昭・吉川英樹・吉満俊拓・吉田嗣郎・吉田直貴・吉野亮一・四元尚志・米村守・和气眞悟・渡辺隆文・渡辺正嘉・河合直志・松本則之・松本茂峰・草間章宏・三宅博史・田中厚・恵谷稔

生コン・建築資材・ エクステリアの ご用命はオガワまで



弊社施工例



専務取締役
小川和弘
平成改元会
(平成元年卒)

エクステリアの販売・施工と生コン・建設資材販売



株式会社オガワ

横浜市保土ヶ谷区宮田町 2-155-10 tel: 045-332-1411

fax: 045-335-2421 <http://ogawa-yokohama.com>



人と緑をつなぐ



日章造園株式会社

東京都目黒区下目黒 3-8-5 Tel. 03-3716-3221
www.nissho-zouen.co.jp



代表取締役社長
 澤村 大樹
 (平成改元会・平成元年卒)





NIGHT

NIGHT OCARINA

ナイトオカリナ

楽器一筋90年
大塚楽器製作所



NIGHT
MADE IN JAPAN
AC



株式会社大塚楽器製作所

〒114-0012

東京都北区田端新町1-5-7

<http://www.ocarina.co.jp>

代表取締役 大塚 太郎
平成改元会 (平成元年卒)



とぼけないで

ナカヤスって
知ってるわね？



それは…



覚えて

おきなさい。

私は
ナカヤスしか
行かないの。



DIYからPRO仕様までの金物店。朝6時からクギ1本でも販売。

創業
昭和
15年

中安商店

東京都中野区本町 6-1-1

03-3381-6495

北條勝彦 (平成改元会・平成元年卒)



世界でひとつをあなたに

abbey

<http://abbey.tokyo>

セレクト・オーダーメイドジュエリーショップ / 東京

株式会社 嶋田プランニング
代表取締役 嶋田 剛久 (平成改元会・平成元年卒)
吹奏楽班 OB
090-9105-9374 shimakaigenkai@gmail.com



そろそろと

やめないでオカ

会報誌

続 き は W E B で !!

ここらをもって紙の会報誌をやめるべきです。幹事学年の自営業者の割合も少なくなり、時間的制約が多いサラリーマンが大多数です。その数百万に上る費用集めから始まり、膨大な制作時間を要し、厳しい締切がある紙での会報誌は、その存続が自らのクビを絞めているに等しい状態です。

編集の自由さ、作業軽減、経費削減を鑑みて、紙媒体は廃止しWEBでの掲載・展開を、ここに強く訴えます。



伊藤貴淳 (平成改元会 / 平成元年卒) 及び 平成改元会有志一同



ゆめまで運ぶよ。

GigaFile便

<http://gigafile.nu>

おかげ様で6周年。63,871,516人にご利用頂きました。
これからもご愛顧よろしくお願いします。

IT・サーバー関連のご用命は
弊社 nu-face 03-6380-6442 まで。

ギガファイル便・代表

株式会社 nu-face 代表取締役

水野 勇（平成改元会・平成元年卒）



2016年度総明会会報「紫紺の詩」 アンケートのお願い



読みやすい、楽しい会報誌発行のために、
みなさんの声を集めています！

総明会・会報委員会では、今後の会報の編集のあり方、企画の立案のために、アンケートを実施いたします。今後の編集作業の参考とさせていただきますので、以下URLからアンケートにご協力をよろしくお願いします。

アンケートはこちらから！
<http://prt.nu/0/soumei>



2016年会報誌の表紙について

2016年の幹事学年からは、いよいよ「平成」の卒業となります。
元号が変わったことを、最も象徴した瞬間といえば、のちに総理大臣となる小渕恵三官房長官(当時)が、平成の元号を発表した瞬間だったのではないのでしょうか？
何か新しい時代が始まることを思わせたあの瞬間を表紙にすることの意味は、新時代の同窓会のあり方、方向性を模索する第一歩を提言することでもあります。
平成とは、「内外、天地とも平和が達成される」という意味。会員、学校、先生、現役生徒など、明大明治に関わる人たちすべてに、平和が達成されることを願い、この表紙とさせていただきます。

表紙写真 (c)Kaku Kurita/amanaimages

総明会 顧問(昭和32年卒・明治会)

山崎 敬生



市原企業株式会社 代表取締役
〒299-0102 市原市青柳2-1-23

昭和36年卒

総明会 名誉会長

明治大学校友会会長

明治大学名誉教授

向殿 政男

TEL.03-3701-1691

E-mail: masao@g03.itscom.net

第52回総明会総会・懇親会

総明会顧問 (昭和41年卒・41明友会)

学校法人明治大学 評議員

尾島 育四郎

〒150-0001 渋谷区神宮前5丁目41-6

(学)明治大学

総務担当
常務理事

大田原 健司

〒二六、〇〇〇三
荒川区南千住二、三四、四
電話 (三八〇一) 六八三〇

重盛 元也

明治高校PTA顧問
明治白駿会

登録商標 ゼイタク煎餅
東京名物 重盛の人形焼

総明会 顧問 総明会元会長

弁護士 佐久間 洋一

昭和43年卒 紫讃会

事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座6-12-1 第2寿ビル7階
電話 03-5568-6646 ファックス 03-5568-6648
URL <http://www.sakuma-law.com/>

特別企画2

明治にまつわる話題・情報が満載！

紫 紺 通 信

この1年に明大明治周辺で起きたエトセトラ。
活躍する卒業生、名門復活の胎動、新たな試み—
さまざまなニュースをダイジェストでお送りする。



紫紺通信

明大明治との5つの物語

棟朝銀河 解体新書

文・取材・田中潤二(平成元年卒)



この1年の急成長で、若手のホープから日本のエースとなった。世界の頂点は射程距離に入った

母校・明大明治には器械体操部もなければ、練習する施設もない。またスポーツ特進制度もない。それなのに、なぜ明治に？そしてどのように育ったのか？ 棟朝銀河選手の明治での6年間に迫った。

① 明大明治を選んだ理由

「中高大」貫教育だからです

ね。競技をする上で、いちばん伸びる中学・高校時代に、受験勉強のため競技を中断ということはしにくかった。その上で、学力にいつでも頑張れる環境だった」

これが小学生時代から世界の頂点を目指す気持ちのあった棟朝選手が、明大明治を選んだ理由だ。

小学校時代は受験と競技で大忙しだった。体操は週6、トラン

ポリンは週2、塾は週2というスケジュールで、もちろん学校もある。土曜日はすべてに参加するというハードスケジュールをこなした。

こうしてじつくり競技に取り組める環境を手にした棟朝選手は「でも結局、大学受験しちぎったんですけど」と笑う。慶應義塾大学を選んだのは「競技の研究と実践が両方できる」環境だったからだ。

② 文武両道これ極まれり

明大明治への入学は簡単ではないうに、入学後も言われるほど楽なものではない。

世界の頂点を目指す競技生活だったが、学業をおろそかにすることはなかった。

「スポーツだけ、勉強だけ頑張るといふのは、好きではない。選択肢の幅が狭まる」という言葉どおり、文武両道を超ハイレベルで実践していた。

成績はだいたい10番以内、中学

3年時は学年1位も経験したという。

「(中学3年時は)頑張ることに成績も上がった時期で、両立のピークだった。この年の夏の全日本ジュニア選手権では最優秀選手で優勝、休み明けのテストで学年1位。『両方一番キター(笑)』、みたいな感じでした」

③ 学校での想い出

授業が終わると、まっすぐトランポリンの練習へ。そんな中学・高校生活だった棟朝選手だったが、学校生活の中で、いちばんの想い出は紫紺祭だという。

競技のため部活動はできず、なかなか学校行事にも参加できなかった。しかし紫紺祭では、みんな準備して組み立てることを経験、普通の中学・高校生らしい生活が新鮮で楽しかったという。そして紫紺祭では「応援団を見るのが大好き」だったという。

「中学の時、めちゃくちゃ憧れて

いた。当時いちばん上の学年の人で、すでに『応援団』という人がいて、カッコイイなあと思って見ていた。競技をやっていたのなら、たぶん応援団に入っていたと思う」といふほど思い入れがある。ちなみに棟朝選手は、中学1年のみ猿樂町校舎に通学している。「最後の男子校生として誇りを持っている(笑)」そうだ。

④ やり残したことを 将来の夢

トランポリン競技はピークが20代後半から30代前半といわれる。トランポリンに限らず、アスリートがアスリートでいられる時間は短く、その後「の人生のほうが圧倒的に長い」。

選手としての目標は巻頭で触れたとおりだが、人生においては以下のように述べる。

「学力も競技も頑張ってきた、今はいろいろな選択肢はあると思う。自分は今、このチャンスを活かし

て、何を選んだらいいんだろう、というのがはある。ただ、せっかく競技にここまで関わってきたので、競技に貢献できるようなことは、やっていきたい」

競技も学問も全力投球だった棟朝選手だが、それでも、やり残したことはあるという。

「小学生の頃から普通の人は違う道を、ずっと歩んできた。普通の学校生活——、部活について少し調べて、というのも、少しは経験してみたかったかな」と笑う。いいながら、実は棟朝選手は部活に参加したこともあることを告白。

「小学1〜2年生まで水泳もやっていた、東京都で6位ぐらいまでいった。それを知った水泳部の顧問の故土岐(明利)先生が誘ってくれて、数回だけだけど一緒に泳がせてもらった」。

トランポリン、体操、水泳、そして勉強、どれも一流なのが棟朝銀河の流儀なのだ。

⑤ 学校そして後輩へ

恩師で最も想い出に残っているのが、中学でも高校でも担任だった元谷恒先生だという。

「入学当初は問題児なほうだったと思う。それを、元谷先生に更生させられたというか(笑)。いろいろ迷惑もかけたし、自分が変わるキッカケを作ってくれた先生だと思っている」

そんな明治中学・高校の在校生にメッセージをお願いすると、以

下のように語ってくれた。

「付属校であれば、ある程度の学力で大学に行ける。勉強以外の自分の好きなことに熱中できる環境は魅力だと思う。僕の場合はそれにトランポリン競技を選んだ。今は大学でやる研究が高校でできたり、先に単位が取れたりできる。そういうチャンスをしかり活用してほしい。せっかく勉強だけに捉われない環境にいて、将来について考える時間がたくさんあるのなら、自分のなりたいたいものに向かって、時間を使してほしい」



棟朝選手の武器の1つが高さ。ジャンプの高さは8mに達し、着地の衝撃は1トンを超えるという

紫紺通信

OBたちとの二人三脚で！

フエンシング同好会発足

文・福島維規(平成元年卒)

明治高校フエンシング部！

かつてその名は全国に轟いていた。しかし、時代の変遷の中で静かに消滅していた。そんなフエンシング部が復活の狼煙をあげている。その胎動を追う。

再び火を灯した
クラブOBの情熱

明治高校フエンシング部は、戦後のGHQの教育改革で剣道ができなかったことから発足したという。発足当時は同好会ながら選手たちが頑張りをみせ、インターハイ・国体で優勝することで、フエンシング部へと昇格した歴史を持つ。

そして今再び、その歴史を追いかける。今年2016年、同好会として正式にフエンシング

部が誕生したのだ。

誕生のきっかけは、フエンシング部OBの井原健三氏の想いからだった。井原氏は、明治大学フエンシング部監督で、世界フエンシング協会やオリンピック協会の役員なども歴任し、北京オリンピックで銀メダルを獲得した太田雄貴選手を指導した経歴も持つ。

「明高生を東京オリンピックに出場させたい」との想いを胸に、2015年3月の終業式に、明治大学の選手による模範試技を披露したことが始まりだった。

この試技を見た当時の高校生2年生3名(女子生徒2名、男子生徒1名)が興味を持ち、フエンシング同好会がスタートしたのだった。

井原氏の意思を引き継ぎ
名門復活を目指す

熱い情熱を持っていた井原氏だったが、その後まもなく(2015年9月)くも膜下出血で逝去された。しかしその遺志は、かつての部員たちが受け継ぐ。発足当時から関わっていた、フエンシング部OBの岩重哲雄氏らが生徒に帯同し、明大フエンシング部に赴き基礎練習に励んだ。

高体連のフエンシング大会に出場するために、顧問は発足から関わっていた田中徹太郎先生が引き受けた。

はじめ3名からスタートした同好会は、硬式野球部を引退した3年生2名が秋に入会。さらに2016年4月には新たに6名が入会して現在は9名。さらに1名が加わり、活動も活発化してきた。

調布の駅前にフエンシング



活動も活発化！
名門復活に向け部員たちの意気込みも高まる

ができる道場ができ、実践的な練習もできるようになった。練習時の安全管理や費用面では岩重氏らOBが熱心に支える。名門復活への胎動は着実に大きくなっている。

2016年5月、選手たちは初めて大会に臨んだ。結果は全員1回戦負けだった。しかし6月の大会では3度、勝利することができた。

正式な部活動になるには、まだ課題も多い。それでも、OBの方々の支援を受けながら、その歩みは日々、強くなっている。

紫紺通信

共に歌わんな！ 女子初の明高節の舞
二代目女子団長 田勢也子

文・取材：田中潤二（平成元年卒）

見よ、この凛々しい姿を！共に歌わんな、踊らんな、狂わんな（写真：田勢也子さん提供）

男子がいない学年
中学2年の揺動

田勢さんの心の中に、「団

長」の言葉が最初によぎったのは入部して間もない中学2年のときだった。3学年上の押田華穂さんが、初代女子団長に選ばれたからだ。

押田さんが女子団長になったキッカケは、同学年に男子がいなかったことだ。田勢さんの学年にも男子がいなかった。3年後、同じ学年の誰かが、押田さんと同じ立場になるのではな

いかと。

「押田さんの姿には憧れては

はできなかった。本心では高校から男子が来ることを祈っていた」。

しかし、その祈りは届かな

志願して初の明高節
女子ならではの口上も！

かった。それでも学年内に動揺はなかった。皆で団長を目指す気持ちでいようと話し合った。高校1年の春、田勢さんの団長の歩みが本格的に始まった。

田勢さんは団長になるにあたって、「私にしかできないことをやりたい」と考えていた。その1つが、応援団とチャリディングを、より融合させること。合同練習を増やしたり、練習見学の機会を増やしたりして、お互いを尊重できるような組織作りを進めた。

そしてもうひとつが、明高節だ。田勢さんは当時をこう振り返る「とてもやらせてはもらえないだろう、と思っていた。ただ、『やっていい』と言ってももらえるくらい練習をして認めてもらいたい」と。

応援団監督の吉田耕太郎氏

にこの思いを告げた。まずは練習させて欲しい、指導していただきたい、と。

この熱意に監督はじめ多くのOBが応えた。先代の団長を中心に特訓が始まった。

冒頭の口上部分は、女子風に少しアレンジした。例えば「明高一の色男」は「モテ女」に、「クレオパトラも楊貴妃も」の部分は「光源氏もキムタクも」になった。

たかさんの情熱と努力が認められ舞台へ。新たな歴史を刻んだ。「歴代OBの方々が大切にしてきて、応援団以外の人も思い出深いもので、受け入れてもらえるかどうか心配だった。やり終えたあと、多くの人に『よかった』という言葉を送ったとき、受け入れてもらったのだと」

今年、明治大学に進学した田勢さんは応援団バトン・チャリディング部に入部。その情熱はまだまだ続く。



紫紺通信

増やせ！ 司法試験合格者

総明会法曹部会発足

文・三神光滋(昭和63年卒)

OBの力で灯せ！
法曹界への志

総明会の会員には少なからず法曹がいます。そのうちの有志が集い、2015年7月1日に総明会法曹部会の設立総会を開催し、旗揚げしました。総明会組織としては組織委員会に属する部会となります。

ご存じの方も多いと思います。法曹を目指す場合のステップとしては法科大学院があり、著名な大学は法科大学院の合格者や合格者数を競っていますが、最近はい込まれる大学

院も少なくありません。残念ながら明治大学法科大学院の成績は芳しくなく、入学者は定員割れの状況にあります。

一方、大会社はもちろん中小の会社でも、昨今はコンプライアンスが重視され、法曹資格者が活躍する分野がますます広がっています。また、我が母校である明治高校においても「法教育」が実施されています。

これらのことを踏まえ、総明会の会員である法曹が力を合わせて、明高生に法曹の魅力を訴えて法曹への志の火を灯そうと、有志が集まり法曹部会を立ち上げることとなったのです。

会長には総明会会長であった佐久間洋一弁護士、顧問に同じく総明会会長であった向殿政男明治大学理工学部名誉教



久勇先生は、「企業内弁護士という選択」という演題で講演を行った

授が就任。明高生から法曹希望者を増やすことと、総明会の中で法曹の縦横の親睦をはかり、互いに切磋琢磨する場をつくることを目的に具体的な活動に取り組み始めています。

高校生模擬裁判
コンクールで優勝を！

具体的な活動の一端を紹介すると、安蔵校長および「高大連携主任」の関根正人先生と連携し、

①日本弁護士連合会主催で行われている高校生模擬裁判コンクールに明高生が参加する道を指導し、ひいては優

勝を目指す。

②明高生を対象に弁護士による講演会を実施し法曹の魅力をアピール(写真参照)。

③学校内のメイン廊下に設置されている掲示板の「法曹部会」専用掲示部分に法曹関連記事を掲示するなどを行っています。

部会の活動は中堅の40期代・50期代から新進気鋭の60期代の弁護士が中心となって展開しています。

さらにベテランから若手の弁護士に広く参加を呼び掛けており、具体的な活動の打合せと法曹相互の親睦を兼ねて、これまで2か月おきに紫紺館で会合を重ねています。

法曹の方はぜひ活動に参加していただき、後輩を法曹に導き母校に恩返ししませんか。

連絡先・佐久間洋一弁護士
メールアドレス
sakumay@sakumajaw.com

服部啓一郎先生は「弁護士の『リアル』と展望」の題目で講演

紫紺通信

さらば「ダオ」

吉田貞夫先生、天寿を全う

文・田中潤二(平成元年卒)

商業、そして技術の教師として、長年、明治中学・高校で教鞭をとった吉田貞夫先生が、2016年3月、静かに息を引き取られた。91才、「天寿を全う」といえるかもしれない。

明治高校OBで現在副校長の田中徹太郎先生と共に、吉田先生との想い出を振り返った。

思い出の「ダオ道場」で聞いた数々の自慢話

吉田先生は、かつて「商業」という教科を担当されていたそうだが、幹事学年の年齢の生徒には技術科の先生という想い出しかない。

当社の愛称は「ダオ」。3号館1階の隅の技術科教室を我々は「ダオ道場」と呼んでい

た。ブックススタンドや文鎮、ハンダ付けによるラジオ制作などを行ったダオ道場は、想い出がいっぱい詰まっている。

また吉田先生のロータリーエンジン論は情熱に満ちていて、今でもロータリーエンジンの言葉を聞くたびに吉田先生の授業を思い出す。

吉田先生といえば、とにかく新しいものが好きだった。最新の機器が発売されると、すぐに入手して、それを我々に見せて嬉しそうに自慢する姿が印象的だった。

ちなみに、いちばんの自慢伝説は、CDプレイヤー購入時だ。当時はまだレコードの時代、吉田先生は誰よりも早く購入して、視聴覚室で音質聴き比べ大会を開催したのだった。

中学1年だった当時、我々はその違いがよくわからなかった。ただ、聴き比べで流した曲「フラッシュダンス」は永遠に忘れない。

「俺は長くない」の予想は大きく外れる

そんな吉田先生は、若い頃核になり、片肺を切除されていた。このため、生前から「俺は長くない」とおっしゃっていたそうだが、その予想は大きく外れることになった。

近年は心臓を悪くし、調布校舎そばの心臓で有名な病院に入院していた。そして退院の時には「明治高校に行きたい」と言い、校門で写真を撮ったこともあったという。

「その際に学校を案内しようとしたものの、遠慮されておりました」と、田中先生は振り返る。

「先日、奥様が来校され、明治高校には感謝をしているとおつ

しゃられておりました。吉田先生をご存知の先生方ともお会いになられ、学校を見学して頂きました」と田中先生は続けた。

吉田先生は田中先生が勤め始めたときの学年主任だったそう。教師としての手ほどきを、たくさん受けたという。そして、その人柄には何度も魅了されたそう。

もう一度、吉田先生の自慢話を聞きたかったなあ……。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



中学1年時の集合写真。吉田先生はA組担任兼学年主任だった



桜なべみの家
永瀬 守

(昭和62年卒 明猿会 水泳部OB)

電話 **3631-8298** (代)
ばにくや

毎週木曜日定休

(5月より10月まで第三水曜日も休みます)

営業時間 正午より午後九時迄
二時より四時迄準備中
但し、日・祝日を除く

江東区森下2丁目19番9号 <http://www.e-minoya.jp>

特集2

What is

嗚呼45才、
なぜ今、幹事学年

総明会?



卒業から今日まで、どれほど母校が心の中に去来していただろうか？

多くは、遠い昔の思い出、記憶の片隅に残っている程度だった。

それが突然の招集とともに、この1年が始まった。

今まで何も知らず・意識もしていなかった、総明会の存在。

まだ同窓会など意識することはない在校生が、

もし、幹事学年を味わったら？

タイムスリップで27年後にやってきたときに、彼らの目に映った総明会は？

漫画：薮乃ラン／制作：株式会社ギミック

原案：水野勇、福島維規、田中潤二／文・構成：田中潤二

Special Thanks：佐久間洋一（紫讃会）、他たくさんの先輩方

※漫画に出てくるものは、全てフィクションです。

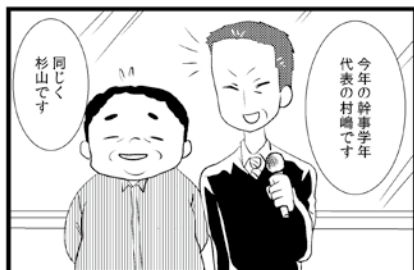
総明会ってなに？



What is 総明会?



45歳でパシリ



What is 総明会?

突然の連絡は昔から
良かった試しなし!?

長年、音信不通だった同級生から、突然、連絡があったときは氣をつけたほうが良い。良くて保険の勧誘、悪ければ宗教かマルチ商売へのお誘い、「オレオレ詐欺」の可能性だってある。

明大明治OBで45才だったとしたら、それに、もうひとつ恐ろしいことが加わる。すなわち総明会幹事学年への誘いだ。懐かしさも手伝って、その場の雰囲気に参加を約束してしまふと、色々な意味でたいへんな1年が待っている。

同級生はもちろん、かつて恐れていた先輩に会うこともあるだろう。45才で最年少という奇妙な場所は最初はとても居心地が悪い。

しかし同期・先輩方に支援されながらの1年間の活動で、我々は明大明治の「人間教育」

の素晴らしさを知り、この濃い人間関係を体感することで、母校で育ったありがたさを知ることになる。

誰が決めた?
45才幹事学年制度

ところで、なぜ45才で幹事学年なのか? さまざまな会合で聞かされてきた言葉は、「45才だと仕事も子育ても一段落する頃だから」というものだが、現実には45才ではまったく、落ち着いていない。会社員であれば、仕事は現場と管理の両方を担う時期で「超」多忙。子供だってまだ手のかかる時期、という人も多い。

氣になって調べてみると、50周年記念誌には、こんな一節がある。「昭和54年第15回同窓会は、正式に「幹事学年制」が実施された記念すべき年になった」と。ちなみにこのときは昭和17年卒が担当、55才が幹事学

年だったのだ!

そして「この後は、指名制という形で幹事学年制が継続し、現在に至っている」と明記されており、昭和55年からは28年卒↓31年卒↓30年卒↓32年卒↓36年卒↓33年卒という形で指名され、以降は1年後輩に引き継がれる現在の習わしが続いている(例外あり)。

つまり、幹事学年≡45才というのは結果論で、「落ち着く年齢」という説明は、後付けということになる。

青春とは心の若さ
もう一度あの時代を

「大人の文化祭」「人生と人間関係の再構築」の言葉に嘘はないだろう。あの文化祭の準備のよううな時間の過ごし方を、まさかこの年齢でもう一度味わうことになるとは

思わなかった。

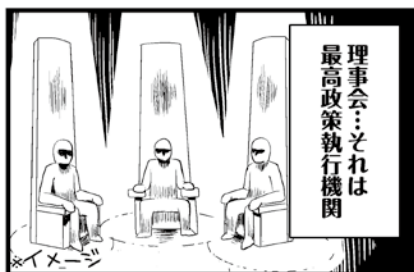
もしあなたが、まだ幹事学年を経験していないのなら、そのときが巡ってきたときは騙されたと思って積極的に参加した方がよい。一文の得にもならないのは間違いないが、人生の巡り合わせの不思議さを知ることになるだろう。

でもやっぱり、こんな経験は一度きりでいい。



2015年の引継ぎ式の様子。45才で最年少という、稀有な世界に足を踏み入れることになる

評議員会・理事会



What is 総明会？

理事会、評議員会……
その役割は何なのか？

幹事学年として活動を開始すると、多くの人は、総明会という組織について、何も理解していないことに気付く。

総会、評議員会、理事会。それぞれの会が、どんな役割を果たしているのか、理解しながら活動している人が、幹事学年にどのくらいいるだろうか？

とくに評議員会と理事会の関係については難しい。会則を確認すると、評議員会は「会則に定める事項やその他重要な事項を議決する」と役割について説明書きはあるが、理事会についての説明は見当たらない。

「理事会は理事をもって構成され、会長が招集する」という文からは、どんな役割を果たしているのか、わかりづらい。

2004～2009年、3期6年にわたって会長を務め、評議員制度の整備に尽力され

た、弁護士佐久間洋一氏は、その関係についてこう述べる。

「いわばアメリカの議会と大統領の関係のようなもの。大統領が理事会、議会が評議員会と考えればわかりやすい」と。

つまり政策の実行と立案が理事会で、評議員会ではその政策の承認が主たる役割ということになる。相互依存関係でありながら、対立要素も入っているのが、理事会と評議員会の関係だという。

ところで評議会では
話し合われる議題は？

評議員会の構成は、現在では各学年(同期会)から2名と、班・クラブOB・OG会から1名で構成され、年間3回開催されている。そんな評議員会では、毎回、熱気に満ちた議論が飛び交っているのをご存じだろうか？

2016年3月に行われた評

議員会を覗いてみたが、「しゃんしゃん会議」とは程遠い、非常に熱気に包まれた会議だった。

とくに質疑応答では、会則の一字一句にまで質問が飛ぶほどで、退屈な会議に慣れた者であれば、驚くこと間違いなしだろう。

我々の声は総会で。
今年は11月20日！

総明会に意見したい、という場合は理事や評議員になって参加するのが早いですが、簡単なことではない。しかし年に1回行われる「総会」は、会員だれもが参加でき、意見できる場所だ。

もし現在の総明会へ提案したいことがあるならば、この日に向けて準備しておきたい。こちらにも、例年「会議は踊る」状態となるので、参加して損はないだろう。

ちなみに今年は、11月20日(日)、渋谷セルリアンタワー東

急ホテルで、午後4時30分から開催となるので、しっかりと予定を空けておこう！



2016年第2回評議員会の様子。最後列で立っているのが幹事学年の面々。評議員会の雰囲気にな食らってしまっていた

18歳に戻ってしまう



What is 総明会？

旧友が一堂に会すると
どうして血が騒ぐのか？

何故なのだろう。個々で会えば年相応の落ち着いた会話がでるのに、一堂に会すると、ハインシヨンになって、はしゃいでしまう人がいる。いや、正確にはみんなが理性を失っている。もちろん、アルコールが入っているわけでもないのに――。

この不思議な現象は、何も我々の学年だけではない。伝統的に、幹事学年に引き継がれているというのだ。

会社に戻れば社長という人もいれば、100人以上の組織を纏め上げるリーダーという人もいる。冷静に議事を進行させる技術に長けているはずだ。

しかしここでは、みなが18才に戻ってしまうのだ。あの頃の学級委員会のように、小さな話題に一喜一憂し、熱くなってしまう。「フスタルジー」という空気は、実に危険な要素をはらんでいる。

活発な議論もほどほどに
過去には分裂もあり!?

幹事学年を引き受けるにあたり、各先輩方からはさまざまなおアドバイスをいただいた。

その中で共通していただいた言葉が「なるべく多くの同期を集めなさい。一人一人に必ず意見を出させなさい。そしてみんなで作り上げたものにしなさい」というものだ。

不思議なもので、意見を出さ

同期会が内紛した理由は？

議論が紛糾しすぎて、同期会が混乱・内紛状態になってしまった、そんな例が過去にはあるという。

偶然にも、その学年の方に話を伺うことができたので、名前も顔も出さないことを条件に取材したが……。なぜ議論が紛糾して対立してしまったのか、分裂の原因は何だったのか、詳しいことはわからずじまいだった。

ただ、そもそもの原因は実に些細なことだったようで、精一杯対立するような内容ではなかった、ということだけは理解できた。

ここは同窓会であって、会社でも政治団体でもない。喧嘩も大いに結構だが、楽しくやらないと意味がないよね？俺らには、そんなこと起きてないよね？



酒の席でも資料を出して超マジな会議やってます

せると18才の時の人間性は、今もそのまま引き継がれている。昔から仕切るタイプの人は、会議を大いに仕切る。保守的な考えだった人はやはり今も保守的、革新的な人の意見は今も大胆。保守と革新の対立は、やはり昔のままで。

もちろん、すっかりキャラが変わっていて、当時では考えられなかったような活躍をする者もいる(その逆もある)。しかし、当時と関係性は変わらないケー

スがほとんどだ。人間というのは、そう簡単に変わるものではないと理解する瞬間だ。

だからといって、当時のノリのまま意見に対立させるのは、決して賢い方法ではない。27年間で寛容さを身につけている反面、思考の柔軟さも欠けてしまっている。過去には幹事学年が分裂・仲間割れした例もあるというので、くれぐれも平和に議事を進めたいものだ。

家族の犠牲の上に



What is 総明会？

母校のためなら
家族も捨てる？

準備期間1年以上、予算規模1000万円超ー。この幹事学年にかかる労力は半端なものではない。熱心に活動した者は、いったいどれほど時間を費やしているだろうか？

人間に与えられている時間は限られているため、日々の生活の中から何らかを犠牲にして活動を進めている。仕事、睡眠、趣味にかける時間……、それぞれ少しずつ削って捻出しているが、最大の犠牲は「家族との時間」と答える人が最も多いだろう。

もちろん独身者もいるので当てはまらないケースもあるが、活動している者の多くは妻帯者で子供はまだ小さいという家庭は多い。

にも関わらず、ある者は毎週末のように寄付活動に出かけ、またある者は取材活動に励む。

何度も会合を開き、その後は飲みに行くものだから午前様。それが月に何度も行われる。はっきり言って、この行動を家族（というより嫁）が理解できるはずがない。

総明会という女はいない
のは今のうち？

テレビドラマなどでは、同窓

夫の行動がまったく理解できません
～T氏の奥さんの場合～

主人の友人といえば高校時代の同級生ばかりで、繋がり深いことは独身時代から知っていましたが、まさかここまでとは思いませんでした。

今年に入って同窓会の幹事になったと聞いてから、もう夫婦の会話は、高校時代の思い出と友人の話と今の高校の話ばかりです。

しかも毎週のように「会合だ、OB会だ、学校訪問だ」と出かけていき、帰りは午前様。男ばかりの集まり、30年以上前からいつも集まる人は一緒というのに、よく飽きないと思います。

最近、小学生の息子を「明治に入れたい」と言い始めています。これは危険な兆候です。家族の会話がますます学校の話ばかりとなり、疎外されそうなので反対です。

それに、私の友人では女子校出身者は変わった人が多いです。だから男子校に入れるのは、息子の人生を狂わせてしまいそうです。

そういえば、主人の友人も変わり者ばかりです。男子校出身者と結婚したのは、つくづく失敗だと(笑)。

え、今は共学なんですか？ でも、やっぱり拒否反応ばかりです。

会で再会して浮気に発展するシーンをよく見かける。我々の場合は男子校なので、こうした淡いシーンは起きることはない(はずだ)。

泥臭く脂っこいオッサンばかりの写真となつても、しっかりと証拠として写して、フェイスブックにでも貼り付けておくのは、家庭崩壊を招かないための必須の行動だ。

かつて文化祭やクラブ活動に熱心になりすぎて、成績急降下・落第という人もいた。これは尊敬されるべき行動だが、アホそのものだ。くれぐれも、この総明会&幹事学年活動で家庭崩壊&離婚という末路はたどらないようにしてほしい。尊敬もされないうえに、アホそのものです。

それは上に聞け！



What is 総明会?

総明会の顔は会長
どうやってたられる?

総明会は1万人を優に超える会員を有する、巨大な組織だ。会員数、組織力、資金力、どの点においても日本でも随一の同窓会組織であることは間違いない。

その組織をまとめるために、本部、理事、委員、評議員などが組織され活動。その頂点に立つのが会長である。

この大組織のリーダーである会長になるためには、どうすれば良いのか? どのように選出されているのか?

詳細は会則を見てほしいが(コラムも参照)、ものすごく簡潔に言えば「候補者から任命」という形になっている。

「民主的に選挙」
ではない深い理由

なぜ、このような方法を取っ

ているか。また、いつこの方法になったのか?

50周年記念誌を開いてみると、「2006年に会長及び副会長の選出方法を規定」と明記されている。

この時代に会長であり、会長選出方法の透明化に尽力された佐久間洋一氏は、当時をこう振り返る。

「それまで会長の選出は、それこそクラブの部長を選ぶときのように、先輩からの指名で、制度自体がなかった。これに不満を持っている人は多かった。それで私が会長を引き受ける際の公約に、『会長選出の透明化』を掲げた」

当時、会長選出方法などで総明会は内紛の危機もあったという。その解消のために、現在の制度が整備された。

ちなみに、会長を選挙で選ばないのは何故なのか? これには実に深い理由が存在する。佐久間氏の言葉を簡潔にまとめ

ると――、

「同窓会は仲良し団体であり、政治団体ではない。派閥を作ったり喧嘩をしたりする場所ではない。選挙という発想もあるだろうが、選挙をすればしこりが残る。それは同窓会にはなじまないと思う。ここは仲良しクラブでいい。なあなあはい

けないと言う人もいるが、総明会は、それでもいいじゃないか。対立するという発想は違うと思う」という実に深い言葉をいただいた。

民主的であることが正しいとは限らない。それは馴染まない場所があるという知恵と発想には、目からウロコだった。

会長選について知っておこう!

詳しくは会則の末尾にある「総明会会長及び副会長選出規定」に目を通して欲しいが、以下の流れで行われる。

- ①選出委員会を設置。委員会の構成は7人で、3人が評議員会から、3人が理事会から任命。もう1人は会長が指名する。
- ②委員会は立候補および推薦を受け付ける。
- ③委員会では候補者を原則全会一致、一致しない場合は複数候補のまま理事会へ。
- ④理事会では1人の場合は過半数の信任で承認、複数の場合は投票で1名の会長候補を承認する。
- ⑤評議員会で過半数の信任をもって承認とする。
- ⑥総会の決議をもって選任となる。

この人たちは…？



What is 総明会?

母校のためなら命まで
高校明治の名は残る

校歌を1番しか歌えない明大生が許せない、そもそもキチンと歌えていない(とくに2回目)の「その名ぞ我が母校の部分」のがもつと許せない。

第一応援歌・紫紺の歌をキチンと覚えていない(「神技の精華」あたりが怪しい)うえに、学生歌「都に匂ふ花の雲」の存在を知らないのが腹立たしい。

明大卒の後輩に会ってもピンと来ないが、明大明治出身と聞くと、何故だか親近感がわいて可愛がってしまう。

もし、そんな経験を持っている人がいたら、母校愛が、かなり強い人に間違いない。

しかし、この程度で「愛校心」を語るの、少なくとも総明会の会合ではやめておいたほうがいい。ここで会う方々のそれは、半端なものではない。「我々には紫紺の血が流れている」と公

言し、その心意気は、なかなか太刀打ちできるものではない。

明大節の一節にある「母校のためなら命まで」を地で行く人ばかりの集まりだからである。

あらゆる関係OB会に参加する人、何十年も所属クラブの面倒を見ている人、欠かさず野球応援に掛けつける人、息子や娘に「明治」や「紫紺」の文字を入れる人、メールアドレスに meiji を入れる人など、母校への献身的かつ無償の愛があふれている人の集まりが、総明会なのである。

息子・娘を母校へ—
これが愛校心の頂点!?

愛校心を口で語るは易しいが、行動で示すのはかなり難しい。そんな中で、「自分の子供を母校に入れる」ことは、かなり計画的・献身的な母校愛が必要で、簡単にできるものではない。

今では娘(女子)でも入れることができるようになったので、門戸は広がったものの、昨今の明大明治の受験の難易度は、ますます高まっている。中学から入れるとなると、通常は小学4年から本格的に取り組む必要がある。経済的負担も大きいうえに、受験の意味を子供に伝えるだけでも至難の業だ。

ちなみに現幹事学年では、筆者をはじめ、委員長の村嶋健児、副委員長の瀧健一郎の父親などが、愛校心に溢れた行動に成功しているが、我々は代を次ぐことができるだろうか?

安蔵校長のお話では、「もし子どもを明大明治に入れたら、もれなくPTA会長になってもらいます」とのことだ。

中学

() …帰国出生願者 (内数)

	第1回			第2回		
	男子	女子	計	男子	女子	計
志願者数	356(0)	294(3)	650(3)	324(0)	294(3)	618(3)
受験者数	325(0)	269(3)	594(3)	176(0)	181(1)	357(1)
合格者数	139(0)	66(2)	205(2)	44(0)	40(1)	84(1)
実質倍率	2.3	4.1	2.9	4.0	4.5	4.3

高校

	第1回			第2回		
	男子	女子	計	男子	女子	計
志願者数	275	300	575	41	64	105
受験者数	250	284	534	41	64	105
合格者数	121	91	212	18	17	35
実質倍率	2.1	3.1	2.5	2.3	3.8	3.0

2016年度の入試倍率。倍率だけでは見えない難易度だ(PTA会報より)

ちなみに昭和58年卒の遠藤憲治氏は、この偉業を実現。娘さんを入学させることに成功し(2010年の会報誌参照)、2015年度のPTA会長を務めている。

まだチャンスのある人、PTA会長の座を目指して頑張ろうぜ!

嗚呼、人生一度きりの幹事学年

何もかもがわからない
その疑問が企画に！

実家に送られてくる総明会の会報誌、これが一体何なのか、実は昨年までまったく知らなかった。

誰が何の目的で作っているのか、そもそも明治大学のものなのか、明治高校のものなのかもわかっていなかった。開けて読んだ記憶は、ほとんどない。実家を離れてからは、手にする機会も失われていた。大半の同期が同じ状態にあった。

総明会の存在を、はじめて知ることになったのが昨年。そして「幹事学年」と言われて、何もわからぬまま活動を始めて驚

きの連続。

さまざま

謎にもぶつ

かった。資

金源、活動内

容、人間関係、

各種制度など、

疑問点は多

岐にわたった。

そんな疑問について、簡潔に

触れてみたのが今回の企画だ。

すでに幹事学年を経験された

方々は、懐かしく思うことだろ

う。これからの後輩たちは、何

のことかわからない点も多いだ

ろうが、きつと理解する日が来

るはずだ。



10年後のことは10年後の幹事学年で！

幹事学年制度というのは、実

にユニークで建設的なアイデ

アだと思う。こうしたキツカ

ケがなければ、永久に再会す

ることはなかっただろう同期

がたくさんいる。また、親子

ほど離れた先輩や後輩に会

う機会もなかっただろう。

そんな機会に巡り合えたこ

とは、素直に感謝したい。

我々の同期は、さまざま

な課題を抱えながら、

何とかゴールが見えてきた。た

くさんの無理を重ねたが、

これまで順調に準備は進

んでいる。

そんな日々を送りなが

ら、少しだけ来年以降の

ことを考える余裕ができ

ている。そして胸に去

来する思いは、「この

制度は未来永劫、続け

られるのだろうか？」



ということだ。10年後、20年後に、これだけの人と金と労力を結集できるのだろうか？

当初は「今年をどうする」ことだけが話題だったが、気が付けば、総明会の存続やあり方について語ることも増えてきた。これが「紫紺の血が流れている」ということだろうか？

だが、先のことを心配するのはお節介なかもしれない。10年後のことは10年後の幹事学年が決めればよい。そのときどんな決断があるのか、そのとき我々は何ができるのかを楽しみに待ちたい。

ひとつ言え

ることは、こ

んな経験は一

度きりでいい、

ということだ。

やり切れなかつ

たこともないわ

けではないが、一

度きりだから燃

えるのだ！



私達は明治高校を応援しています! 明治高校卒明治大学職員有志一同

玉田 英明	昭和53年卒	林 泰三	平成12年卒
石川 恵資	昭和58年卒	角 祐二郎	平成13年卒
高橋 浩	昭和58年卒	鈴木 亮輔	平成13年卒
服部 裕之	昭和59年卒	寺田 雄太	平成13年卒
廣田 晃一	昭和59年卒	瓜生 泰三	平成14年卒
増岡 寿	昭和60年卒	土方 博史	平成14年卒
松尾 智己	昭和60年卒	高井 洋	平成15年卒
松嶋 俊行	昭和61年卒	川原 健	平成17年卒
菅 和禎	昭和63年卒	小堀 良樹	平成17年卒
山本 幸一	平成 2 年卒	山本 康太	平成19年卒
滝 晋敏	平成 4 年卒	櫻井 亮	平成20年卒
寺土 博昭	平成 4 年卒	平野 慎	平成21年卒
阿部康一郎	平成 5 年卒	田中 拓樹	平成23年卒
高橋 建太	平成 5 年卒		
木村 允	平成 8 年卒		
佐藤 潤	平成 9 年卒		

Meiji

プルデンシャル生命は世界最大級の金融サービス機関 プルデンシャル・ファイナンシャルの一員です

プルデンシャル生命は1987年10月に設立されました。
1875年米国で創業、135年以上の歴史を誇るプルデンシャル・
ファイナンシャルグループの一員として「人間愛・家族愛」の基本
理念を受け継ぎ、生命保険の専門家であるライフプランナー[®] が
オーダーメイドの生命保険をお届けすることによってこたわって
まいりました。

※「ライフプランナー」は、プルデンシャル・インシュアランス・
カンパニー・オブ・アメリカの登録商標です。



プルデンシャル生命保険

<http://www.prudential.co.jp>

本社所在地：東京都千代田区永田町2-13-10

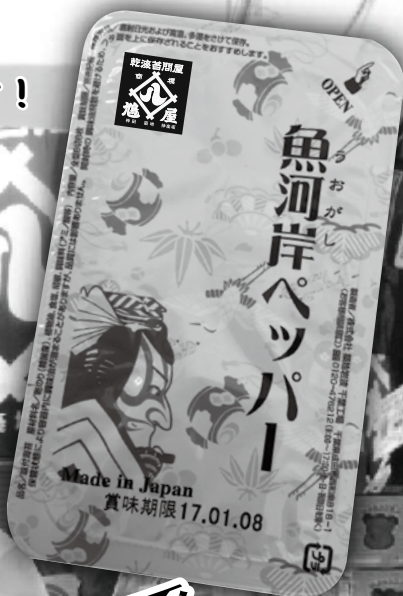
首都圏第一支社	支社長	深谷 剣 (S62年卒)
横浜西支社	ライフプランナー	光岡 孝之 (S63年卒)
首都圏第一支社	ライフプランナー	川口 貴之 (H元年卒)
銀座支社	ライフプランナー	高山 剛 (H2年卒)
銀座支社	営業所長	富樫 展広 (H4年卒)
本 社	営業教育開発チーム	八巻 隆洋 (H10年卒)



Prudential

鳩屋海苔店は
平成改元会を応援します！

まいかーに
なりやした！



魚河岸ペッパーで
世界とるぞー！



www.hatoya.tokyo

鵜飼友義

S61年卒 新世輝

乾藻苔問屋

商 標



神田 築地 神楽坂

築地
場外

鳩屋海苔店

東京都中央区築地 4-14-16

Tel & Fax 03-3541-5523



平成28年度

学
校報告

紫紺祭

平成27年9月26～27日

文瀾 慎一郎
(平成元年卒)

静かな秋の調布。週末の昼下がりに、校門をくぐると、すでに体育館の前には生徒と保護者が作る長蛇の列があった。

応援指導班によるエールの披露を待つ人で賑わう。今も昔も変わらない華やかな舞台。紫紺祭のメインイベントとも言え、並ぶ人みな、相当な時間を待たれていると思われるものの、たかぶる気持ちで全く苦を感じていない様子。よく見れば、その列には先生方も：師弟がともにその時を待っている。

会場が開くと、少しでも良い席を確

保しようと、みな足早に急ぐ。演目開始まではやや時間があるが、この期待感が高まる時間も楽しい。しばらくすると司会を務める団員が緊張した面持ちで登場して挨拶。そしていつもの通りの演目が始まっていく。

紙テープが飛び交う応援歌、チアたちの数に圧倒されるノックアウトマーチ、明治の祭りには欠かせない勝利の拍手、最後の締めくくりは校歌。

女子の団長が男子の団員を従えて堂々とエールを切る姿は圧巻で、惚れ惚れするばかり。その爽やかさは、明治の新たな形を印象付けるものだった。

紫紺祭は、部活動などを中心に生徒たちが日頃の活動を披露する場だ。校舎をぐるっと回ってみると、応援指導班のみならず、生徒たちがそれぞれの場で、明るく、ひたむきに振舞い、青春を謳歌している様子が伺えた。校舎の廊下には、数々の表彰の垂れ幕が掲げられ、沢山の人が笑顔で行き交う。広い廊下が心なしか狭く感じられた。

久々に明治の躍動感を感じ、OBとして誇らしげな気持ちで、校舎を後にすることができた。



マンドリンクラブ 第57回 定期演奏会

平成28年2月7日

(平成元年卒)
文 横 島 高 之

第57回定期演奏会の会場は、調布駅から徒歩5分の調布市文化会館たづくり・くすのきホール。以前と異なり、学生服の男子部員のみ黒づくめのスティージではなく女子部員が多いということ、どのような演奏が聴けるのか期待と不安を感じつつ会場に向かいました。

第1部は学生指揮者による演奏で、マンドリンでは定番曲と言える「メリアの平原にて」でスタート。全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールで振興会特別賞を受賞しており、何度も聴

いた曲ですが非常に完成度の高い演奏でした。

第2部の1曲目は高校3年生による卒業演奏で、長年一緒に弾いてきた仲間による抜群の安定感の演奏で楽しめました。2曲目は協奏曲で、かなり練習を積んだと思いますが、ソリストが難しいフレーズもさりと弾きこなす姿に感動しました。

第3部は音楽監督の久保田孝先生（昭和36年卒）の指揮で、学生達の演奏も気合が入りさらに迫力を増していました。タイプの異なる3曲でしたが、それぞれの魅力が十分に表現されていて、大きな拍手の中、演奏会は終演となりました。

女子部員がメンバーのほとんどを占めていますが、マンドリン部らしい音は引き継がれていることを実感。次の定期演奏会は、平成29年2月5日に練馬文化センターで行われますので、是非沢山の方にハイレベルなマンドリン部の演奏を楽しんでいただければと思います。



吹奏楽班 第57回 定期演奏会

平成28年1月24日

(平成28年卒)
文 太田 千裕

先日、私はOGとして吹奏楽班の夏合宿に顔を出しました。つい一年前には自分も班員として参加していた合宿に、OGとして参加するのはとても不思議な感覚でした。

ご報告が遅くなりましたが、吹奏楽班は去る2016年1月24日、昭和女子大学人見記念講堂にて第57回定期演奏会を執り行いました。お忙しい中、たくさんの方々にお越しいただき、私たち高校3年生は最高の舞台で引退を迎えることができました。これまでOB・OGの先輩方にはたくさんのご尽力を賜り、

卒業生を代表して感謝申しあげます。

引退から約半年が経った今では、何年間も毎日同じ時間を共に過ごしてきた吹奏楽班の同輩もそれぞれの道に進み、半年前まで同じ部活のメンバーだったとは思えないほどバラバラになって、少し寂しさも感じております。

大学生になって、高校生の頃までは「吹奏楽班」として当たり前に過ごしていたことが当たり前ではなくなり、中学校・高校時代の自分がどれだけ恵まれていたか、身に染みて感じます。

合宿で朝から晩までひたむきに練習する後輩の姿を見て、同じメンバーで純粹にひとつのことだけに専念できる幸せを知り、そんな後輩たちが本当にうらやましく思えました。そしてOGの立場になったことで、現役がどれだけ多くの方々、保護者の方であったり、OB・OGの先輩方であったり、吹奏楽班の活動に携わってくださる関係者の方といった、本当に多くの人たちに支えられていることを改めて痛感しました。これからは、い

ままで自分たちがたくさんの方々に支えられてきた分、後輩をしつかりとサポートしていきたいと思います。

結びとなり

ますが、吹奏楽班の活動を支えてくださっている保護者の皆様、OB・OGの先輩方、関係者の皆様、そして吹奏楽班に

関わるすべての皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。これからも明治中学・高校吹奏楽班を温かく見守っていただけると、吹奏楽班の卒業生としてこれほど光栄なことはいりません。



応援団 第6回 紫紺の下に

平成28年2月14日(日)

(平成元年卒)
文 田中潤二

卒業してから母校を訪ねたことは何度かあったが、それも20年以上も前。少なくとも調布に移転してからは、一度も訪れる機会はなかった。そして、この「紫紺の下に」が、自分にとって初めての調布・明大明治の体験となった。

訪れた我が母校は、まるでアメリカの大学のキャンパスのような雰囲気で、猿楽町校舎との違いに、ただ驚くばかり。

開演前、ホールの入口で生徒たちの様子を伺っていると、ようやくかつての明大明治の雰囲気を感じることができた。明るく礼儀正しい生徒たちを見ると、

「この伝統はずっと引き継がれているんだなあ」と、懐かしさが蘇ってきた。

第1部は吹奏楽班ステージ。3週前に行われていた定期演奏会にお邪魔した際にも、素晴らしい演奏を堪能させていただいていたが、こゝでも力を入った演奏に感心させられるばかりだった。

続く第2部はチャリ・デイングステージ。男子校だった我々にとっては、まったく未知のステージだったが、いざ始めると、ただただ驚きの連続。まったく新しい明大明治を見せつけられるような気持ちだった。

そして第3部は応援団の登場。ことあるごとに何度も歌った応援歌を、久しぶりに堪能できて自然と気持ちが高ぶる。そして、待ちに待った「明高節」の登場だ。

安蔵校長からは、「今

年は女子初の明高節が見られる」と事前に聞いていた。女子が団長になる時代となったのは、数年前のドキュメンタリー番組で知っていたが、ついに明高節も女子が行う時代なのかと。最も楽しみにしていたステージだった。

大学時代の明大節を含めて、久しぶり

に見た明高節。その感想は、ただ「グレート」の一言。瞬きするのがもつたいないほど、素晴らしい舞には、熱いものが込み上げた。

ステージ終了後、団長の音頭で、観客席のみんなで応援歌「紫紺の歌」と校歌を合唱した。見ず知らずの人と肩を組み、声を張り上げる。こんな経験、いったい何年ぶりだろう。

明大明治に行つて本当に良かった、また来年も来よう。そんな思いが湧き上がる、感慨深いものだった



English スピーチコンテスト 2015

平成28年1月26日

(平成元年卒)
文
田中潤二

1月26日(火)に中学3年生と高校1年生によるスピーチコンテストが開催された。本コンテストは、2012年3月に100周年を迎えた我らが母校が、「世界へー世界に飛び出し『己』を知ろうー」をキーコンセプトに「鶴澤総明教育振興・奨学金プログラム」が創設されたことを記念してス

タートしたものだ。今回で5回目の開催となる。

審査員として明治大学より3名の先生方が来場。コンテストでは2学年・合計451名より予選を勝ち抜いていた10名が、各自で考えたテーマで3分・5分のスピーチを行った。

見事1位となったのは、中学3年生のROさんのスピーチ「How to make our school smarter」だ。

その内容に少しだけ触れると――、ROさんは勉強をしているときに集中力が切れて眠くなることもあるという。そんなときに、家ではちよつと昼寝をしたり、体を動かしたりすることで集中力を回復させているという。そんな経験からROさんが、集中力について調査してわかったこと、そして学校に提案したことは？

左ページの英文を、ぜひじっくりと読んでほしい。中学生の英語なので、もちろんOB・OGである読者のみなさんは、簡単に読めるよね？ もし、途

中で眠くなった場合は、なおさら熟読することをお勧めする。なぜなら、それを解消する内容が掲載されているからだ。そして、直ちに書かれている内容を実践すべきである。

ROさんのウイットに富んだスピーチは、*maybe*、「I believe this speech will help you in the future」となるだろう。

なお、「鶴澤総明教育振興・奨学金プログラム」とは、新たな100年を見据えた教育振興・奨学金プログラムだ。100周年記念事業募金による寄付金(積立金)を原資とする奨学金を活用している。最大のねらいは海外留学・体験学習・受け入れ留学生との交流などを通じて、グローバル社会におけるリーダーを育成することである。

本選出場者の10人全員には、副賞として英語圏への海外研修奨学金が支給される。

結果・発表テーマ

第1位 “How to make our school smarter” by R.O (中3)

第2位 “A generation's duty” by T. S (中3)

第3位 “Take a chance to grow up by encounters” by H.F (中3))



How to make our school smarter

Jr3-E(3) R.O.

I'm the last speaker. So, many of you must be tired. A little nap will help you to concentrate, but please listen to me to the end. I believe this speech will help you in the future!

I'm a student. I know I have to study, but I always feel sleepy during class, such as math, English, science, and so on! It means every class makes me sleepy! When I lose my concentration, I always try to do some relaxation exercise and take a short nap. Then, surprisingly my concentration goes up a lot! I wondered, “Why?” I was interested in that, so I researched it.

First, I will talk about exercise. Based on a research by the University of Illinois it was found that the student's test scores increased a lot after twenty minutes' exercise. And it was also found that children who exercise very much have good memories. Even more, the brain waves of children who joined in sport camps are more active during tests, compared to other children. These results prove that exercise increases concentration.

Second, I will talk about taking a nap. Elementary school in the United States where I lived had a long nap time at noon. I think that it made students more concentrated. I also found some junior high schools and high schools in Fukuoka that have a nap time to concentrate in the afternoon classes. One student says, “Taking a nap made my motivation up, and my grades went up too.” “It's excellent!” I thought when I read the article.

By the way, I belong to the basketball club, so I exercise a lot. But students who don't belong to sports clubs don't exercise so much. I think the lack of concentration in my class is from lack of exercise. As mentioned above, it's good for our brain to get some exercise for about twenty minutes. So, to active our brain, I think we should do it before homeroom. For example, radio gymnastic, jogging, yoga, and so on! Of course I want to take a nap too, but unfortunately I think it's difficult in our school. But don't you think it's a good idea, principle Anzo? I hope that my ideas will come true in the future!

If my idea comes true, I believe that we are able to become anyone we want. Keisuke Hada who graduated from this school won the Akutagawa Prize. This is a good example for us to follow. We can be an outstanding person like him. Maybe we can be more than him. For example, we can be the winner of the Nobel Prize, become an astronaut, a CEO or the president of the United States...Oh, that's impossible sorry.

Now, you know what you should do. Yes! Getting exercise and taking a nap! Thank you for listening.

PTA協賛
東日本大震災
被災地支援

平成28年1月9日～11日

文
岩
浪
舞
(高ⅢB)



本校は、創立100周年記念事業のひとつである鵜澤総明教育振興・奨学金プログラムの一環として、平成28年1月9日から1月11日の日程で、東日本大震災の被災地（宮城県女川町）の支援活動を実施しました。

この支援活動は明治大学出身である須田善明氏（女川町長）のご提案より、石巻日日新聞が開催している小学6年生のサッカー大会を本校が5年間をめぐに共催をするというもので、今年は4回目となりました。

1月9日から女川町に行つたのは、支援事業参加生徒の中から17名とサッカー部員、教員、サッカー部監督、PTA会長です。石巻市や女川町や大川小学校の被災地を訪問し、仮設住宅の方々とサッカー大会を通じて地域の子どもたちとの交流をさせていただきました。

さまざまな方からお話を聞き、一同それぞれ被災地に何かしらの思いをいただきました。私は、テレビや新聞だけに頼るだけではなく、実際に被災地を見に行くこ

とが大切だと思いました。

今回の支援事業では被災地に出発する前にも様々な活動を行いました。募金活動では多くの総明会会員の方々、本校PTAの方々や多くの生徒、先生方に協力していただき、多くの浄財が集まりました。これらの募金は、支援事業のお金として使うだけでなく、一部を被災地でお世話になつた方々に寄付させていただきました。

この活動を通じ、被災地に少しでも貢献できたということは、私にとってとても価値あるいい経験になったと思います。



法曹部会 模擬裁判

平成28年8月1日

(平成14年卒)
総明会法曹部会
文 服部啓一郎

「法曹入門講座」模擬裁判を
OBとして傍聴する

去る8月1日、明治大学法学部主催
「法曹入門講座」として、模擬裁判が行
われました(講師…明治大学法学部上
野正雄教授)。

この講座は、明治大学と明治高等学
校連携の「サマーセミナー」14講座のうち
の1つで、法学部進学を希望する明高生
を対象に、法曹や法律への関心を持つても
らうため、毎年夏休み中に実施されてい
ます。今年は、3年生を中心に、17名(男

子9名、女子8名)が参加しました。総
明会法曹部会からは5名が傍聴し、模
擬裁判終了後は、生徒たちと座談会も
行いました。

模擬裁判では、いわゆる裁判員裁判を
体験します。生徒が、裁判官・検察官・
弁護人などに分かれ、役割を演じながら
刑事裁判の仕組みを学びます。

明高生たちは、法廷の雰囲気にもまれ
たのか、最初は声が小さかったものの、時
間が経つにつれて落ち着いて発言していま

した。証人に
鋭い質問を發
する生徒もお
り、後で聞け
ば法曹志望で
あることが分
かるなど、法
曹部会として
も収穫を感じ
る機会となり
ました。



想い出の猿樂町校舎で
次世代の明高法曹を育てる

さて、模擬裁判は、明治大学猿樂町第
二校舎の法廷教室で行われました。同
校舎は、わが母校の旧校舎を改装して誕
生したものです。

かつての教員室や事務室のあった2号
館4階は、法科大学院の模擬法廷(法廷
教室)に、立派に生まれ変わっていました。
こちらは司法研修所の合議法廷をモデル
にしており、模擬法廷(傍聴人席約80)
に隣接した合議室、調停室、証人待合
室、接見室なども付置されています。

この校舎には、ほかにも司法試験等の指
導をする国家試験指導センターや、自習
室も設けられています。今回、調布に通
う現在の明高生が、猿樂町の旧校舎で学
ぶ姿を観て、大変感慨深いものがありまし
た。かつての学び舎が、次世代の法曹を育
む場所として再生したことに縁を感じる
と共に、明高法曹として、明高生を支えて
いく決意を新たにしました。

※プロフィールは、名前、生年月日、出身地、出身校、
前職、担当教科、担当クラブの順

New Teacher 新任先生紹介



左から津久井薫先生、小平朝子先生、後藤亮先生

2016年は3名の先生が着任した。今年の新任の先生のキャリアは、なかなかバラエティ豊か。他の学校からの転任、博物館から、一般企業からと、まさに三人三様。それぞれの先生のプロフィールと抱負をご紹介します。

津久井薫先生

学問の力で未来を切り拓く

- 津久井薫(つくい かおる)
- 1986年3月7日
- 群馬県出身

○群馬大学教育学部学校教育教員養成課程

群馬大学教育学研究科修士課程

○群馬県みどり市教育委員会文化財課岩宿博物館

○社会科系科目(特に世界史)

○陸上競技部副顧問、歴史研究部顧問代行、応援指導班顧問代行

教員経験は通算5年目、昨年度は岩宿博物館に勤務していました。岩宿博物館とは、「日本の歴史には旧石器時代は存在しない」という定説を覆した岩宿遺跡に併設された博物館です。岩宿は時代の変化や社会の要請を先取りし、日本の考古学の将来を切り拓いた場所でもあります。

学問の力で未来を切り拓くことは、明治大学の建学の使命にある「未来に羽ばたく優れた人材を育成する」ことに繋がると 생각합니다。博物館での経験を活かし、生徒一人ひとりの能力の向上を目指したいと思っています。

生徒たちには学校生活を通して、知

的水準を向上させて欲しい。目先の利益や自己の欲求を満たすことだけでなく、多角的な思考と俯瞰的な視野を持てるよう期待しています。

社会科、特に世界史の教員としては、社会科学的能力を育成していきたい。具体的には世界を分析するための「ものの見方や考え方」の育成です。現代世界を生き抜くには、国際体制の形成プロセスを知る必要があります。枠組みの中で漠然と生かされる人間ではなく、自らの将来を切り拓ける人材の育成に励みたいと思います。

後藤亮先生

自らがよい手本となる

- 後藤亮(ごとう りょう)
- 1986年8月20日
- 東京都出身
- 法政大学文学部英文科(在学中にイギリス・ニューカッスル大学に1年

（問留学）

東京学芸大学教育学研究科英語教
育専攻修士課程

◎麗澤中学・高等学校

◎英語

◎スキー部副顧問

以前は東京・千葉の中学・高校で英語を教えていました。

また、大学の学部在籍中にはイギリスのニューカッスル大学に1年間留学し、異文化を体験しました。そこでは海外の学生たちのレベルの高さ、学習に対する意欲の高さに衝撃を受けました。総合力の向上と同時に考える力、発表する力を鍛えることの大切さを知りました。

明治の生徒は自立の精神があり、自ら考えて行動しようとする意思のある生徒たちが多く、感銘を受けました。

生徒たちには、どんなことにもチャレンジのできる人間になってもらいたい。暗記やドリルワークなどの基礎学

習は欠かせませんが、それらは活用・応用されて初めて活きます。試行錯誤を繰り返して学んで欲しいと思います。

英語教員としては、総合力の向上と同時に考える力・発表する力を鍛えたいと考えています。「英語を」教えるだけでなく、「英語で」何かを教えるようにしていきたいです。

小平 朝子 先生

進路を考えられる教師に

◎小平朝子（おだいら あさこ）

◎1985年7月25日

◎福島県郡山市出身

◎早稲田大学第一文学部

早稲田大学文学研究科日本語日本
文学コース

◎広告制作会社（株式会社揚羽）

◎国語

◎水泳部

以前は広告制作会社で映像やWEBサイトの制作に従事していました。さまざまな業界の広告を制作することで、色々な仕事のやりがいに触れてきました。その経験を生かし、生徒の進路を考えられるような教員になりたいと思います。

明治中学・高校は施設が充実していること、生徒たちの大半が部活動に所属していることに驚きました。放課後の校内は練習の掛け声や、楽器の音色が混ざり合っていて、それらの周波数を感じるのが好きです。

生徒たちには、たくさん本を読み、色々な人の考え方を知ることを通して、自分の意見を確立できるようになってほしいと思います。

国語の教師としては、授業を通して自分の意見を持ち、その意見を言語化して他者と円滑にコミュニケーションをとるようになるよう、アシストしていければと考えています。

ご退任

ご挨拶

坂口泰通 先生

病気を機に
生きる感謝を心で語った

先日、本校紫紺ホールにおいて生徒や先生方の前で、盛大に退任式を開催していただきました。1000人を超える方々の前でお話することはもう私の人生にはないでしょう。

退任式では、私の授業を振り返りお話ししました。話が終わった後には驚くほどの拍手がおこりました。実に嬉しかったです。

今となると37年は本当に短いものでした。しかし実は、厳しい時期もありました。

もう、30年も昔のことですが、夏休みを終わり二学期が始まったその時、私の身体は突如動かなくなりました。何がおだかわからないのですが、起き上がるのが出来ません。下半身の感覚が全くなり動かすことも、触れても感触もなくなっていました。

それから一年、わたしは闘病生活に入りました。にわかに身障者となったのです。病名はギランバレー症候群でした。ウイルスが脊髄に入ったらしい……。医者もまだ慣れていなかったように、回復は不可能などと言われたこともありました。

病気は少しずつ薄皮をはがすようにゆっくりゆっくりと回復しました。本当につらかったです。日本はバブル全盛の頃で人々は浮かれておりました。およそ一年が経ったころから再び学校に通いできました。

はつきりと覚えていることは、復帰初の日、横山先生が御茶ノ水駅のホームに來られて私を待っていてくださったことでした。

まだ思ったように立って歩けずに何度も途中の駅で降りてホームのベンチに座ったことを思い出します。杖もついていました。横山先生には今でも感謝しています。

そんな経験は、その後、尊いものとなりました。恐らく、あの病氣以降、私の授業は変わっていったと思います。うまく説明ができないのですが、自分が生きていることに感謝しながら、その思いを授業に込めていくようになり、心で語り始めたようです。

明治に就職が決まったとき、私は一枚のレコードを購入しました。明大明治の校歌のレコードでした。何度も何度もかけて校歌を覚ええました。とても嬉しかったです。

そして今、もうカラオケでしか校歌を歌えない境遇になろうとしています。

総明会でご招待を受けたら大声で校歌を歌いたいです。これまでありがとうございます。

小島 萌先生

挑戦することの大切さから
真の愛しさを見つけてほしい

退任するにあたり、このような欄を
設けていただき感謝申し上げます。

最後に、生徒のみなさんにお伝えしたいことを2つ書きたいと思います。ひとつは、「真の愛しさは、愛をして味わうことはできない」ということです。みなさんが今までを振り返って、「楽しかった」と思い起こすことは何でしょうか？

昨年度担任を持ったクラスの生徒達に1年間の感想を聞くと、「体育祭や合唱祭が楽しかった」という回答が大多数でした。その理由は、「その場の楽しい雰囲気味わったからではなく、それらの行事に向けた準備や練習をす

る中で、仲間達とともに協力し、切磋琢磨した、そんな過程があったからだ」と彼らは言います。

自分が真剣に向き合ったものこそ、たとえその結果がどうであれ、振り返った時に心の底から「楽しかった」と言えるのだ、と私は生徒達に教えられました。そんな真の愛しさを味わう経験を、これからもたくさん積んでほしいと願っています。

もう一つは、「挑戦することの大切さ」です。自分の限界を自分で決めてはいけないし、人から決められるものでもありません。

この先少しでもやりたいことや、自分が心動かされるものがあつたら、「自分には無理」なんて思う前に、まずはやってみてください。無理なのかどうかも、やってみないとわからないのだから。

自分の一度きりの人生、何事にも本気で取り組んで、真の愛しさを存分に味わってください。そしてみなさんが挑戦する強い気持ちをもって、自身の道を切

り拓いていくことを願っています。
今までありがとうございます。



Pickup CLUB

書道部

(平成27年度部長)
文
松井 萌々子

平成27年度書道部部長を務めた松井萌々子です。書道部には中学1年から6年間所属し、その際、顧問である鈴木康巳先生と大迫宏美先生に大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

書道部の活動は主に3つあります。1つは、文化祭やオープンキャンパスといった行事に向けた準備です。特に文化祭準備には注力しています。というのも、書道部は学校から許可を頂いた上で、例年第一体育館で書道パフォーマンスをするからです。



▲部員一丸となつて行う、文化祭での書道パフォーマンスの様子

通常の「座って1人での書道」とは大きく異なり、部員が一丸となつて特大サイズの紙に堂々と身体を使つて字を書きます。

書道パフォーマンスによつて、1人ではなく、みんなでしか味わえない充実感を得ることができるのです。

2つ目に挙げられる活動は、大会練習です。大会で優秀と認められ表彰さ

れるような作品を仕上げるには、やはり大量に書くほかにありません。

しかも闇雲に書く訳ではなくて、1字1字を美しく書くので、部員たちは大会出品を通じ、相当の集中力を涵養することができます。この集中力と字の上達は生涯の宝となるでしょう。

3つ目は、校舎の一階の書道室の傍らにあるガラスケースに飾るための作品づくりです。ここは季節ごとに作品が貼り替えられます。部員はそれぞれの感性で季節を感じられる作品を作るので、大変バラエティーに富んでいます。自由な創作作品ですので、創造力やセンスを磨くのに役立ちます。

書道部は、先述の3つの活動を軸にして日々集まって練習しています。これらの練習は、協力する力や集中力や創造力諸々を培うことができるので、書道部の活動が大変活発で楽しく、かつ有意義であることは言うまでもないでしょう。

●班・部活動の報告

国語科

第 27 回俳句大賞

佳作特別賞 中 2 松田

ダンス部

第 4 回 ISOGO ダンスまつり

MEET THE HIPHOP 高校生以上の部 最優秀賞

硬式野球部

平成 28 年度春期東京都高等学校野球大会

ブロック予選 優勝

東京都大会 ベスト 32

剣道部

東京都高等学校新人剣道大会

女子団体 ベスト 32

東京都高等学校春期剣道大会

女子団体 ベスト 64

平成 28 年度千代田区剣道大会

式段の部 第 3 位 高 I 前田

柔道部

第 27 回東京都中学校第 9 ブロック体重別大会

女子個人 第 5 位 都大会進出 中 3 勝山

第 64 回関東高等学校柔道大会 第 4 支部予選会

女子個人 敢闘賞 都大会進出

高Ⅲ 久保

高Ⅱ 鈴木

第 64 回関東高等学校柔道大会 東京都大会

女子個人 ベスト 16 高Ⅱ 鈴木

第 48 回東京都ジュニア体重別選手権大会

東京都第 4 支部予選会

男子個人 第 5 位 都大会進出 高 I 竹道

第 65 回全国高校総合体育大会

東京都第 4 支部予選会

女子個人 第 5 位 都大会進出 高Ⅱ 渡辺

男子個人 第 5 位 都大会進出 高 I 永澤

硬式テニス部

<高校女子>

平成 28 年度東京都高等学校テニス選手権大会

(個人の部) シングルス 本戦出場 高Ⅱ 林

<中学男子>

平成 27 年度第 9 ブロック研修大会

中学 1 年の部 優勝

中学 2 年の部 優勝

明治中学 ・高校報告

(PTA会報誌より)

平成 28 年度東京都中学校テニス選手権大会

(個人の部) 第 9 ブロック予選

シングルス 第 5 位 都大会出場 中 3 田坂

第 5 位 都大会出場 中 3 新井

第 5 位 都大会出場 中 2 星川

本戦出場 中 3 猪飼

ダブルス 第 2 位 都大会出場 中 3 相川

中 3 田坂

第 3 位 都大会出場 中 3 新井

中 2 星川

平成 28 年度東京都中学校テニス選手権大会

(個人の部) シングルス ベスト 32 中 3 田坂

<中学女子>

第 60 回調布市民駅伝大会 中学生女子の部

第 5 位 A チーム

平成 27 年度第 9 ブロック研修大会

中学 1 年の部 第 3 位

平成 28 年度東京都中学校テニス選手権大会

(個人の部) 第 9 ブロック予選 ダブルス

第 9 位 都大会出場 中 3 荒木

中 3 鈴木

本戦出場 中 3 田村

中 3 小堀

平成 28 年度東京都中学校テニス選手権大会

(個人の部) ダブルス ベスト 32 中 3 荒木

中 3 鈴木

中学生チャレンジジュニア

ゆうほうと世田谷大会 シングルス A ブロック

優勝 中 2 小島

バドミントン部

武蔵野市市民バドミントン大会

準優勝 高Ⅲ 宮田

陸上競技部

第 67 回東京都中学校地域別陸上競技大会

女子東部共通走幅跳

第 7 位 記録 4m56 cm 中 3 小川

明治中学 ・高校報告

(PTA会報誌より)

●明治高等学校卒業生 特別顕彰者および 卒業生の活躍

第153回 芥川賞受賞

羽田 圭介 平成15年度卒(商学部)

日本免震構造協会 2015年(第8回)

免震構造・制振(震)構造に関わる優秀修士論文賞

小町 祐介(平成28年理工研博士前期課程修了)

受賞修士論文

「多種のダンパーを併用した免震建物の

地震応答予測—応答スペクトル法による

免震層の応答予測と設計用地震荷重分布—」

医師国家試験合格

林田 迪剛 平成21年度卒(東京医科大学)

司法試験合格

古川 翔 平成20年度卒(法学部)

公認会計士合格

古谷 千夏 平成23年度卒(商学部)

田口 諒 平成25年度卒(商学部)

法学部 学部長表彰 司法試験予備試験合格

山崎 龍介 平成23年度卒

法学部 学部長表彰 国家公務員採用総合職試験合格

仙北谷 陽 平成23年度卒

法学部 成績優秀者表彰

町野 曜生 平成23年度卒

商学部 学部長特別賞 学業成績優秀

大嶋 祐介 平成23年度卒

政治経済学部 学生顕彰者

高橋 享輔 平成23年度卒(経済)

理工学部 堀口賞

大谷 剛 平成23年度卒(建築)

経営学部 グローバル人材育成 トラック修了者

高野 真生 平成23年度卒(経営)

連合父母会 学部長奨励賞

法学部 土屋 弦 平成25年度卒

連合父母会 学部長奨励賞

商学部 武津 和孝 平成25年度卒

連合父母会 学部長奨励賞

商学部 柴田加菜子 平成25年度卒

連合父母会 学部長奨励賞

政治経済学部 野口 陽一 平成25年度卒(経済)

連合父母会 学部長奨励賞

政治経済学部 神山真利絵 平成25年度卒(地域)

連合父母会 学部長奨励賞

国際日本学部 小和瀬夏葉 平成25年度卒

連合父母会 学部長奨励賞

総合数理学部 鈴木孝太郎 平成25年度卒(現象)

連合父母会 学部長奨励賞

総合数理学部 栗原 一貴 平成25年度卒(現象)

同窓会・
班クラブ

OB/OG会

活動
報告

めいこういつきかい

明高一期会

昭和24年卒 内藤 功

明高一期会の近況

明高一期会のメンバーは、85才又は86才になります。現在、連絡の取れている人数は36人で、毎年一回、神田神保町で総会を開いています。幹事は大西新二、金谷栄一、遠山影忠、森田 満、内藤 功です。

今年も6月に6人が集まり、愉快に懇談いたしました。我々が入学したのは戦争の最中で、3年生(昭和20年)の夏・8月15日までは米軍機による空襲があり、終戦後は食糧難、住宅難で、生きていくこと自体大変でした。その中で、子どもながらにいろいろな体験をしたので、集まると話題は、健康のこと、入院とか手術とかを乗り越えた体験談、それに戦争中の苦労話、明治中学の先生たちの事などで、話は尽きませんね。

めいじかい

明二会

昭和25年卒 小田川 玉城

瑞江小学校より明治中学に、私のほか小林利雄と和田喜久治の3人で願書を出した。男坂に吃驚し、錦糸町で昼食に50銭のカレーライスを食べた。そして3人とも晴れて合格した。

まだ占領下で食料も衣類もなく、クラス全員がマチマチの服装・履物であった。米の配給は白米ではない上に量も少なく、かさを増すため薩摩芋を入れるのだが、これが実に不味い。母が私の茶碗には白米だけをよそって微笑む。いま思いだしても涙する。

苦労は通学にも。当時の自宅は江戸川6丁目。錦糸町駅行きバスが発着する停留所だったが、始発前から既に100人以上並んでいる。しかも当時は木炭で動く非力なバスで、定員はいまの半分ほど。その上次のバスはいつ来るかわからない。当然毎日のように遅刻した。

いつも1限目は担任の原先生。毎日のように「バスで遅れました」というのが辛かった。だが、そのうち先生から「バスか？」と問われるようになり、「ハイ」と答えるだけなので気持ちが楽になった。私についたあだ名は「バス」になった。



にいきゅうかい

二九会

昭和29年卒 山本 峰司

私共二九会も早や80、81才と年を重ね、いよいよ最後の会をと神楽坂「志満金」で最終会を昨年11月10日に30余人の同期を集め中高大の昔話で大盛り上り。思えば第一回58年に90余人で始めた会でしたが、16～17回の開催で77才、80才と記念会もでき、そのたびに多くの旅び立った友を知り、懐かしさや寂しさを知りました。

足音高く近づく己の番も感じつつ出席できる幸せを話す同期。これで終わりというホットした気持ちと何とも言えぬ寂しさに浸る自分、つい飲む量も酔いのまわりと共に忘れ、はしゃぐ我でした。食べるのも飲むのも少量になり、やはり老いている自分をそれぞれ感じている所でした。

思い返せば10年の永い間「明治精神」を自分の支柱として生きつづけ、強く自分を作ってくれた良き学校、先生、同期、先輩と明治の校名。多感な時の10年間書いているだけで頭の中は次々と巡るめく事で一杯。有難とう明治。益々の発展と教職員、そして同窓の皆様の健康を祈っています。万歳明治。

昭和30年卒同期会

昭和30年卒 宇田川雄弘

連絡先
03-5999-4880

ライオンズクラブ国際協会
駿河台ライオンズクラブは
交友の皆様の入会申し込み
をお待ち致して居ります

明治高等学校昭和30年卒業
同期会 (30会)
会長 宇田川雄弘

人生の節目は自分で決めれば生き方が変わってくる

年号が平成になり今年で1万日が過ぎ去った。45才に成った頃、これから訪れる還暦、古希、喜寿、傘寿、白寿とは別に人生の節目は自分で決めたいと考えようになった。先ず最初の節目は人生三万日を人生の通過点とした、三万日は奇しくも82.19才、日本人の男性平均寿命と一致している。何故！そんなことを…。漠然と過程が好きだからで、その時は大したことでなかったが80才を目の前にして達成感を感じている。

達成感とは、節目ごとに振り返る習慣が付き、そのうち・うちが無くなり迅速な行動と勇気ある決断が大切だと気が付き、特に「ノー」が言えるようになったことが一番大きな収穫でした。後輩に自分人生の通過点(節目)を何段階に分けて決めることを進めている閑老兵はまだまだ自分の定めた通過点手前で次なる節目を模索している今日この頃です。



めいらくかい

明楽会

昭和31年卒 佐藤 健一

もうすぐ傘寿！

第52回総明会開催おめでとうございます。

昨年の明楽会は約35名が集いお茶の水 ホテルジュラクにて開催しました。年々歯が抜けるように欠けていく仲間に一抹の淋しさも感じさせられますが、それでも我々の年代で35名という大世帯で催されることは元気である証拠！話をすることで活力が漲って来て、昔を懐かしみ再会することの楽しみを味わっております。

来年の傘寿を控えた本年もお茶の水 ホテルジュラクにて、11月4日(金)4時より同期会を開催することが決定いたしました。1人でも多くの方々の御参加を幹事一同お待ちしております。年波に負け体調を崩す者も多くなり、足元の明るいうちに開催を！という声もあり、本年は昼間の開催になりました。どうか奮って御参加をお願いする次第です。

最後になりましたが総明会総会の成功と総明会のますますのご発展を御祈念申し上げます。

祝 第 52 回 総明会

昭和 31 年卒

明 楽 会

会長 佐藤 健一



260グラムステーキ税込み1720円
ライスサラダ味噌汁付き

東京都墨田区東向島4-2-6
TEL. 03-3610-1500

レストランカタヤマ

片山幸弘(昭和29年卒)

営業時間 (年中無休)

平日 11:00~14:30

16:30~20:45

土・日・祝 11:00~20:45

スカイツリー線 東向島駅 徒歩10分余

浅草駅よりタクシーで約1000円余

東京メトロ日比谷線

南千住駅よりタクシーワンメーター

<http://dabintyo.jp/>

帽子製造卸 株式会社 東 栄

こだわりの帽子をトレードマークに

取締役会長 土田 饒(昭和31年卒 明楽会)

代表取締役 土田 正昭(昭和61年卒 新世輝)

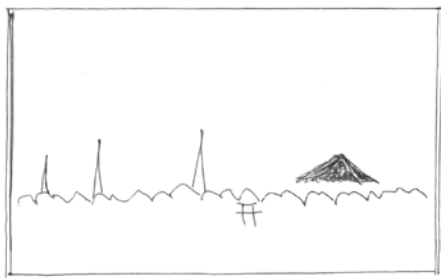


〒103-0002

東京都中央区日本橋馬喰町1-3-5

TEL.03-3664-0810 FAX.03-3664-0033

E-mail.toei@beach.ocn.ne.jp



(絵：太田喜久)

めいじかい

明治会

昭和32年卒 太田 喜久

私達が学んだ神田猿樂町校舎は、高さ13メートル・73段の男坂を下りた所がありました。左側に中学1年生の木造校舎があり、隣に2・3年生の鉄筋コンクリート3階建ての校舎・そして道を隔てたところには、塀に囲まれた高校の4階建ての校舎が建っていました。昭和30年頃はまだ高い建物が少なく、教室の窓からの見晴らしは格別でした。左からテレビ東京・NHK・日本テレビの3本のテレビ塔が見え、北の丸・靖国神社の森が見渡せ、その木々の間に靖国神社の大鳥居も見えました。晴れた日には富士山も見え、太陽が富士山の後ろに落ちると山がシルエットとなり、とても綺麗でした。

それから60年が経ち、男坂からの風景がどう変わったのか、先日見に行きました。正面に大きなビルが建ち、道路をまたぎ校舎をつなぐ空中廊下も出来ていて、空は一部が見えるだけになっていました。

今では全てが楽しい思い出です。当時を話せる友が大勢いるという幸せを感謝しています。

きゅううかい

旧雨会

昭和34年卒 武藤 仁

今年 76才を迎える昭和 34年卒の同期会「旧雨会」では、4月 に新たな執行部の呼びかけで数年ぶりに集う事が出来た。41名の老いた面々が若き日の追憶に母校への誇りを語り大いに盛り上がった。

当時アイスホッケー部は活動を公認されておらず、先輩の指導を得て自主運営で活動していた。昭和 33年第13回冬季国民体育大会の盛岡大会では暖冬異変で競技場が結氷せず、暖冬との対戦となった。翌14回 の帯広大会ではさすが北海道、競技場が小学校の校庭であったのには驚いた。この国体には本校から六人が東京都代表に選抜され参加し、第3位の栄光に輝き凱旋した誇りある思い出と、充実した高校生活を過ごせた事に感謝している。

小坂法律事務所

弁護士

小坂嘉幸

昭和34年卒

〒110-0005

東京都台東区上野3-21-1

宮本ビル4F

TEL. 03-3831-6032

FAX. 03-3831-6037



めいしゅんかい

明駿会

昭和36年卒 向殿 政男

我々昭和36年3月卒(ほとんどが午年生まれの駿馬です)の明駿会は、2年に一度の開催ですが、今年は記念すべき20回目の総会で、

2016年6月24日に駿河台キャンパスの紫紺館に50名の同期が集いました。

生バンドの懐かしく、そして心温まるミュージックをバックにして、積もる懐かしい話に花が咲きました。懐かしき明治高校の思い出は遠くになりにはけりですが、73～74才まで生き延びている(?)現在の幸せと最近の境遇と亡くなった友の話、そして孫と病気の話、その中にも夢のある趣味と生きがいの話、尽きることはありませんでした。

最後は、加藤眞義代表幹事の指揮の下、声高らかに明治高校校歌“白雲なびく”を歌って、次回の2年後の再開を皆で誓いました。

Meiji

株式会社 本所工研

代表取締役 島村幸男

(昭和35年卒 珊瑚の会)

〒130-0003

東京都墨田区横川2-19-10

TEL: 03-3625-2431

FAX: 03-3625-2433

昭和34年卒 明高野球部OB



丸マルキュー株式会社

代表取締役会長

宮澤 政信

〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀 2-4

TEL: 048-728-0909 FAX: 048-728-3909

ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

細田木材工業株式会社

代表取締役社長

細田 悌治

(昭和35年卒/珊瑚の会)

〒136-0082

東京都江東区新木場 2-5-3

TEL: 03-3521-8701 FAX: 03-3521-8708

e-mail t-h39@woody-art-hosoda.co.jp

<http://www.woody-art-hosoda.co.jp/>

株式会社 宮本卯之助商店

宮本卯之助

(昭和35年卒業)

〒111-0035

東京都台東区西浅草2-1-1 (西浅草店)

TEL 03-3844-2141

FAX 03-3844-6730



さんなかない

三七会

昭和37年卒 福島 啓充

明治高校昭和37年卒同窓会「三七会」を平成28年5月21日紫紺館で開催しました。

40名の参加で大いに懇親を深めることができました。72～3才のジジイが集まったわけですが、みな高校生気分で意気軒昂に応援団の指揮の下、校歌を高らかに歌い、久しぶりに酸素を大量摂取したようにすっきりしたものです。総明会からは関谷副会長においでいただき感謝します。

今回は会報担当者のご了解を得、写真と共に参加者全員の名前を載せてもらうことにしました。存在の証明です。

相川勝／井川洋平／石井嘉一郎／上田秀男／大澤忠夫／大塚功夫／大出宏／小川裕行／金子剛一／久我舜亮／工藤訓弘／小林敏朗／小林久剛／小山雅司／三枝秀之／佐々木英文／佐藤信雄／澤田輝夫／島村宏和／関島輝和／関泰忠／千崎忠成／染谷秀夫／高石秀雄／宅見貞夫／潤岡久昭／中田貢弘／中村彰／中村哲士／長棟良元／夏目元一／西川芳充／林貞利／福島啓充／堀之内彬／矢野邦明／山田勲／横谷昌明／吉田信行／依田豊隆

次回は2年後。元気に集まりましょう。

(株)グローバル インシュアランス
保険総合コンサルタント

代表取締役

若松 弘昌

(昭和39年卒 明雪会)

〒141-0031 品川区西五反田2-9-7
ドルミ五反田アンメゾン1001号
TEL. 03-3491-0900
FAX. 03-3491-0934

昭和37年卒

新麴町法律事務所

弁護士 **福島 啓充**

〒102-0083
千代田区麴町3-7-4秩父屋ビル5階
TEL 03-3234-0511
FAX 03-3234-0510

山田ゴム工業株式会社

山田和孝

(昭和36年卒 スキー部)

台東区浅草橋3-17-7
y-kazu@yamada.gomu.gr.jp

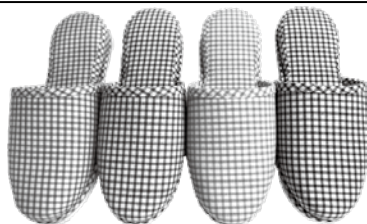
スリッパ・サンダルのSANWA

三和繊維株式会社

代表取締役 **小林久剛**

(昭和37年卒 三七会)

〒306-0112 茨城県古河市東山田386
TEL. 0280-75-2305 FAX. 0280-75-2306



オリジナルの名入りスリッパを簡単にご注文いただけます。

<http://sanwaslipper.com>



にねんにいっかい

二年に一会

昭和38年卒 三浦 昭生

七十路を過ぎ、時の経つ早さをしみじみと感ずる今日この頃。昭和35年明治中学、昭和38年明治高校を卒業、またその6年間に1日でも一緒に学んだすべての学友の同期会「二年に一会」(会長・三浦昭生)です。

会名のとおり卒業の翌年に第1回がスタート、以来2年に1回一度も欠かさずに総会・懇親会を開いています。総明会のテーマの“誇り”といえるでしょう。去年は第30回記念を横浜・中華街で開催。(写真)

これからも三浦会長、高橋正侑幹事長中心に新しい試みに挑戦し楽しい集いにしていきます。70過ぎてても意気軒高。最後に連絡先を記し、第52回総明会の成功を祈念し同期会報告とします。(文責・服部紀夫)

〒135-0005 東京都江東区高橋14-20 関戸淳一

TEL 03-3631-2008 FAX03-3631-2548 PCメール sekido-f@amber.plala.or.jp

金魚の吉田
老舗
創業文政二年



(株)ヨシダ

〒124-0023

東京都葛飾区東新小岩

5丁目14番7号

TEL 03-3694-3751

FAX 03-3694-3753

37年卒 吉田 信行

38年卒 増田 利明

加藤一也税理士事務所

加藤一也

昭和39年卒

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-25-8 第2扇屋ビル
TEL.03-3910-8683 FAX.03-3910-8441

祝 第52回総明会総会

昭和38年卒

二年に一会

会長 三浦 昭生

事務局長 関戸淳一

PCメール

sekido-f@amber.plala.or.jp

株式会社 シティ・ハウジング

代表取締役 佐藤 仁 (昭和39年卒 一一七会)

本社 東京都大田区西糀谷4-28-14
TEL 03-3742-7177
FAX 03-5705-8097

URL: <http://www.cityhousing.co.jp>

糀谷本店・京急蒲田店・蒲田東口店・蒲田西口店・大森駅前店・大森店・大井町店・雪が谷店

昭和38年卒 二年に一会

石野 隆 水泳部OB

イタリアン

トラットリアリンシエ

03-6264-8253

東京都中央区東日本橋 3-9-2
サンクビル 1F

JY 上陽テクノ株式会社

代表取締役

阿 部 正 行 (昭和40年卒)

千代田区外神田 6 - 10 - 11

TEL. 03 - 3834 - 1329

スコッチのシングルモルトと
カクテル中心のお店です。

赤坂 オールドタイム



横瀬 昭夫 (昭和42年卒 M41)

東京都港区赤坂5-1-37 SDビル1F TEL. 03-5563-9606

〔不動産みどりの窓口〕

有限会社 扇屋商事
東京都知事免許 (14) 4606号

代表取締役 野田彰造
(昭和39年卒 39会)

〒170-0002

東京都豊島区巢鴨1-18-11

☎ (03) 3945-0911(代)
ファックス 3947-0555



中華ファミリーレストラン



孫悟空

細田店 葛飾区細田1-15-6
TEL 03-3650-0059

新村秀男 葛飾区議会議員
(昭和42年卒)



よんいちめいゆうかい

四一明友会

昭和41年卒 廣瀬 準

我々昭和 41年卒の「四一明友会」が総明会の幹事学年になる42・43才の同期会育成の為に、菊池君が中心になり山崎・三浦両先輩の尽力により同期会を作り幹事学年が出来るまで御指導頂いて今になっています。

現在年1回4月第3土曜日に開催しています。「新たな試み」としては、「昔を顧みない。前に向かって行け」です。誇りとしては、「団塊の世代に生き、和を大切に」です。

祝52回総明会総会・懇親会

昭和41年卒

四一明友会

オフィスのAからZまで
エーゼット株式会社

服 部 洋 一 昭41年卒

服 部 雄 二 昭44年卒

〒101-0025 千代田区神田佐久間町 4-22
TEL 03-3865-9577 FAX 03-3865-1162

昭和40年卒 明優会
マンドリンクラブ
JRC

株式会社 **アドバンス**

代表取締役専務

大塚清和

浦安市猫実4-6-28 ヨーラタワー
TEL. 047-355-6633 (代)

祝 第52回総明会総会

明治高校
昭和43年卒
同期会

紫讃会

昭和43年卒

三田 幹男

紫讃会

紫讃会

川口明高会

石井次男

紫讃会

堀内 繁

(昭和43年卒)

機械式時計専門店

株式会社ティーエス・ホリウチ

TEL.03-3831-9733

FAX.03-3831-9734

<http://www.ts-horiuchi.jp/>

中華料理

水新菜館

寺田 規行

(昭和四十三年卒 紫讃会)

東京都台東区浅草橋二丁目一番一号
TEL.〇三(三八六)〇五七七番

(有)本間製菓店

本 間 修

(昭和43年卒 紫讃会)

〒135-0004

東京都江東区森下2-17-2

電話: 03-3631-6064

FAX: 03-3631-6129

竹川 忠芳

弁護士

昭和四十三年卒
竹川忠芳法律事務所

〒一〇五〇〇〇三

東京都港区西新橋一丁目三

虎ノ門法曹ビル四〇八

電話 〇三三二五〇四一三〇八

FAX 〇三三二五〇四一三〇七

昭和四十四年卒
弁護士

田 中 等

丸の内南法律事務所

〒100-0005

千代田区丸の内二・三

丸の内仲通りビル七一七

TEL.〇三三二二五一一五

FAX.〇三三二二六〇四四

昭和43年卒 紫讃会

小田嶋 保男

東京都足立区中央本町 4-2 4-8



おとこさかくらぶ

男坂倶楽部

昭和44年卒

寺田 康夫

昭和44年卒業の同期会男坂倶楽部です。総明会幹事学年として明治中学・高校校舎を会場とした総会以来、毎年定期的に定例会を開催しています。今年は7月1日に恩師の村野、山脇先生を迎え、会場を山の上ホテルとして総勢56名が参加して盛大に開催しました。懐かしいスライドショーの企画があり数十年ぶりに顔を見せた会員もいて、昔に戻って楽しいひと時を過ごしました。

私事になりますが、この6月のサラリーマン退任挨拶で、職場が男坂階段の上にあった関係で明治中学入学から53年間の駿河台への思いを話すことになりました。

最後に寺田さんにとって駿河台は故郷みたいなものですね、の言葉があった時にはジンとくるものがありました。

新しいOB・OGの皆さんには調布の街が故郷になるのでしょうか？

総明会 副会長 昭和44年卒 男坂倶楽部

ミートショップセキヤ

株式会社 関谷商店

代表取締役社長 関谷芳久

<http://www.1129sekiya.com>

足立区西新井栄町3-8-5 TEL.03-3886-3318 FAX.03-3886-5803



肉の田じま

<http://www.nikunotajima.com>

1F 精肉小売 ミート&デリカ

TEL 03-3649-4419

2F 焼肉レストラン

TEL 03-3699-8929

3F すきやき・しゃぶしゃぶ・ステーキ

TEL 03-3699-5529



株式会社 田島商店

本社 東京都江東区扇橋1-4-1
TEL03-3647-2984 FAX03-3699-7229

代表取締役社長

田島 実

昭和44年卒 男坂倶楽部

花や鉢物のお届けします。

昭和45年卒

株式会社
ボトマックガーデン

代表取締役

平田 幸彦

〒107-0052

東京都港区赤坂7-8-13

TEL 03-3589-0687

FAX 03-3583-9423

〒110-0011
墨田区緑四一九一
電話〇三三六三二二二

家中 勉

昭和四十四年卒
味処・酒処す吾六

マイケル&マック

鍼灸・中医学・東洋医学・
脈診・漢方・均整法

千葉県市川市北方2-2-10

TEL&FAX 047-336-0763

HP: <http://michaelmac.jp>

鍼醫 松本 明久

昭和44年卒 男坂倶楽部

昭和47年卒

五木田・三浦法律事務所
南青山オフィス

弁護士

三浦 雅生

〒107-0062

港区南青山6-8-15

TEL 03-5774-2090



YAMANOOTO

バーラー&コーヒーハウス 山の音

●都電堀原銀座商店街

昭和45年卒業

松川 芳久

うお き よ
割烹・小料理 魚菰代

昭和45年卒 獅子の会

中野 和博

(バスケ部)

ランチ11:30~13:30(平日のみ)
夜17:00~22:00(水曜定休)

☎ 03-3619-0585

住 東京都墨田区東向島5-26-2



炭遊酒菜
旅籠 (はたご)

新宿で一番美味しい炭火鶏焼きのお店
大小7個の個室完備。新宿駅西口徒歩3分

東京都新宿区西新宿1-23-1 かどやホテルB1F TEL. 03-3344-3144

竹川観光株式会社

竹川 茂 (昭和47年卒)

麻布

魚活鮓

うおじすし

創業五十年江戸前本格

東京都港区東麻布1の17の3 03-3583-1729

uoji.net 最寄駅 赤羽橋駅・神谷町駅・芝公園駅



ししのかい 獅子の会

昭和45年卒 平田 幸彦

獅子の会では、毎年何回か企画行事を行っています。今年はオリンピックの年恒例の同期会を10月1日(土)14時より、御茶ノ水・東京ガーデンパレスで開催します。記念講演として、①同期吉田亮一浴風会病院長の「70才を如何にして迎えるか？パート2」、②同期吉田茂夫公認会計士の「遺産相続について」を予定しています。掲載写真は、6月19日(日)に三宅裕司君の熱海五郎一座「熱闘老舗旅館・ヒミツの中居と曲者たち」を同期と奥さんとの観劇記念ですが、5月29日(日)のフジテレビ「ウチくる!？」では、三宅裕司君がゲストということで、比留間君、根本君、中野君が出演しました。「獅子の会」のホームページを是非ご覧ください。

祝 第52回総明会総会

昭和45年卒

獅子の会

【獅子の会 ホームページをご覧ください】

<http://www.44nokai.com/>

平沼孝之

昭和45年卒 獅子の会
バスケットOB

そば教室も兼ねて江戸蕎麦の
真骨頂に迫ります。

蕎麦上人

(そばしょうにん)

東京都台東区駒形 2-7-3
03-3841-7856

夫婦二人でサービス精神と
元気を売りにしています。

蛇の目寿司

昭和45年卒 獅子の会
硬式野球部

河田 勇

東京都中央区東日本橋3-10-13
TEL 03-3661-8536

喫茶ペガサス

後藤義明 S45
フェンシング部

Clarion

後藤勇三 S50
硬式野球部



めいちょうかい

明潮会

昭和46年卒 小島 隆

「誇り」-心の安全基地>

現代は悩み多き時代である。

人間は概ね、生後十か月の間に、母親に抱かれお乳をもらうことで、揺るぎない安心感を得て、愛着が形成されるという。心の安全基地である。

同じように多感な13才から18才の間を、私たちは日本の中心東京の千代田区御茶ノ水にある明大明治に集い、学び、青春を過ごした。人一倍の愛校心と、かけがえのない友達。自分が明大明治出身であることへの意味と、限らない「誇り」が根付いていることに気付く。

その誇りがあるからこそ、他者を認め、許し、分かりあっていける自分が何者であるかを考えたとき、今更ながらその存在の大きさに驚き只々、感謝するのである。

昭和46年卒

(株)ハナワトランスポート

代表取締役社長

埴 直樹

中央区日本橋箱崎町12-2

祝 第52回 総明会 総会

昭和46年卒

明潮会

窪寺弘匡 (昭和50年卒 明紫会)

東京都中野区新井1-23-21
ブルメリア1F
TEL. 03-5345-5086

(株)ライトハウス・コミュニケーションズ

代表取締役

齊藤 公義

昭和46年卒「明潮会」

〒104-0045
中央区築地1-4-8 築地ホワイトビル503
TEL.03-6226-6200 FAX.03-3542-8070

(株)インタープランニング

代表取締役

堀 眞壽

昭和46年卒 明雪会

〒135-0003
東京都江東区猿江1-2-9
TEL.03-5600-3388
<http://winwinstyle.com>



よなよなどうしようかい

四七四七同志酔会

昭和47年卒 廣野 宏士

1999年に帝国ホテルでの総会で幹事学年を務めました、昭和47年卒業の四七四七同志酔会です。それからはや17年、『驕の隙を過ぐるが如し』の感があります。

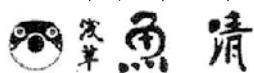
我々は幹事学年に向けて『40才を過ぎてからの人間関係の再構築』と『同級生同志、人生にエールを贈り合おう』を合言葉に邁進しました。今でもこのイズムを忘れる事なく交流は続き、先日にも還暦記念の祝いの会を紫紺館にて開催しました。湯島天神本殿へも参拝し厄除けのご祈禱を受け、約70名が参集し賑やかな一夜を過ごしました。

『人生は邂逅である』同級生との良き出逢いをくれた明治中学・高校に感謝し、また良き学び舎に学ばせてくれた両親に感謝しつつ、『減っても増えない同級生』と今宵も夜な夜な(会名の由来です)また一献。もう一軒。

幹事学年・平成改元会の皆さん、準備お疲れさまでした。盛大な総会・懇親会となることを祈っております。四七四七同志酔会の皆さん、セルリアンタワー東急ホテルに集まりましょう。我々幹事も出席します。ミニ同窓会を催しましょう。

ふぐ料理

和牛しゃぶしゃぶ



岡本力三・恵市郎

昭和47年卒 平成8年卒

台東区浅草四丁目35番2号

電話 03-3874-2390

<http://www.uosei-asakusa.com/>

祝 第52回 総明会

四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

古庄一夫税理士事務所

四七四七同志酔会

古庄一夫

(昭和47年卒/吹奏楽班)

東京都墨田区菊川2-5-12

菊川ジョイタワー301号

TEL:03-3635-7070

FAX:03-3635-7081

kazuof.a.o.2003@fancy.ocn.ne.jp

昭和47年卒

文具&スポーツ

有限会社コバヤシ

小林千春

(硬式野球部)

〒343-0836

越谷市蒲生寿町9番39号

TEL048-988-2222

FAX048-988-2277

建築設計監理

有限会社 日生建築設計事務所

代表取締役
一級建築士

戸張 毅
(四七四七同志酔会)

〒170-0002

東京都豊島区巣鴨三丁目5番18号

TEL (03) 5907-6030

FAX (03) 5907-6033

E-mail:nao.111@themis.ocn.ne.jp

祝 第52回総明会 総会 波 の 会

昭和48年卒 卒業生一同

代表者 富永 栄之進
副代表 板橋 純三郎 尾崎 幸平
評議員 海老根 一介 雨海 重明

浅草の隠れた名店
スペシャルヒレカツサンド

キングステーブル

昭和48年卒 波の会 剣道部OB

大澤 保男

TEL. 03-5825-4129

東京都台東区浅草 5-71-9

昭和48年卒 波の会

製菓原料卸(お米の粉)
株式会社山口商店

代表取締役 **山口 隆**

〒143-0016
大田区大森北1-17-2
TEL.03-3761-4838

<http://www.yamaguchi-shouten.co.jp/>

〒一六五〇二六
中野区新井一五五・一〇五
電話 二三三八六・五五六四
FAX 三三八六・七六一九

濱本 義典

四国商事株式会社

昭和四十八年卒

祝 第52回総明会 総会・懇親会

49年卒 翼 明 会

翼明会役員一同

(株)カントー・エステート
不動産賃貸業・管理業

宮下 守正

昭和49年卒

東京都荒川区西尾久1-20-12
M2ビル1階

TEL.03-3894-8161

FAX.03-3894-3682

取扱保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社
第一生命保険株式会社

代表取締役 **竹澤 啓** 昭和49年卒 翼明会 代表幹事
美術部演劇部・相撲部・生徒会本部OB

ターカム保険企画有限会社

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西 3-14-4

TEL 03-3675-9955 FAX 03-3675-9922

携帯 090-3200-6139 E-mail: takezawa123@yahoo.co.jp



新たな村作りへ

「明紫会」の面々は、今年、60才の還暦を迎えました。卒業後42年、明紫会の今後の同期会がどうあるべきか？考えたいと思います。

同じ学舎で過ごした仲間が、第2の「ふるさと」として帰郷できる「明治郡・明紫会村」、村に帰れば友と昔を懐かしみ、酒を酌み交わし、また気持ち良く元の生活に帰って行ける、そんな場所が理想です。

これからも会員の声を聞き、絆を大事にし、理想の「ふるさと」造りを目指して行こうと思います。

この会報が届く頃の10月1日(土)には還暦記念の総会を機に新たな会員の参加が増え「明紫会村」の新たな村造りのスタートが切られていることでしょう。

祝 第 52回総明会 総会・懇親会

昭和50年卒

明 紫 会

昭和50年卒 明紫会

高橋郁夫

ダイアナ株式会社



www.dianashoes.com

(有)太陽精器製作所

昭和50年卒・明紫会

代表取締役

世古 俊之

材料から加工・熱処理・めっき研磨までワンストップが強みです。今、下町ボブスレープロジェクトを盛り上げています。

HP：090-8892-5576

PEP-MATES inc. HP-URL www.pep-mates.com

オリジナル!!

ネクタイ・クラブタイ、30本から製作致します!

デザインは弊社にて無料で提案します。イメージとなる紋章・カラーをメールまたはFAXでお送りください。
専門のデザイナーがイメージを作ります。デザイン確定後、本数をお知らせいただければお見積りをします。



オリジナルグッズ企画・制作
ベップ・メイツ株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 14 番 10 号

TEL 03-3663-8827 FAX 03-3663-8828 E-mail: info@pep-mates.com

代表取締役 大前実之(昭和49年卒・翼明会)

藍

全

昭和50年卒 明紫会

明治高等学校
昭和49年卒
翼明会

醍醐 敦
醍醐会計事務所
047-355-9301

吉武孝生税理士事務所
昭和五十年卒 明紫会

〒121-0813 東京都足立区竹の塚六一九七
オーケビル四〇一
TEL 03-5585-1528
FAX 03-5585-1529
E-mail: y@tax-yoshitake.com

お車のトータルサービス

代表取締役 服部 憲一
社長 (昭和50年卒明紫会)

㈱服部自動車鈑金工業

〒179-0073
東京都練馬区田柄5-22-20
TEL 03-3990-8541
FAX 03-3998-0177
E-mail: ken@hattori-auto.com

割烹 魚きく

亀井利一

(昭和50年卒 明紫会)
山岳部OB

Tel. 03-3386-6128
東京都中野区沼袋3-26-12

有限会社トラストワーズ
金属アクセサリ企画・製造
代表取締役社長 山田真也
(硬式野球部OB)

取締役専務 山田健二
(硬式野球部OB)

〒113-0048
東京都墨田区八丁四丁目八番二十号
TEL 03-3612-3333
FAX 03-3618-3983

モップ・清掃用品・テント・シート
袋物から大型品縫製加工

株式会社 岡 仁

代表取締役 岡本雅仁
昭和51年卒 明々会

〒106-0047
東京都港区南麻布2-4-12
TEL 03-3451-3671
工場: 栃木県大田原市

焼鳥 寺 也

昭和50年卒 明紫会
木屋 満

〒104-0032 中央区八丁堀1-7-6
TEL・FAX 03 (5541) 5761



めいめいかい

明々会

昭和51年卒

井家上 哲史

昭和51年卒、明々会では、毎年、7月の第二土曜日にゴルフ会と清水紀夫先生をお招きして総会を開催しています。

今年は、7月9日、紫あやめカントリーにてゴルフ、その後、明治大学紫紺館にて総会を開催しました。いつもお元気な清水先生を我々も見習いたいものです。

連絡の取れない同期がまだ40名ほどいますが、少しでも減らすことができるように呼びかけ中です。

なお、来年、還暦を迎えることから、2～3月頃に神社での厄祓いのイベントを実施することが決まりました。

銀座線 外苑前駅すぐ
豆菓子・おかきの店
青山但馬屋

太田垣 政紀

(昭和51年卒 明々会)

〒107-0061

東京都港区北青山2-7-11

TEL.03-3401-2843

www.aoyama-tajimaya.co.jp

祝 第52回 総明会総会・懇親会

明々会

昭和51年卒

〒177-0033
練馬区高野台一丁目2番15号
FAX 03-3591-0100
五五

吉田 博

代表取締役

株式会社 エヌエフヴィレッジ

昭和五十一年卒 明々会

厨房のアメニティを創造する
津守興業株式会社

代表取締役 津守 徹
(昭和51年卒 明々会)

〒332-0001

埼玉県川口市朝日5-5-22

TEL 048-222-6187

FAX 048-222-8584

E-mail: tsumori@luck.ocn.ne.jp

プラスチック製品製造

株式会社 プラテック

代表取締役

林 伸光

(昭和51年卒 明々会)

〒339-0034

埼玉県さいたま市岩槻区篠久保1137-2

電話 048-791-7311(代)

FAX 048-791-7312

E-mail Platec@image.ocn.ne.jp

祝 52回 総明会総会・懇親会



中華麺専門工場
株式会社 浅草開化楼

昭和50年 明紫会 坂上 進


〒111-0041 東京都台東区元浅草4-8-4
Tel 03-3844-0637 Fax 03-3841-4551

練馬 高野台

ネーチャーズフォーレストグループ

代表 横山 茂樹 (昭和52年卒男子校根性組)

本店 東京都練馬区高野台1丁目7番3号NFプラザ3-210
TEL 03-3996-0612 FAX 03-3996-0630
<http://www.neritaka.net/> E-mail: nfsy@opal.famille.ne.jp

 株式会社 小島商会

自転車部品・用品卸

代表取締役

小島 隆司

昭和53年卒

東京都台東区上野1-6-5
TEL.03-3831-9792

V3 Kadoya

ENJOY! SKI LIFE
www.facebook.com/v3kadoya/

角谷幹夫
Mikio Kadoya

〒101-0052
東京都千代田区神田小川町3-2
TEL : 03-3295-2525
FAX : 03-3291-3564

パートナーズ総合事務所

司法書士 菅原 誠
行政書士

(S52年卒 男子校根性組)

〒110-0008
東京都台東区池之端1-1-1
池之端ビル8階

TEL. 03-3835-8041
FAX. 03-3835-8042

E-mail : ZVC00312@nifty.ne.jp



だんしこうこんじょうぐみ

男子校根性組

昭和52年卒

大西 静士郎

今年度の同期会は、5月21日(土)に本所吾妻橋の「割烹とんぼ」で行ないました。今年は同期に声がけしてくれた方々のおかげで、初参加の方を含め例年より多くの方にご参加いただきました。ご尽力してくださった皆さん、ありがとうございます。

今年は、還暦を2年後に控えた年齢のせいでしょうか、健康の話題で盛りあがりました。癌の手術を終え退院してきたばかりの者、これから入院する者、生死の境を彷徨って無事生還した者からいろいろな話を聞くことができました。そこからは、身最良も多少はあるかもしれませんが、自らの病氣と冷静に向かい合い人生を楽しもうとする姿勢を教えられたように思います。

祝 第52回総明会 総会・懇親会

昭和52年卒

男子校根性組

<http://dankon52.web.fc2.com>

手打ち 如月徳

如月 徳 (きさらぎとく)

昭和 52 年卒 男子校根性組

石黒 理樹

Tel. 03-3801-9001 荒川区荒川 7-26-9



昭和52年卒

佐藤 大英 曹同宗圓通寺

墨田区向島 3-11-6

Tel. 03-3622-7045

<http://www.entuuji.or.jp>

株式会社 大西静商店

取扱商品: 貸事務所・パーティーグッズ

大西静士郎

男子校根性組(昭和52年卒)

〒101-0032

東京都千代田区岩本町2-2-13

TEL. 03-3866-6097

FAX. 03-3866-6098

<http://www.rakuten.co.jp/osparty/>

米田税務会計事務所

昭和53年卒(バスケット部)

税理士 米田晴彦

〒130-0026

墨田区両国2-17-3

(両国高橋ビル3F)

TEL 03-3631-8878

FAX 03-3632-3346

E-Mail: yonetakaikai@tkcnf.or.jp

昭和53年卒 マンドリン部OB

弁護士 高木 茂

銀座法律会計事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-3 セントラルビル6F

TEL.03-6228-4487 FAX.03-6228-4489

相続
遺言行政書士
税理士

つね ずみ

常住事務所

☎03-3905-6981

〒115-0055 東京都北区赤羽西1-5-1-606

アビレ・赤羽アボードビル内 FAX: 03-5963-7430

E-mail: yutaka@tokyo.email.ne.jp

代表 常住 豊 (昭和54年卒 明誠会)

日本行政書士会連合会 副会長/東京都行政書士会 会長
公益社団法人成年後見支援センター ヒルフェ 理事長

取締役 開業ビジネス推進部 本部長

岩佐 浩之

(昭和54年卒 明誠会 テニス部OB)

株式会社テーブルカンパニー

東京都渋谷区神宮前1-15-4

東郷ビル1F

<http://www.tablecompany.jp>

昭和54年卒同期会

壺 伍 会

SINCE 1980

吉田 雅博

埼玉県川口市

昭和54年卒

明誠会

(株)朝倉 鋳物

代表取締役

朝倉一寿

Wako Real Estate Investment Co., Ltd.

和光アールイーアイ株式会社

代表取締役

熊澤正幸

昭和54年卒

〒102-0072

千代田区飯田橋4-1-11 六洲社ビル

TEL.03-3512-0750

FAX.03-3512-0753

<http://www.wako-rei.co.jp/>

愛三電機株式会社

代表取締役社長
公認会計士

河 合 洋

昭和54年卒 明誠会

〒101-0021

東京都千代田区外神田1-12-3

TEL. 03-3253-3611(代表)

<http://www.aisan.co.jp>

精密金属挽物加工

有限会社 高埜製作所

代表取締役

高 埜 雅 信

昭和54年卒 明誠会

〒131-0045

墨田区押上3-15-6

TEL.03-3617-4365

FAX.03-3612-2368

矢ノ目忠税理士事務所

昭和五十四年卒 明誠会

〒三五・〇〇四八

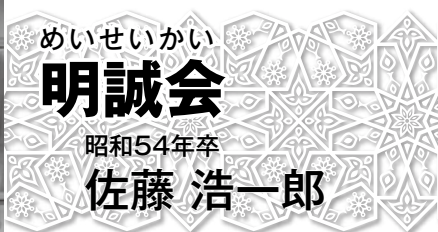
江東区門前仲町二・二・一六

えとりビル三階

電話 〇三・五六三九・七七六二

FAX 〇三・五六三九・七七六二

E-mail: yanome@yanome.jp

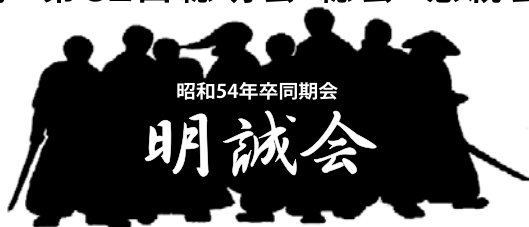


6月12日(日)に第14回明誠会の同期会を開催致しました。

会場は日本橋にあるAlice Tokyo Nihonbashi。私の大学時代、スキー・サークルの先輩が経営されているお店です。その先輩も明大中野のご出身で、付属校の誼みと言う事で、食べきれない程の豪華な料理とお酒を始め、大変勉強して下さいました。熊倉会長が忙しい時間を割いて製作して下さいった中学・高校時代の懐かしいスライドの上映、各自の近況報告等、和気藹々とした楽しい会と相成りました。

今年、総会・懇親会が行われる会場はちょうど10年前に我々明誠会が幹事学年を務めさせて頂いた時のセルリアン・タワーと聞いております。明誠会からも多数参加させて頂き、盛り上げられればと思っております。

祝 第52回総明会 総会・懇親会



http://1st.geocities.jp/meiji_s54/index.html

昭和54年卒
明誠会

木村 誠

両国 國技堂
有巢屋 両国あんこあられ本舗
代表取締役 岩佐 浩之
昭和五十四年卒 明誠会
東京都墨田区両国二一七十三
電話〇三三六三一三八五六

暮らしの衣料 まつざわ
株式会社 調布松澤屋
取締役 松澤 和昌
(昭和54年卒明誠会)
〒182-0026
東京都調布市小島町1-34-12
TEL 042-482-2634

有限会社 オフィス ダン

代表取締役 **伊東正明** 昭和55年卒
紫魂会

本社: 〒132-0031 東京都江戸川区松島3-32-1
銀座支店: 〒104-0061 東京都中央区銀座7-13-2
ティアラグレイス銀座タワー
TEL: 03 3653 1366 E-mail: bellito@softbank.ne.jp



URL: <http://www.yamayo.co.jp/>

代表取締役

鴨下裕彦

(昭和56年卒 明翔会)

〒120-0015
東京都足立区足立2-23-13
TEL: (03)3849-5416
FAX: (03)3849-6515
E-mail: kamoshitah@yamayo.co.jp

紫魂会
渡辺裕之

税理士

廣田 敦

昭和55年卒

廣田税務会計事務所

〒330-0841
さいたま市大宮区東町2-201
TEL. 048-641-6679
FAX. 048-647-8383

昭和五十六年卒(硬式野球部)
須藤司法書士事務所
司法書士
須藤 貢一
〒135-0046
江東区牡丹二一九一六九一四
TEL 03-3643-1650

みなと協和法律事務所

弁護士 **鈴木一洋**

(昭和56年卒 明翔会)

〒105-0001
東京都港区虎ノ門2丁目1番1号 商船三井ビルディング4階
TEL: 03-5575-7157 FAX: 03-5575-7158
E-mail: toxotes@hyper.ocn.ne.jp

税理士法人 **狩野会計社**

www.kanou-kaikeisya.com

代表社員 税理士

狩野 智雄

(昭和56年卒)

〒114-0002 東京都北区王子2丁目28番2号 Tel: 03-3913-1964 Fax: 03-3912-0835
IP: 050-5517-4071 Mobile: 090-1534-8396 E-mail: tkanou@kanou-kaikeisya.com

包装のコンサルタント

寺村梱包株式会社

代表取締役 **寺村一義**
(昭和56年卒 明翔会 バスケOB)

東京都文京区本郷2-19-11
TEL 03-3813-6686
FAX 03-3813-6689
<http://www.teramura-pack.co.jp>



平成28年6月25日（土）、昭和56年卒「明翔会」の総会・懇親会が紫紺館「椿山荘」で開催されました。

総会では、新会長に蓬田君が承認され役員8名体制が固まり、その後の懇親会では、蓬田新会長より「同期が気楽に集まれる会を目指したい」との挨拶に続き、石井敬次郎君の乾杯の音頭でスタートしました。参加者全員が、近況報告を行い、自分の健康状態・家族の事・昔の思い出話や失敗話で、大いに盛り上がりました。最後は、蓬田新会長の音頭で校歌斉唱、中締めは山下役員の挨拶で閉会となりました。

二次会は明翔会御用達の「龍盛菜館」に場所を移し、いつものように大いに盛り上がり、来年の新年会集合を約束。土曜の夜の街に三々五々散って行きました。

祝 第52回総明会 総会・懇親会

昭和56年卒

明翔会

<http://www.ac.auone-net.jp/~s56meiji/>

同期の皆さんホームページを御覧ください。
連絡お待ちしております。

総合建設・不動産

正宗産業株式会社

代表取締役 市川 洋 治

〒210-0834

(56年卒)

神奈川県川崎市川崎区大島5-8-13

電話 044-244-1054(代)

〒214-0039
川崎市多摩区栗谷二丁目一
五番五交〇四一九五五―三七二一
携帯〇九〇―八九六一―三九一二

館長 村山智教
(昭和五十六年卒 明翔会)

青少年への健全な育成
日本堂手道 村山道場



めいこんかい

明魂会

昭和57年卒

池田 賢一

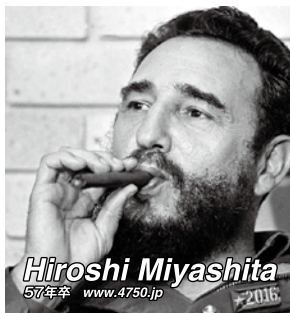
2016年度の同期会は、5月21日午後5時から、JR品川駅の藤寿司様で、開催です。
当日の出席者は、26名。明魂会メンバー20名、幹事4名、幹事学年 平成改元会から2名。
当初の予定などお構い無し！実際に会が始まったら、“おおらかな”進行で、盛り上がりしました。

- ・いつの間にか開始、メンバー登場の度に、“乾杯”連発。
- ・1時間後に、会長挨拶。「そろそろ良い？」で、菊池正純会長登場。
- ・グッズ売上最高！ by 幹事学年。告知・宣伝の成果あり？
- ・最後はビシッと、校歌斉唱。とはいえ、「頼むから1番だけにして…」で、短くな～い？！賑やかで、笑いにあふれた、楽しい会でした。来年も楽しくやりましょう！

祝 第52回総明会総会・懇親会

明魂会

昭和57年卒

<http://www.meikonkai.com>


BDO 東陽監査法人

代表社員 公認会計士 岡田基宏

(昭和57年卒 明魂会)

吹奏楽班OB

〒101-0053

東京都千代田区神田美土代町7番地

TEL. 03-3295-1040

FAX. 03-3295-1993

総明開発株式会社

昭和57年卒 明魂会
硬式野球部OB会

代表取締役

染谷 貴男

〒340-0052

埼玉県草加市金明町473-4

TEL.048-946-2000

FAX.048-946-1700

ヤマダ社会保険労務士事務所

社会保険労務士

山田 覚

Satoru Yamada

昭和56年卒 明翔会

〒245-0061

神奈川県横浜市中区戸塚区汲沢2-1-5-D607

TEL/FAX.045-865-6282

株式会社東新理興

板硝子・理化学製品は齊木におまかせ!

昭和56年卒 明翔会

代表取締役 齊木 麻州男

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-4

TEL.03-3814-7565 FAX.03-3818-0208

昭和57年卒 明魂会 岩崎広人

“生産量全国二位”のうどん県 埼玉・蓮田名物 島田造りうどん

乾麺「島田造り」は、一般小売店では
お求めになれません。製造元と直結した
直販・通販で販売しています。

ゆで時間が早く、生めんのように滑らかな
のど越しが特徴の美味しい乾麺です。



彩の国優良ブランド品
認定商品

おきなのさと
翁の郷

埼玉県蓮田市大字関戸 280

営業時間 9:00~18:00/ 火曜定休

お電話での御注文はこちらから

0120-8733-07

製造元 株式会社 岩崎食品工業

日本料理 手打ちそば

浅草 十和田

富永龍司

昭和58年卒 明輪会

台東区浅草1-13-4

TEL. 03-3841-7375

紙一般包装資材企画販売

近代紙業株式会社

〒340-0834

埼玉県八潮市大曽根1420

<http://www.kind-ai.co.jp>

小林 謙之

KENJI KOBAYASHI

昭和57年卒 明魂会

地理研究部OB会

k-koba@kind-ai.co.jp



めいわかい

明輪会

昭和58年卒

根元 辰治

私は入学学年と卒業学年が違うため、入学学年の明輪会や卒業学年の明心会にも、ちょっと気が引けて参加することはありませんでした。ましてや総明会など縁がないものと考えてました。しかし明心会が総明会の幹事学年の時、このチャンスを逃したら二度とないだろうと、初めて総明会に一人で参加してみました。

すると準備など一切関わっていないのに、幹事学年の明心会メンバーが次々とあいさつに来てくれたのです。また入学学年の明輪会メンバーも声をかけてくれ、昔話に花が咲きました。今まで気後れしていた自分が馬鹿らしく思えました。

今では、明輪会の同窓会にも参加していますし、明心会からの連絡もいただいています。人の二倍友人に恵まれていることを、改めてよかったと感じています。

今まで同期の集まりや総明会に関心のなかった先輩、同輩、後輩の皆様、是非今年の総明会に参加してください。

ちなみに明輪会は、会員だけがアクセスできるページを通じて、各種行事の連絡や日々のつぶやきを交換しています。まずはFacebookに登録してみませんか？

祝 第52回 総明会 総会・懇親会

めい わ かい
明 輪 会

昭和 58 年 卒

こころのわ

有限会社クリーニング

あかひや

昭和58年卒 明輪会

小野 洋

東京都目黒区鷹番3-7-18
TEL 03-3714-0452

昭和58年卒

明輪会

遠藤憲治



有限会社 遠藤印刷

www.eqp.jp

昭和58年卒 明輪会

青木経営法務事務所

行政書士

青木 正美

東京都江戸川区南篠崎町4-25-4
TEL 03-3676-5420
FAX 03-3676-5421



めいしんかい

明心会

昭和59年卒

石井 雅之

昭和59年卒業の「明心会」です。メンバーは今年、51才になります。今年の同期会は、6月に日本橋茅場町のお店「鳥徳」(店主は闘紺会の鍋島君、マンドリン部OB)での開催でした。一同、美味しい料理と酒に酔いしれました。また、幹事がマンドリン部ということで同部の先輩方にもご協力を賜り、マンドリン・ギターの演奏に合わせ、校歌や応援歌の大合唱で宴は最高潮のまま2次会に突入しました。

明心会の活動としては、4月にゴルフコンペが開催され、10月には台湾旅行が企画されています。来年の同期会でも多くの同期メンバーにお会いできることを楽しみにしています。ぜひご参集ください！

祝 第52回総明会 総会・懇親会

めい しん かい

明心会

昭和59年卒

<http://www.meishinkai.com/>

株式会社 山泰製作所

取締役 営業部長 山本 雅宣 (昭和59年卒 バスケット部OB)

〒949-6775

新潟県南魚沼市宮字西原2294番8 (津久野工業団地内)

TEL 025-773-3428 FAX 025-773-2763

E-mail masanobu-yamamoto@yamatai-mfg.co.jp

宮沢孝昌

(S59年卒・水泳部)

珈琲亭 ルアン

〒143-0016

東京都大田区大森北1-36-2

Tel: 03-3761-6077

平 日 7:00~20:00(オーダーストップ)
日・祭日 7:30~18:00(オーダーストップ)

木曜定休

一般社団法人 相続を考える会あなたの相続に関するお悩み、
弁護士・税理士らの専門家集団と一緒に考えます。

昭和59年卒 税理士 田中重幸

〒279-0004 浦安市猫実3-5-14-104

TEL 047-323-6322

有限会社 共栄化工
一般 装 飾 品 鍍 金

代表取締役

岩井 孝之

昭和59年卒 明心会 バレー部OB

〒131-0041 墨田区八広2-18-13

TEL.03-3617-6050

FAX.03-3618-0711

<http://www.kyoueikakou.com>**株式会社 エヌエスビー**ウェブシステム開発／
サーバ保守・運用管理

代表取締役社長／公認会計士

根津 光弘

昭和59年卒 明心会

<http://www.nsb.ne.jp/>**総合電設資材卸
伊東電機株式会社**

代表取締役

伊東 稔

昭和59年卒 バスケット部OB

本社：東京都江戸川区松島3-34-21

TEL.03-3654-9241

FAX.03-3654-9256

E-mail ito@ito-den.com

船橋営業所・松戸営業所

有限会社 忠建商事

不動産の有効活用 売買・賃貸・企画・管理

昭和59年卒 明心会 硬式野球部OB

代表取締役

渡辺 憲一

〒224-0001

横浜市都筑区中川7-17-18

TEL.045-911-3011

<http://www.chukenshouji.com/>

昭和59年卒

ライフプランナー

渡 邊 文 夫

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンター第9支社

東京都渋谷区代々木2-1-5

J R 南 新 宿 ビ ル 1 5 F

電 話 0 3 - 5 3 5 8 - 1 7 0 9

携 帯 0 9 0 - 4 3 7 6 - 6 1 4 6

SL 16-4290-0018

昭和59年卒

大山 輝芳

明心会

硬式野球部OB

株式会社 横濱屋

海産物問屋 丸二商店白口上煮干、ちりめんじゃこ、しらす、
昆布、するめ、帆立貝柱、わかめ、
スモークサーモン、かずのこ、いくら**細金 治彦**

(昭和60年卒 岡組会)

硬式野球部

東京都中央区築地4-10-16

03-3541-1531

S H I M A M U R A D E S I G N**ホームページ・パンフレット制作**

お客様のイメージをカタチにします。ご相談下さい。

グラフィックデザイナー 昭和59年卒 明心会

島 村 武 史

〒171-0052 豊島区南長崎3-31-14

TEL.03-5996-6828

E-mail.take-457@netjoy.ne.jp

<http://www.shimamura-design.com/>

☐ ロゴマークデザイン

☐ 商品カタログ制作

☐ 広告・会社案内制作

その他いろいろ制作します。



どうこんかい

闘紺会

昭和60年卒

織田 晴彦

本年度、我々は50才を迎える。4年前に幹事学年を務め、多くが28年ぶりに再会。それを契機に、年3回の同期会。集えば30数年前の中学高校時代へタイムスリップ。仲間との酒が、こんなに楽しく美味しいものかと、ついつい飲み過ぎ二日酔い…

昨年11月、総明会懇親会後に御茶ノ水「ラーメン青」で実施。ハイボールを飲み過ぎ、店のウイスキーが無くなるほどの大盛況。2月、会報前号別冊『せっかく行くなら総明会のお店』を利用し、1年後輩・氏家君の店、両国「ふぐ・ちゃんこ鳥義」で開催。山田先生もご臨席、美味しい料理と懐かしい思い出話とで楽しい集いに。7月には、同期の的場君が経営する新小岩「もつ真路」にて開催！

会を重ねる度に新たな顔ぶれも。釣り・ラーメン・サーフィン・ゴルフなど分科会も充実。まだ参加していない同期の皆さん、是非とも一緒に楽しい時間を過ごしましょう！

祝 第52回 総明会 総会・懇親会

昭和60年卒 闘紺会



和食 玉 寿司

東京シティ信用金庫新小岩支店前・定休日木曜日、第三水曜日

☎ 3 6 9 1 - 3 0 8 8

<http://www.tamazushi.jp>

手 束 謙 一 (昭和 60 年卒 闘紺会)

Technology and Trust

關紺会

株式会社立山電機工事

代表取締役 寺山 裕也 (昭和60年卒)

東京都江戸川区鹿骨四丁目22番13号

TEL 03-3670-0277 FAX 03-3670-3159

E-mail yuuya01@pop02.odn.ne.jp

自動車 外装磨き 内装清掃 専門会社

(対応車種 軽自動車～1BOX 輸入車 商業車 大型トラック・バス)

外装ポリマー加工
水アカ除去磨き
タバコ消臭処理
革シート清掃
ルームクリーニング



株式会社 サンコー商会 昭和60年卒
代表取締役 町側 尚則 關紺会
吹奏楽班OB

〒123-0872 東京都足立区江北3-38-1

TEL 03-3898-3501 FAX 03-3898-3701

E-mail machigawa@gmail.com

<http://www.car-sanko.com>

家庭文化用品 荒物雑貨 総合卸
輸出入竹工芸品全般

株式会社 大園

代表取締役 大園 正純 (昭和60年卒 關紺会)

本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目12番8号

電話 03(3624)5366 (代)

FAX 03(3624)5368

昭和60年卒

吹奏楽班OB

服部 高一

著作権契約書なら

駒沢公園行政書士事務所

行政書士 大塚 大

(昭和60年卒 關紺会)

柔道部OB

世田谷区駒沢5-12-7

www.ootsuka-houmu.com

昭和60年卒

理化学器械製造販売

株式会社 矢沢科学 矢澤 徹



しんせいき
新世輝

昭和61年卒

土田 正昭

新世輝同期会も、今年で8回目となりました。

7/9(土)の夕暮れ時、梅雨空の日本橋に同期がわらわらと集まり始めます。会場は同期長谷川氏が営む「ラコルタ」。そこに26名の同期が集いました。また前半は桜井先生と篠島先生。後半は山田先生と柴田先生がいらしてくれました。

雨が上ると椅子を外に出し、呑むは呑むは。6時間呑み通しました。

料理は持ち寄り。同期、氏家氏の焼鳥。池田氏のカツサンド。鶴飼氏の海苔を使った手巻寿司。そして長谷川氏のパスタ。などなど、なかなか豪華です。

いつも出入り自由でゆる〜い同期会。なんとなく集まってくれる同期に感謝感謝です！これからも多くの同期が顔を出してくれることを望みます！

**祝 第52回
総明会 総会・懇親会**

今年も新世輝は、
幹事学年 平成改元会を
応援致します。

しんせいき
新世輝
(昭和61年卒) **49/101**

<http://sinseiki.jimdo.com>



ふぐ・和風居酒屋

民芸茶屋 **佐留丹**

〒120-0034 足立区千住1-33-8

03-3882-7229

<http://r.gnavi.co.jp/g418500/>

<http://www.facebook.com/sarutan1971>

61年卒・新世輝 **猿田尚弘**



有限会社 秋元鉛工所

代表取締役社長

秋元健一郎

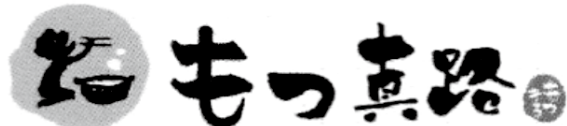
(昭和60年卒 闘紺会)

〒132-0021

東京都江戸川区中央1-6-21

TEL 03-3651-0080

FAX 03-3651-2661



的場 尚 (S60年卒・闘紺会)

総明会10%OFF!!

上野アメ横店 台東区上野4-4-12 TEL. 03-5812-2326
新小岩南口店 葛飾区新小岩1-29-8-3F TEL. 03-5661-9255

鈴木税理士事務所

税理士 鈴木 裕朗

Hiroaki Suzuki

(昭和60年卒 闘紺会)

東京都墨田区業平 1-21-9 あさひ墨田ビル2F 〒130-0002

Tel: 03-3623-8703 Fax: 03-3623-8706

<http://www.suzuki-firm.com/>



マツモトワックス

Made in Japan Since 1999

昭和61年卒 新世輝

株式会社マツモトワックス

代表取締役 松本 年一

www.matsumotowax.com

電話

〇三―三二七四―三〇〇一

中央区日本橋三―八―十一

吉野 日本橋本店

高島屋さん真裏通り

吉野 正敏



昭和六十一年卒 新世輝

吉野 正敏



木材・新建材・住宅機器 販売



株式会社 昇 栄

代表取締役

染谷昇司

(昭和61年卒 新世輝)

〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江3-2-6

電話：03-3679-3681

FAX：03-3677-3174

E-mail：shoei.co@ceres.ocn.ne.jp

ホームページ http://shoei.tokyo/

消火設備工事配管請負
三重工業株式会社

代表取締役

片桐泰裕

(S 61 年卒 新世輝)

y-katagiri@mie.email.ne.jp

〒141-0032

東京都品川区大崎3-6-17

TEL 03-3493-6731(代)

FAX 03-3493-6794

新世輝
俳優
高橋信康
(歴史研究部OB)
(昭和六十一年卒)

鈴木税務会計事務所
税理士 鈴木博史

(昭和61年卒 新世輝)

〒133-0053

江戸川区北篠崎2-19-12

TEL 03-3670-1430

FAX 03-3676-1440

巣鴨とげぬき地蔵通り商店街 とげぬき地蔵尊高岩寺様すぐそば

お食事と甘味
たけやま

〒170-0002

東京都豊島区巣鴨3丁目37番2号

tel&fax: 03-3915-5709

mobile: 090-5202-6451

E-mail: ikeikd@gmail.com

facebook

www.facebook.com/TakeyamaSugamo

@takeyama_sugamo

あきら
池田 曜

(昭和61年卒 新世輝)

ふぐ ちゃんこ

焼き鳥

鳥 義

氏家喜久雄

(昭和61年卒 新世輝)

墨田区石原3-17-3

TEL.03-3626-4466

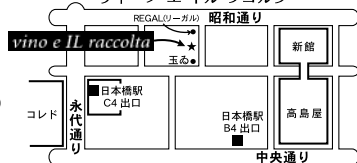


明大明治OB、OG憩いのWINE PUB

vino e IL raccolta

ヴィーノ エイル ラコルタ

長谷川 隆洋
(昭和61年卒 新世輝)
水泳部OB



中央区日本橋2-9-6 TEL.03-3231-0610



めいえんかい

明猿会

昭和62年卒

田中 健大朗

一昨年50回の節目の幹事学年の役目を終え、当日はもちろんです、事前準備等に微力ながら同期の一員として関わられた事に嬉しく思っておりました。

そして先日、久しぶりに明猿会に参加させていただきました。皆の顔を見てパワーをもらいたい・楽しく過ごしたいというのが一番ですが、実は今年の幹事学年の役員として私の弟が参加することを知ったからです。

今年は「昭和」が終焉を迎え、新たに「平成」がスタートした卒業年。彼らにはそれ故の新しさ・チャレンジ精神を感じさせてくれ、頼もしさすら感じました。男兄弟は皆そうなのか？年に1回言葉を交わす程度で、あまりこういう事に積極的に参加するタイプではないと思っていましたが、思い込みだったようです。

過去に執着するのは良くないですが、伝統・良き慣習を引き継ぐ事は大切です。そして時代の変化に対応していく、或いは自らが進化をしていくことはもっと大事。今年の幹事年度の皆様、平成年度卒スタートとして頑張ってください。

そして明猿会も、もっと新しい顔ぶれを増やすべく盛上げていきましょう！



祝 第52回 総明会 総会・懇親会 ガンバレ!! 平成改元会

〈昭和 62 年卒 明猿会一同〉

学生業了司
両国とし田
年田善政

(昭和62年卒 明猿会)

バスケットボール部OB

〒130-0026 東京都墨田区両国4-32-19

TEL: 03(3631)5928 FAX: 03(3631)5019

E-mail: v3qe2krrr5uejjj2xhgb@docomo.ne.jp

http://members2.jcom.home.ne.jp/toshida/



和を着る。楽しむ。はんなり

中瀬 若明

(昭和 62 年卒 明猿会)

はんなり浅草店

東京都台東区浅草 1-39-15

Tel. 03-5830-0155

HP: http://www.han-nari.jp/

鈴木税務会計事務所

<http://www.suzux.biz>

税理士

AFPファイナンシャルプランナー

初級システムアドミニストレーター



日本EP協会会員



鈴木 克俊

(昭和62年卒 明猿会)

〒263-0015

千葉県稲毛区作草部1-1-86

TEL 043-290-1735 FAX 043-290-1736

E-mail katsu@suzux.biz



みとしろ法律事務所

弁護士

山崎 雄一郎

(昭和62年卒 明猿会)

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町2-1-8

竹橋ビル2階

TEL 03-5282-3216

FAX 03-5282-3217

E-mail qwp01536@nifty.com

<http://mitoshiro-law.jp/>

保土ヶ谷車輛整備株式会社

車検、点検、板金塗装、一般整備、各種保険など
お車に関することは、まずはご相談下さい。

代表取締役 **石井 義洋**

(昭和62年卒 明猿会)



神奈川県横浜市 保土ヶ谷区天王町1-22-10

TEL: 045-331-5111 FAX: 045-331-5116

<http://www.h-carseibi.co.jp/>

日比谷線小伝馬町駅より徒歩1分の
居酒屋です。ランチもやってます!

桔梗屋
やまハ

男子校根性組(S52年卒)

江原 正俊

東京都中央区日本橋小伝馬町3-10

上嘉ビル2階

TEL 03-3662-5180

文具・事務用品 **明文堂**
印章・OA用品

代表取締役

菖蒲 大

(昭和62年卒 明猿会)

〒105-0004

東京都港区新橋2丁目-20-15

新橋駅前ビル1号館1階

TEL 03-3573-1076

FAX 03-3575-4009

深澤永仁税理士事務所

税理士

深澤 永仁

(昭和62年卒 明猿会)

〒132-0031

東京都江戸川区松島3-46-16-508

TEL 03-6385-2175

FAX 03-3651-2431

E-mail fukazawa@r8.ucom.ne.jp



下町の住まい選びに夢を・・・

不動産の山下商事

ポータルサイト未掲載の当社物件を多数掲載!!

〒116-0012 東京都荒川区東尾久1-1-6

電話 03-3895-9494 FAX 03-3809-7779

<http://www.yamashitashoji.jp>



昭和63年卒
昭和戊辰乃会
歴史研究部



しょうわぼしんのかい

昭和戊辰乃会

昭和63年卒

尾崎 博之

昨年度幹事学年を務めました昭和63年卒昭和戊辰乃会です。

第51回総明会総会・懇親会に多くの方々にご来場頂き、誠にありがとうございます。

幹事学年の大役を終え、1月に有志20名で鬼怒川温泉へ慰安旅行に行ってきました。貸し切りバスにて東京を出発。勿論、バスの中から宴会は始まり、飲みながらの観光。到着時には既に酔っ払いです。現地直行組と合流し、夕食前にみんなで風呂。みんなで風呂に入るのは高Ⅲの九州への修学旅行以来です。その後の宴会はご想像にお任せします。

このような楽しい旅行ができるのも、総明会の幹事学年があったおかげです。幹事学年の楽しみは、幹事が終わった後にあることを実感した旅行でした。

祝 第52会総明会 総会・懇親会

昭和63年卒同期会

昭和戊辰乃会

しょうわぼしんのかい

RE/SOL
リゾートグループ

スパ&ゴルフリゾート久慈

明高優待あります!! 常磐道三郷ICから1時間半
泊まって飲み&ゴルフに来てください!!



スパ久慈

検 索



TEL. 0294-76-1711

支配人 富樫 孝之(昭和63年卒 スキー部)



pizzeria

Robertino

昭和63年卒 昭和戊辰乃会

安齋 聡

ピッツェリア ロベルティーノ

ご予約 044-788-5757

神奈川県川崎市高津区久末 402

弁護士 **三神光滋** (水泳部OB)

野本・吉葉法律事務所
(麹町 日テレビル前)

〒102-0084 東京都千代田区二番町4番地3
二番町カシュビル7階

TEL 03-3511-1111 FAX 03-3511-0222
mikami@nomotolaw.com

昭和
63年卒
**昭和
戊辰
乃会**

岡崎正和税理士事務所



岡崎正和

昭和63年卒
昭和戊辰乃会
マンドリン部OB

東京都墨田区横川2-2-10
岡崎ビル2階 〒130-0003

TEL: **03-6240-4262**

FAX: **03-6240-4263**


okazaki@setsu-zeirishi.com



アパレル・ファッションの資材サポーター

株式会社 クロツスオザキ

「ふぞくやのブログ」毎日更新中!

 クロップオザキ

検 索 

代表取締役社長 **尾崎博之** (昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-9-16 アクト 21 ビル
ショールーム 〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-10-7 セックオフコムビル 1F
電話 03-5820-0741 (代表) FAX 03-5820-0742 <http://www.cropzaki.com>

SHIP

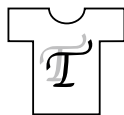
SHIP INC.

森田浩章

(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

www.ship.co.jp

感性豊かで高品質なカットソー製品を新しい切り口でご提供致します。



株式会社ティアンドティ

〒133-0053 東京都江戸川区北篠崎2-3-23
電話 03-3677-1801 FAX 03-3678-7162

代表取締役 **安川琢哉** (昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

○自社工場：江戸川サンプル工場、秋田比内工場
秋田鹿角工場、千葉東金工場



顧客満足度を高める事を基本に
メイドインジャパンにあえてこ
だわり続け、それを理解、納得
して選んでいただける企業を目
指しております。

祭・踊衣裳

日本の歳時記®

製造・発売元

株式会社 **佐藤万**

佐藤 武

(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

東京都中央区日本橋久松町6番5号

TEL 03(3664)3611 (代)

<http://www.nihon-no-saigiki.co.jp>

京急鶴見市場駅下車一分

大衆酒場 正木屋

横浜市鶴見区市場大和町3-17

Tel: 045-511-0573

営業時間16:00から23:00
(10時以降入店可・日曜定休)

和装小物

有限会社 **滝兵商店**

代表取締役 **滝沢 修**
昭和63年卒 昭和戊辰乃会

TEL. 03-3876-2527

東京都台東区今戸2-23-15

川口市・蕨市のお部屋さがしは八光商事へ

株式会社 八光商事

代表取締役 **田中一任**

(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

(硬式野球部OB)

〒335-0002

埼玉県蕨市塚越2-3-1

電話 048-441-8583

FAX 048-444-3928

祝52回 総明会 総会・懇親会 **GRIFFINS**

MEIO UNIV. PHY. COMMITTEE AMERICAN FOOTBALL CLUB

明高出身 明治大学体育会

アメリカンフットボール部OB有志



袁田 克己 (S55卒 「紫魂会」 バスケット)

諸井 右一 (S63卒 「昭和戊辰の会」 バスケット)

村嶋 健児 (H元年卒 「平成改元会」 硬式野球部)

嶋田 剛久 (H元年卒 「平成改元会」 吹奏楽班)

祝 第52回 総明会総会・懇親会



昭和34年卒

旧雨会

水泳部OB

村嶋 大三郎

平成元年卒

平成改元会

硬式野球部OB

村嶋 健児





へいせいかいげんかい

平成改元会

平成元年卒

杉山 純也

2016年総明会総会・懇親会の幹事学年を担当致します平成改元会です。明治中学・高校を過ごした6年間は学校生活や部活動で毎年様々な経験をし何才の頃に何をしていたか？鮮明に記憶が残っています。しかし、社会人になると各年齢で何をしていたか？就職・結婚や子供の誕生など大きな出来事は記憶に残りますが年齢毎の記憶は薄いものです。しかし、幹事学年の今年46才は恐らく一生忘れれることはないでしょう。28年ぶりに同期の仲間と再会し、会報を創り上げ、寄付広告を先輩方をお願いし、総会・懇親会を取り仕切る。一生に一回の幹事学年です。昨年12月に昭和戊辰乃会の先輩から幹事を引継ぎ準備を進めてきました。仕事などの都合で一度も参加出来なかった同期の皆さんもまだ遅くはありません。1人でも多くの仲間と11月20日にセルリアンタワー東急ホテルで一緒に校歌を歌うことを楽しみにしています。

株式会社 西原不動産鑑定は、鑑定評価により高度な専門知識をクライアント様に提供することを通じ、社会に貢献できる会社を目指しています。



ロテレ

出演中



株式会社 西原不動産鑑定

代表取締役 不動産鑑定士

西原 崇 (平成元年卒・改元会)

東京都中央区銀座2-12-3 ライトビル5階
TEL 03-3524-1715 FAX 03-3524-1716
E-mail: takashi.nishihara@n-rea.com
<http://www.n-rea.com>

今日のおいしさ 明日の健康
FURUYA

古谷乳業株式会社

代表取締役社長 古谷裕彦

(平成元年卒 平成改元会 剣道部OB)

本社 千葉市中央区千葉港7番1号

Tel. 043-241-0331 Fax. 043-246-7061 www.furuya-milk.co.jp



車の修理・ワイパー交換
車の相談なら

大宮モータース

平成元年卒 **大宮美行**

台東区 鳥越1丁目32-5
TEL: 03-3866-0545



めいあいかい

明愛会

平成2年卒

今泉 仁

昭和と平成という二つの元号を「明治」で過ごした私達は、平成2年に明治高校を無事に卒業しました。先輩からの「次年度総明会幹事だぞ～」の一言により、連絡が取れる仲間に招集を掛け、やっと同期の50人程と連絡が取れるようになりました。

いろいろ昔話をしていると、20年以上ぶりに再会した仲間は、もしかしたら家族よりも密度の濃い人生を共に過ごした同志である事に気が付きました。

そんな人生を共にした同志の輪を広げ、来年度の総明会総会・懇親会の幹事学年として楽しく取り組みたいと思います。この記事を読んで「あれっ？俺も平成2年卒じゃん！」と気がついた方、連絡お待ちしております。

祝 52回 総明会総会・懇親会

平成2年卒 **明愛会**

同期諸君！
連絡請う！➡

連絡先 今泉 仁(090-2213-7590)
jin.imaizumi@toppan.co.jp



茶館館内に是非お立ちください！

TEL. 03-358-9441

神田駿河台3-7百瀬ビル1F

SURPASS**サーパス工業株式会社**

代表取締役社長 今井 高志 (平成5年卒)

〒361-0037 埼玉県行田市下忍2203

Tel.048-554-9760(代表) Fax.048-554-9772

e-mail t-imai@surpassindustry.co.jp



きょうがくかい

共楽会

平成23年卒

三浦 直人

同級生や後輩と顔を合わせるたび、「いま総明会でこんなことをやっているんだけど、手伝ってくれない？」と声をかけまくり、非常に面倒臭がられている(に違いない)三浦です。ただ、中には誘いに乗ってくれる「酔狂」な方々もいます。本会報に同封されている(はずの)『M』は、そんなメンバーと一緒に作った「オトナの『過程』」です。

昨年12月には、調布新校舎卒業生の集い「若手の会」も開催(写真)。6月18日の進路相談会では、一学年後輩の朝倉さん、清野さんがメンバー集めに奔走してくれました。総明会に関わる若手が「酔狂」だと言われなくなる日を目指して、今後もしばらく、面倒臭いやつでいようかなと思います。



平成3年卒

専務取締役

廣田拓郎

東京都台東区浅草橋2-13-9

TEL. 03-3861-5151

<http://www.lightec-inc.jp/>

株式会社
ネクスト・コミュニケーションズ

富沢康弘

(平成3年卒)

〒104-0061

東京都中央区銀座1-27-10

ザ・アソシエイトビル2F

TEL. 03-5524-3077

FAX. 03-5524-3088

E-mail: ytomisawa@nextcom.jp

倉持法律事務所

弁護士 **倉持政勝**

(平成3年卒・硬式野球部)

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-13-3

興和日本橋ビル2階

電話: 03-5614-1420

FAX: 03-5614-1421

<http://www.kuramochi-law.jp>

銀座升本

銀座一丁目 並木通りの大衆酒場

みほや

三保谷 建介(平成7年卒)

三保谷 和大(平成14年卒)

昼の部(定食) 11:15~13:30

夜の部 17:00~22:00(L.O. 21:30)

定休日: 土日祝日

東京都中央区銀座1-4-7 03-3563-2706

SAKURA Group

株式会社 SAKURA-TRUST

代表取締役 **熊木達朗**

(平成6年卒)

〒105-0012

東京都港区芝大門1-5-2須田ビル3F

TEL 03-5472-7400 FAX 03-5472-3500

関連会社 株式会社さくら航産

株式会社さくら管財

株式会社

レストラン・ピガール

明大1号店

ケータリング パーティー
各種お弁当承ります。

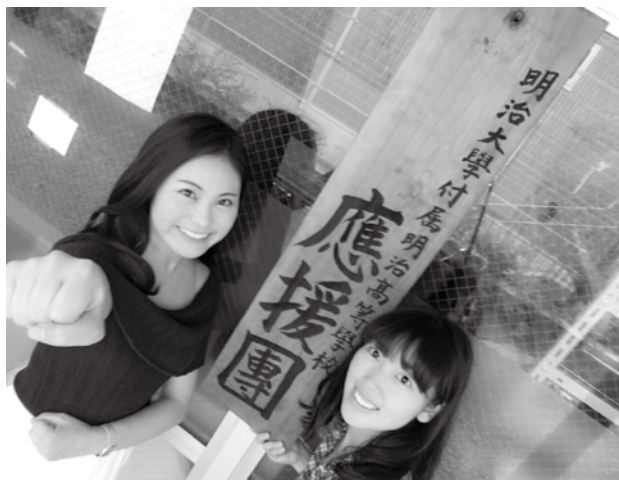
〒182-0033

東京都調布市富士見町4-23-25

明治大学付属明治高等学校・中学校内

TEL/FAX. 042-480-9703

担当総括支配人 山口剛志



平成25年卒

押田華穂

平成25年卒の押田華穂です。先日、我が母校の明治高校に就職活動

の報告を・・・と、思いつつ足を運びましたが、テスト期間中ということで、非常に残念ながら、ほとんどの先生にお会いすることが出来ませんでした。

さて、現在、私たちは大学4年生となり、既に就職活動を終えた者や大学院への進学を決めた者なども出てきており、来年度以降の自分の姿が、少しずつですが、具体的に見えてきている状況にあります。まだ学年全体で集まることは出来ていませんが、それぞれが新天地に旅立った来年に、各々の近況を知るために集まれたら良いのではないかと考えております。

Tax·Is

税理士法人 タックス・アイズ

代表社員 五十嵐明彦(平成6年卒)

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-28 フォーラス神田3F

TEL: 03-3255-0551 FAX: 03-3255-0552

子どもに迷惑
かけたくなければ
相続の準備は
自分でしなさい

親が読む相続の本

2015年法改正
完全対応
大反響
12万部
突破!

五十嵐明彦

「相続税、
私が払うの?」
とあわてる前に
子どもがやるべき
相続準備の本

子どもが読む相続の本

法律が実務に
いよいよ
来年1月スタート

五十嵐明彦



明治大学体育会ゴルフ部

監督 榎本剛之

(平成2年卒)

有限会社サンウッド

TEL. 044-555-7016

不動産売買・仲介・管理

太明地所株式会社

代表取締役 浅倉太明 (平成4年卒)

〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル5F

TEL 03-3571-0655 FAX 03-3571-0615

e-mail: asakura@taimeijisho.jp



平成27年卒
赤坂 菜摘

こんにちは。私たち平成27年卒業生は今年成人を迎えます。1月に控える成人式に向けて、同期会を開く予定です。現在、幹事の全員で話し合いを重ね、企画を練っているところです。高校を卒業して2年が経ちましたが、多くは明治大学にそのまま進学しているので、あまり懐かしみを感じないかもしれませんが、3年間、ないしは6年間とともに過ごしたメンバーで人生の節目である成人を祝い合うことでこれからも長く続く関係でいられるようなきっかけづくりをしたいと考えています。

まだまだ人生においてのビッグイベントは多くありますが、いつ再会しても高校生の頃のピュアな気持ちを忘れないでいられるようなそんな学年になりたいと考えています。



omori

大正13年創業。ご要望の建築資材を、ご要望どおりに。
オオモリ・マテリクスは、お客様に「信頼」をお届けしています。

株式会社オオモリ・マテリクス

代表取締役 大森清嗣(長男 大森貴之 平成21年卒 野球部OB)

本 社 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町18番

TEL 03-3253-9411 FAX 03-3253-9418

営業本部 〒135-0053 東京都江東区辰巳2丁目3番1号

TEL 03-5534-7700 FAX 03-5534-7708



セメント・生コン・エクステリアを通じ、快適な住まい造り、美しい街造りを目指します。



UCHIDA

ウチダ商事株式会社

<http://www.uchida-shoji.co.jp/>

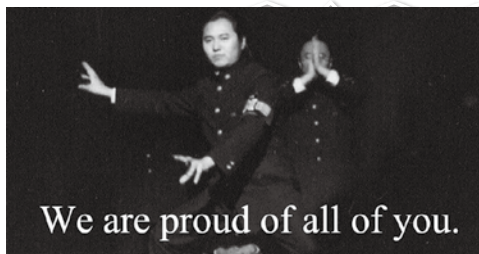
東京都練馬区早宮2-17-47平和台STビル2F

専務取締役

内田竜太郎

(平成6年卒)

60th
Anniversary



應援團OB会

昭和63年卒(昭和戊辰乃会)

光岡 孝之

第52回総明会総会・懇親会の開催おめでとうございます。

昨年度の懇親会も応援団OB・OGが多く集まり、ご列席の皆様と楽しい時間を過ごすことができました。本年も全面的に総明会にご協力させていただきます。

さて、このようなご要請に対しお応えできるのも、近年卒業した若い世代のOB・OGが全国から集まってくれるおかげです。いつも、本当にありがとうございます！

6月のOB総会には、卒業一年目の大学生から何十年ぶりに出席された先輩もおられ、出席者の世代間が60年の益々充実したOB会となっております。また、吉田先輩が総明会の会長にご就任され、披露式典と記念品の贈呈も行いました。



新規事業としては、皆様からのご要望もありました『応援団OB会ホームページ』をアップいたしました。フェイスブックとの連動により試合経過などタイムリーな情報が閲覧できます。また卒業各代の幹部写真が掲載されています。ぜひ一度ご覧になってください。

祝 第52回 総明会総会 明治大学付属明治高等学校 應援團OB会

会 長 大関 清人(昭和40年卒)

副会長 廣野 宏士(昭和47年卒) 副会長 三森 勳(昭和50年卒)
副会長 春山 愛美(平成23年卒) 幹事長 光岡 孝之(昭和63年卒)



吹奏楽班 OB・OG会

平成2年卒 深井 重男

毎年この時期になると前期班長や顧問の鈴木先生への原稿依頼、そして自分自身も原稿を度々書かせて頂いてます。そんな自分も来年は幹事学年、吹奏楽班だけでなく多くの先輩後輩そして何より大変ご無沙汰な同期達に会えることを本当に楽しみにしております。例年通り、吹奏楽班OB・OG会も校歌・応援歌の演奏で式典に花を添えさせて頂きたく存じます。

吹奏楽班の後輩達は、昨年度から新開催の全国ポピュラスステージ吹奏楽コンクール全国大会に於いて、準優勝ならびにセイコーホールディングス賞を受賞するという快挙を成し遂げてくれました。OB・OG会は基本理念である「現役中心主義」を貫き、後輩から依頼されれば楽器運搬でも定期演奏会の裏方でも何でも手伝いますが、しかし、成功も失敗も笑いも涙も全て後輩達のもの。卒業生は温かく見守るだけです。



明けて1月には第58回目となる定期演奏会が開催されますので、会報ご覧の皆様方も是非お運びを頂ければと存じます。そして60周年の記念行事に向けて準備も進めて参ります。

祝 第52回総明会 総会・懇親会

吹奏楽班OB・OG会

会長 斉木 麻州男

(昭和 56 年卒)



放送班OB会

昭和57年卒(明魂会)

宮田 健

放送班OB会のうち、昭和53年から昭和61年卒業生を中心とした有志で、当時の放送班顧問の恩師・田村晴彦先生の命日(5月17日)にあわせ毎年5月の第3土曜日に先生の眠る港区三田の長久寺へ墓参りと懇親会を行っています。

今年の第3土曜日は5月21日で、計8名が参加。天気も程々で散歩日和。長久寺に到着すれば手慣れたもの、清掃道具を手取る者、水を汲む者など打ち合わせも不要。各自手を合わせて先生に近況を報告、門前で写真を撮り恒例の墓参を終えました。今後も、放送班OBに限らず、故 田村先生にゆかりのある方には気軽に参加して頂き、ともに楽しい時間を過ごしたいと思います。間違いなく先生も喜んで下さるはずです。来年は、5月20日です。皆さんお忘れなく。

硬式野球部OB会 明球会

昭和51年卒 一泉 二郎

2月・3月に開催された幹事会・総会の懇親会も年代を超えた素晴らしい会となりました。しかしながら、豊富な人材の明球会ではありますが、更なる発展の為、一層の若返りを図ろうと思っております。多くの方々のご参加をお待ち致しております。

明球会会報をご希望の方は明球会事務局迄ご連絡下さい。

尚、明球会会報への広告掲載(ご寄付)を頂ける方がいらっしゃいましたら併せて是非ご連絡頂けるようお願い致します。

最後になりますが、会員並びに関係者の皆様から、今期も毎回の会費納入に加えて、多くのご寄付・明球会会報への広告掲載を頂きました事を、ここに深く感謝申し上げます。

祝 第52回総明会総会・懇親会開催

Meiji

平成元年卒(平成改元会)
硬式野球部OB一同

田中博樹、村嶋健児、澤村大樹、篠田守建
美濃部健太郎、筧崇彦、吉井昭、四手宏尚



水泳部OB会 明水会

昭和58年卒 佐藤 敏雄

『創部100年に向けた新たな試み』

明水会は、昨年創部90周年記念式典を盛大に開催したところです。更に本会を盛り上げるため年代別親睦会を新たに開催しました。

銘打って『明水会 60's生まれ以降の懇親会』時は5月26日、場所はこの年代の御用達、日本橋ラコルタ。明水会OBのお店です！急な案内にも拘らず初参加も含め17名が集まりました。乾杯の前には既に青春時代にタイムトリップしている仲間達。この年代が集まると話題は猪苗代の夏合宿。プールの無い水泳部は夏休みと合宿で多くの泳ぎこみを行います。その距離1日2万メートル超。辛かった練習も今となっては素晴らしい経験談。皆で楽しい時間を過ごせました。大先輩から現役まで縦・横の絆こそが明水会の誇り。創部100年に向け全員で邁進します。

スキー部OB会 明雪会

昭和62年卒 深谷 剣



スキー熱が過熱しはじめた昭和後期、当時のイメージは、「スキーが上手ければ女にもてる」。不純な動機ともいえるが真剣に考えていたことである。

しかし、クラブ訪問で目にした部室には、汗まみれのシャツやジャージが無造作に置かれ、鼻を突く、すっぱい臭いが漂っていた。その空間は「私をスキーに連れてって」の映画とはかけ離れた場所であり、自分の妄想は音を立てて崩れていった。

また、合宿はもちろんのこと、試合も必ず宿泊。しかもOB付き。そんなスキー部と出会い、ちょっと怖い、いや、かなり怖い先輩たちに鍛えられて人間形成が出来たと思っている。

硬式野球部OB会 明球会

会長 一泉二郎 (昭和51年卒)

事務局 染谷貴男 090-3205-9735

平成8年卒 水泳部OB

張 春穎

銀座と歩んで69年

北京料理 東興樓

中央区銀座7-4-13

TEL 03-3571-2223

姉妹店 蓬菜閣

台東区上野2-14-29

TEL 03-3831-1763

明治中学・高校水泳部OB会

明水会

会長 中村 明彦 (S46年卒)

スキー部OB会
明雪会

顧問	名譽会長	副会長	副会長	会長
問	若松 弘昌 (昭39年卒)	沼田 哲明 (昭50年卒)	戸張 毅 (昭47年卒)	堀 真壽 (昭46年卒)
佐藤 健一 (昭31年卒)	大出 育男 (昭31年卒)	藤井 英一 (昭32年卒)	山田 和孝 (昭36年卒)	小山 雅司 (昭37年卒)
井上 進治 (昭38年卒)	新橋 広幸 (昭50年卒)	服部 憲一 (昭50年卒)	岡本 雅仁 (昭51年卒)	五十嵐 公一 (昭54年卒)
菅野 栄一 (昭55年卒)	吉口 市郎 (昭55年卒)	狩野 智雄 (昭56年卒)	鳴海 浩樹 (昭57年卒)	深谷 劍 (昭62年卒)
中澤 彰次郎 (昭62年卒)	鍋木 洋介 (昭63年卒)	印田 誠 (平10年卒)		

がんばりました!!
インターハイ出場3名
国体出場2名
関東大会出場8名

祝 第52回総明会総会・懇親会開催

明高出身 明治大学体育会スキー部
一般部「らいちょう」OB有志

澤村大樹 (平成元年卒 硬式野球部OB)

天久哲郎 (平成元年卒 水泳部OB)

坂巻勝裕 (平成元年卒 スキー部OB)

桜井 敦 (平成2年卒 硬式野球部OB)



バレー部OB会

事務局 樋田 哲次



昨年度のバレー部OB会は、1月に総会とバレーボール大会を開催したことで、3月の卒業を祝う会を開催したことが主な活動となりました。

ちなみに、どちらの会合も、毎年開催しているところです。

バレーボール大会は、上は70才くらいから、下は大学生まで26人のOBが参加し、OB同士や、現役高校生、中学生らとバレーボールに興じました。写真をご覧ください。

卒業を祝う会は、大学4年生と高校3年生を招待し、新たな門出をOB会として祝ってあげるものです。大学4年生は6人、高校3年生は9人が集まり、顧問3先生、OB 8人が出席し、大学リパティタワーのサロンで開催しました。

なお当OB会では、約80人のOBが年会費を納めていただき、現役中高生へ、合宿時の永代やバレー大会時の図書カードの寄贈をし、クラブ活動援助をしています。

OB皆様のご健康を祈念し、ご協力を感謝いたします。ありがとうございます。

<http://www.geocities.co.jp/majvolley/>

H P担当 阿部 徹也 (H11卒)

会 計 加藤 裕司 (H8卒)

若手育成担当 安藤 信夫 (S56卒)

事務局長補佐 山本 直之 (H8卒)

事務局長補佐 樋田 哲次 (S52卒)

事務局長 酒井 孝憲 (S40卒)

幹事長補佐 岩崎 広人 (S57卒)

幹事長 服部 雄二 (S44卒)

副会長 岡永 健二 (H4卒)

副会長 小川 滋 (S44卒)

会 長 片山 眞 (S39卒)

顧問 山中禎一郎先生

祝第52回総明会総会

明治高校バレー部OB会



フェンシング部 OB会

昭和45年卒 中村信也

2012年のロンドンオリンピックでフェンシング団体が銀メダルを獲得した8月に時期を同じくして、OB会が発足、それから4年が経過しました。この間、母校へ復活の要望書提出、学生へのデモンストレーション開催等の機会をいただいた結果、昨年は5名の高校生が活動を開始、さらに有志「フェンシング同好会」として認可され、顧問には田中副校長先生に就任していただきました。母校の関係者の皆様には大変感謝しております。

更に今年は新生が6名加わり、現在9名の学生が活動、5月には高校2年生が公式戦にデビューを果たしました。オリンピックイヤーで始まった活動もインターハイ出場を目指し、いよいよ第2ステージの始まりです。

歴史研究部OB会

昭和63年卒 山下 征隆

歴史研究部OB会は、実に60年以上という歴史を持つ伝統あるOB会です。

私が当OB会に初参加したのは、昨年2月の事でした。在学中、一緒に部活動した先輩・後輩やお会いしたこと無かった大先輩たちと一

堂に会える事ができ、懐かしい再会と新たな出会いを得ることが出来ました。

OB会では活発な意見交換が行われ、先輩・後輩ともに、今も昔と変わらぬ歴史研究に対する熱心で真摯な姿勢を保ちつつ、世代を超えてひとつになる事ができる素晴らしい事を改めて感じる事が出来ました。

歴史研究部出身の方で、まだOB会に参加されていない方は、当OB会に参加してみてください。きっと忘れ得ぬひとときが過ごせると思います。

祝 第52回総明会総会
がんばれ平成改元会

歴史研究部OB会

会長 鴨下 裕彦(昭和56年卒) 事務局 渡辺 隆之(昭和59年卒)
副会長 白畑 尚志(昭和56年卒) 事務局兼会計 土田 正昭(昭和61年卒)
副会長 安達 俊幸(昭和57年卒) 事務局 山下 征隆(昭和63年卒)

「長い歴史」

初代顧問矢口清先生の記録では、歴研顧問伊藤好一先生の勧めで1948年創部されたそうです。

1951年の夏、一人一升のお米持参で研究旅行として檜枝岐村まで山歩きに行きました。小休止の際、一人で持参の駄菓子を食べていると伊藤先生が私に「お菓子は他の人にも分けて食べようね」と御注意があり、当時先生や先輩の語る社会主義とはこれかな？などと素朴な

地理研究部OB会

昭和32年卒 大塚 和哉

感想を持ちました。

60年以上の時を経た今も、矢口先生の教えは私の生き方に根付いており、旅行に行く際には、出来るだけ地形図を用意します。また、今でもユーモアのある伊藤先生と静かで優しい矢口先生を懐かしく思い浮べます。

祝 第52回総明会総会・懇親会

地理研究部OB会

M・G・C

紫紺祭に行って後輩達の成果を体感しよう！

ごとう会

幹事 大西静士郎



『ごとう会』について

1995年に退職された後藤朋智先生(化学)を囲んで毎年5月10日に行われている、恒例の『ごとう会』が、今年も5月10日(火)に学生会館で開催されました。

昨年は20回目の節目の年で、しかも日曜日だったこともあり、多くの参加者に恵まれましたが、今年は平日でもあり、どれだけの方がご参加くださるか心配しておりましたが、それでも30名を超える方々がお集まりくださいました。

後藤先生は相変わらずお元気で、今年も楽しく盛り上がることができました。先生よりも元生徒の方がくたびれてきているように思えますので、健康に注意し、来年も5月10日に『ごとう会』を開催する予定です。



ヤマダ大感謝祭

平成18年卒 秋山 俊

第6回ヤマダ大感謝祭開催

去る平成28年4月23日(土)、築地場外市場にある「北海番屋」(鵜飼実行委員長が経営する鳩屋海苔店本店のお隣)にて、第6回ヤマダ大感謝祭が執り行われました。

山田伸夫先生が退職されてから早5年、毎回大勢の教え子や応援団OBが参加し盛り上げてきたヤマダ大感謝祭ですが、第6回にして初めて教え子たちの保護者も参加されました。

マグロの中落ちを自らすくい鳩屋の海苔で巻いて食べるという築地ならではのイベントや、恒例の山田先生によるプチ講義が行われました。また、開催日当日は山田先生の「御令室」悦子様の誕生日ということで、サプライズでロールケーキタワーをご用意し(山田先生にもマグロの海苔巻きタワーをご用意しました)、山田先生から感謝の言葉と花束の贈呈も行われました。

最後は、押田元団長のリードのもと、参加者全員による明治高校校歌の大合唱で大盛況のうちに幕を閉めました。



ヤマダ大感謝祭

4月の第4土曜日

第7回は平成29(2017)年4月22日(土)開催予定
楽しい企画を用意して皆様のお越しをお待ちしております。

■お問合せ先 山下 征隆(昭和63年卒 昭和成辰乃会) masa1998@pop16.odn.ne.jp
田中 一任(昭和63年卒 昭和成辰乃会) BCF00101@nifty.com
三保谷健介(平成6年卒) mihoya@mtb.biglobe.ne.jp

明高写真部OB会

私たちは総明会の記録を撮りつづけております。
写真部OBの皆さん、これから一緒に総明会の記録を
撮りつづけていきましょう!ご連絡お待ちしております

写真部OB会発足委員 栗田 茂(昭和44年卒)
連絡先: 携帯 090-3138-5692 FAX 03-3677-2425

E-mail: kurishige@pop12.odn.ne.jp





剣道部OB・OG会 見心会

昭和52年卒 羽田 郁雄

明治中学高校剣道部は、総勢33名(男子12名、女子21名)の部員で構成されております。辞める部員も少なくこの位の人数を維持できているのは、ひとえに顧問の北村先生、副顧問の神崎先生、内田先生のご尽力のお陰と、感謝しております。

さて見心会は今年も2月にOB・OG合宿を行いました。今年は「新たな試み」として、見心会員のみの合宿を秩父の「宮本の湯」で行いました。稽古はきつかったですが、懇親会では近先生を囲んで剣道談義で花を咲かせ、充実した合宿を終えることができました。

今年の総明会のサブテーマである「伝承と革新」は今まに見心会がかかえているテーマでもあります。20～40才代のOB・OGは是非、見心会の行事にも参加してもらいたいと願っております。

バスケット ボール部OB OG会

昭和57年卒 木戸 基満



バスケット部OB・OG会はOB・OGとのネットワークを強固にする為、毎年、様々な取り組みを行っております。

バスケットをやりたい若手に対しては、年に1度、OB・OGによる試合を明治高校体育館にて実施しています。髪の毛が薄い50才過ぎのおじさん達チームが、若手チームと対戦する事もあります。また、昨年は新たな試みとして、総会を明高ではなく別会場で行ったところ、18才～70才代までの幅広いメンバーが参加し、OB・OGの交流を更に深めることができました。

今後もバスケット部OB会は良き伝統を維持し、創意工夫しながらOB・OGの結束力を更に高めて、現役支援を行ってまいります。

祝 第五十二回総明会総会・懇親会

図書班 OB・OG会

連絡先 平田 幸彦

TEL : 03-3589-0687

連絡先 大西 静士郎

TEL : 090-2243-2135

見 心 会

明治高校剣道部OB・OG会

会 長	矢光 善美	幹事長	木村 茂
副会長	中島 健一	監 督	小川 雅之
副会長	鈴木 幸男	会 計	羽田 郁雄

祝 第52回総明会総会

明治中学校・高等学校卓球部OB会

〈明卓 OB 会〉

会長 佐藤信征(昭和39年卒)

明治高校バスケット部 OB OG 会

めざせ!! インターハイ出場!
行くぞ! 関東大会!

OB会会長	吉田 博 (S51卒)
副 会 長	米田 晴彦 (S53卒)
	木戸 基満 (S57卒)
	山下 康彦 (H4卒)

総務部長
木戸 基満
(S57卒)

RBC部長
小柳 貴裕
(平成元年卒)

財務部長
門川 隆之
(S58卒)

監 査
並木 功
(S58卒)

祝 第 52 回 総明会 明治高校 マンドリン部OB・OG会

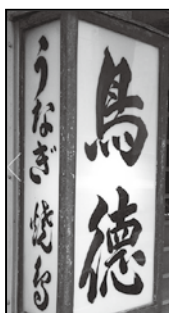
ブライダル、イベント各種
ご相談承ります

株式会社en

1983年入学（平成改元会）

川口貴之

〒156-0041 世田谷区大原1-5-5
TEL 03-5738-7564
soumu@en-ql.com



かやば町 鳥徳

代表取締役 鍋島 孝太郎
(昭和60年卒 闘紺会)

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-5-6
店舗 TEL. 03-3666-4692 info@toritoku.com
iphone 080-4294-9674
mail kotaro.nabeshima@gmail.com

写真撮影 編集 デザイン 印刷

FujiPrint
since 1968

祝 第 52 回 総明会 総会・懇親会
昭和 63 年卒（昭和戊辰乃会）田嶋慎治

〒130-0002 東京都墨田区業平3-4-18
Phone 03 3626 0743 Fax 03 3626 0756
s.tajima@fujiprint.jp

有限会社 三友金型

代表取締役

小柳貴裕 バスケット部OB
改元会(平成元年卒)

東京都墨田区東向島6-25-13
TEL. 03-3617-6683
FAX. 03-3610-1299
E-mail sannyyuu@tj9.so-net.ne.jp

ゴム金型 設計・製作 短納期対応

業 種

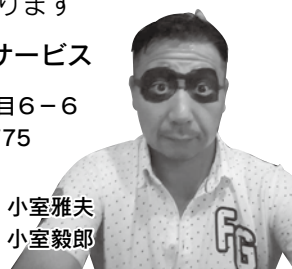
マシニングセンター加工
NCフライス加工
NC放電加工
V33.V56.高速加工
U-GRAPH3次元コンピュータ

平成元年卒

考田中
えるな**感**じら

PCトラブル相談のります
有限会社コム口電子サービス
東京都墨田区吾妻橋2丁目6-6
TEL. 03-3625-2775

昭和36年卒 明 駿 会 小室雅夫
平成元年卒 平成改元会 小室毅郎



資産活用コンサルティング



東急電鉄

池上センター
所長 篠田 守建
平成元年卒(硬式野球部)

〒146-0082 大田区池上6丁目8番5号第二小木ビル2F
TEL 03-3752-1109

Guitarist
平成
元年卒

土田直之

魂で奏でる
魂で聴く—
ギター教室開催中!
070-5081-9817
nyucrossroad@gmail.com

検索

燃え尽きろ!
灰になるまで—

平成改元会

続きはWebで!

改元会

検索

祝 総明会第52回総会・懇親会

物理部OB会 明物会

会長 井家上 哲史（昭和51年卒 明々会）

物理部OBの皆さん、ご連絡を meibutsukaiinfo@gmail.com

祝 第52回総明会総会・懇親会

チャレンジ平成改元会

明治高校庭球部OB・OG会

会長 鈴木 信夫（昭和47年卒）

美しい文化を、くつろぐ明日へ。

～ The artistic hospitality ～



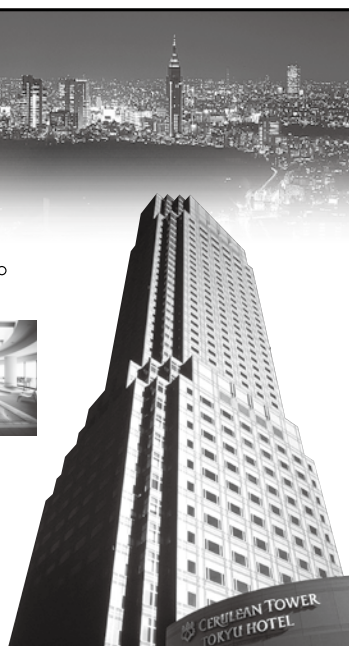
CERULEAN TOWER TOKYU HOTEL

セルリアンタワー東急ホテル

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26-1

ご予約・お問い合わせ **TEL.03-3476-3000** (ホテル代表)

<https://www.ceruleantower-hotel.com>



平成28年度

総明会活動報告

平成28年度 総明会 理事・役員一覧

平成28年度 総明会 評議員一覧

平成28年度 活動報告

平成28年度 会計報告

総会委員会 活動報告

会報委員会 活動報告

総務委員会 活動報告

組織委員会 活動報告

企画委員会 活動報告

広報委員会 活動報告

名簿委員会 活動報告

ゴルフ委員会 活動報告

前年度幹事学年挨拶

次年度幹事学年挨拶

本年度幹事学年挨拶

第52回総明会 御寄付者一覧

幹事学年 寄付者一覧

平成28年度 総明会 理事・役員一覧

(敬称略)

委員会・役職	卒 年	氏 名
名誉会長	昭和36年	向殿 政男
顧問	昭和21年	小林 昭雄
顧問	昭和29年	山浦 晟暉
顧問	昭和32年	山崎 敬生
顧問	昭和41年	尾崎 育四郎
顧問	昭和43年	佐久間 洋一
顧問	昭和44年	服部 雄二
顧問		安蔵 伸治
明治高校校長		

会長 副会長 副会長 専務理事 常務理事 事務局長 会計		昭和45年 昭和44年 昭和51年 昭和50年 昭和54年 昭和59年 昭和50年	吉田 耕太郎 関谷 芳久 井家上 史樹 山崎 哲秀 熊倉 章雄 平野 一哉 吉武 孝生
総会委員会	委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長	昭和57年 昭和59年 昭和59年 昭和60年 昭和61年	染谷 貴男 大山 輝芳 藤原 輝夫 町側 尚則 栗本 宣長
会報委員会	委員長 副委員長 副委員長 副委員長	昭和57年 昭和57年 昭和59年 昭和60年	小川 一浩 小林 謙之 田中 重幸 山本 伸幸
ゴルフ委員会	委員長 副委員長 副委員長 副委員長	昭和54年 昭和58年 昭和59年 昭和60年	志村 和哉 荊部 大文 渡邊 夫 山口 明達
企画委員会	委員長 副委員長 副委員長 副委員長	昭和61年 昭和61年 昭和61年 昭和63年	清水 正昭 土田 一実 横山 博之 尾崎 敏彦
組織委員会	委員長 副委員長 副委員長 副委員長	昭和50年 昭和58年 昭和60年 昭和61年	近藤 浩 高橋 智郎 渡辺 義一 鷗飼 友貢
総務委員会	委員長 副委員長 副委員長 副委員長	昭和56年 昭和52年 昭和61年 昭和63年	藤 貢一 大西 士郎 野津 真男 光岡 孝一
広報委員会	委員長 副委員長 副委員長	昭和56年 昭和59年 昭和56年	岡 雅史 衛 武 島 裕彦 村 彦
名簿委員会	委員長		
監事 監事		昭和44年 昭和56年	中河 孝樹 狩野 智雄

平成28年度 総明会 評議員一覧

同期会

(敬称略)

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和12年	明中26会	中富光人	
昭和15年	午巳の会	三笠光人	
昭和21年	明高一期会	小林昭雄	斉藤 久也
昭和24年	明二会	内藤 功	
昭和25年	猿楽会	小田川玉城	高橋 信雄
昭和26年	明高会	熊井 実	
昭和27年	明窓会	米山 耕右	渡邊 幹夫
昭和28年	八明会	戸田 一郎	佐藤 欣生
八丈島高校	29会	持丸 孝雄	高橋 和夫
昭和29年		山本 峰司	橋崎 正義
昭和30年		宇田川雄弘	
昭和31年	明楽会	佐藤 健一	大出 育男
昭和32年	明治会	長野 敏樹	太田 喜久
昭和33年	三三会	鈴木 寿雄	藤田 義茂
昭和34年	旧雨会	秋山 義昭	希代 章
昭和35年	珊瑚の会	倉林 貞夫	天野 洋一
昭和36年	明駿会	加藤 眞義	谷 正之
昭和37年	37会	戸谷 誠樹	中村 哲士
昭和38年	二年に一会	三浦 昭生	服部 紀夫
昭和39年	三九会	佐藤 仁	堺 健一
昭和40年	明優会	阿部 正行	大関 清人
昭和41年	41明友会	廣瀬 準	菊本 哲也
昭和42年	M41	結城 康郎	新村 秀男
昭和43年	紫雲会	志村 一夫	小田嶋 保男
昭和44年	男坂倶楽部	寺田 康夫	薬谷 豊
昭和45年	獅子の会	比留間竹郎	山形 英明
昭和46年	明潮会	木村 茂	金子 敏一
昭和47年	四七四七同志会	戸張 茂	内田 茂
昭和48年	波の会	海老根一介	雨海 重明
昭和49年	翼明会	佐藤 眞弘	大前 実之
昭和50年	明紫会	三森 勲	雨宮 弘典
昭和51年	明々会	前田稲一朗	山田 眞也
昭和52年	男子校根性組	佐藤 大英	角谷 幹夫
昭和53年	紫友会	加藤 裕之	竹越 利之
昭和54年	明誠会	代田 真司	矢ノ目 忠
昭和55年	紫魂会	大迫 好孝	渡辺 裕之

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和56年	明翔会	寺村 一義	蓬田 裕一
昭和57年	明魂会	岩崎 広人	田中 幹浩
昭和58年	明輪会	達宏	高橋 浩
昭和59年	明心会	大塚 重幸	渡邊 文夫
昭和60年	關紺会	矢澤 徹	和田 直弘
昭和61年	新世輝	友義 栗本	栗本 宜長
昭和62年	明猿会	赤岩 大輔	中澤 彰次郎
昭和63年	昭和戊辰乃会	平野 由朗	安川 琢哉
平成元年	平成改元会	村嶋 健児	杉山 純也
平成2年	明愛会	今泉 仁	神保桂一郎
平成3年	明仁会	山口 一郎	斎藤 直宏
平成4年	快汗、どすこい塾	小畑 啓	斎藤 浩茂
平成5年		安藤 高利	長野 吉克
平成6年		河村 健一	新村 哲也
平成7年		石田 頼央	金子 敦史
平成8年		青木 大樹	三村 永
平成9年	紫雲会	小谷 健志	香川 満洋
平成10年	紫98俱	秋山 光仁	戸邊 健
平成11年	明哲会	石川 一仁	戸邊 寛
平成12年	明瀑会	玉木万理夫	保科 大輔
平成13年	明治21	大橋 弘頌	岡庭 朋成
平成14年		室井 純	荒川 良征
平成15年		大川 康介	武 雄一郎
平成16年		杉田 将平	徳竹 正憲
平成17年		室井 純	荒川 佳史
平成18年	白雲会	山崎 裕貴	角田 隆悟
平成19年		横倉 光輝	大竹 惇
平成20年		渡辺 早川	慎吾
平成21年		加藤 圭敦	大森 貴之
平成22年	明雄会	亀屋 将紀	佐藤 享太郎
平成23年		平田 裕貴	三浦 直人
平成24年		三浦 彩	市川 陸
平成25年		師岡 忠寛	押田 華穂
平成26年	ゆいまーる	岡田 尚也	柴田 加菜子
平成27年		赤坂 菜摘	渡邊 直人

班・クラブOB会

名 称	氏 名
応援指導	班廣野宏士
奏楽	班西山光彦
	班齊木麻州
	班宮田幸彦
	班鈴木幸健
	班世古俊男
	班小川智一
	班中村洋一
	班高木雅仁
	班岡橋正佑
	班奈良部利昭

名 称	氏 名
バレー	部田哲次
フットボール	部重哲雄
陸上競技	部櫻井勝博
バスケットボール	部吉田博資
囲碁	部島弘一
文化	部森部八
物理	部磯部大
マインドリオン	部岩塚和
地理研究	部大山征
歴史研究	部塚隆
アイスホッケー愛好会(明水会)	部武藤仁
J R	部横谷昌明

昨年1年間ご連絡を取らなかった評議員の方はお名前を記載できませんでした。
お気づきの方は、総明会事務局までご連絡を頂けますようお願いいたします。

平成28年度活動報告

総明会 専務理事
山崎 秀樹

平成27年11月7日、明治大学大学会館3F第1会議室にて総明会第51回総会が開催され、新会長に吉田耕太郎氏(昭和45年卒)、副会長に関谷芳久氏(昭和44年卒)と井家上哲史氏(昭和51年卒)を選任しました。その後、会場を明治大学アカデミーコモン2Fに移し、懇親会が開催されました。

お忙しい中ご出席いただきましたご来賓、明治高校・中学校関係者、総明会会員の皆様に厚く御礼申し上げます。また、「51年目の挑戦」総明会の財産」というテーマのもと「昭和戊辰乃会」(昭和63年卒)が幹事学年を担当致しましたが、1年間にわたり、その準備・運営に御尽力頂きました。特に、今回は「若手の総明会会員に多く参加してほしい」との幹事学年の熱い思いが実を結んだことは特筆すべき成果であったと思います。幹事学年の頑張り

に心から感謝申し上げます。

さて、本年度も総明会は別表のような活動を行いました。新たに組織委員会が中心となって、12月6日に「総明会 若手の会」を明治高校において開催致しました。この「若手の会」は調布新校舎を卒業した7学年を対象とした懇親会であり、安蔵校長の「調布校舎を卒業生の新たなアイデンティティの拠り所としたい」との思いに組織委員会がタッグを組み、若手を中心に企画運営するというものになりました。当日の参加者は決して多くはありませんでしたが、安蔵校長をはじめ、先生方にも出席頂き、若い力が漲る懇親会となりました。今後も定期的に開催し、まさに総明会の財産のひとつとなるように育てて頂きたいと考えております。

3月10日には本部役員が母校の卒業式に出席し、吉田新会長より卒業生

にご挨拶申し上げるとともに、明治高校の建学の精神にのっとり、伝統ある校風のもとに、有意義かつ立派な活動をした5人の卒業生に総明会賞を授与させて頂きました。

なお、本年度卒業生280名を加え、明治高校の卒業生は16,691名となり、これに旧制中学校卒業者を加えると19,923名となりました。来年3月の卒業生を加えると、旧制明治中学以来の卒業生が2万名を超えることとなります。

5月29日には第22回チャリティーゴルフコンペが、千葉県のムーンレイクC・茂原コースにおいて盛大に開催されました。総明会史上最多の167名が参加することでゴルフ場を貸し切ることができ、青空の下、オール明治のコンペとなりました。

このほか、白駿会や明大中野校友会「武陵会」の総会にも出席し、親睦を深める事が出来ました。なお、9月の朗明会は、これまでの相撲観戦や落語会とは趣を変えて、フラダンスを踊りながらのハワイアンな一日を予定しております。



組織委員会による「総明会 若手の会」

総明会50周年の行事も完結し、本年度の総明会活動は吉田新会長のもとで、落着きを持って活動の内容充実に努めることができました。これもひとえに会員皆様のご協力の賜と感謝申し上げますとともに、今後とも総明会活動にご理解頂けますようよろしくお願い申し上げます。

平成27(2015)年

11月	7日	総会・懇親会(明治大学アカデミーコモン2F)
12月	5日	役員忘年会
12月	6日	総明会 若手の会

平成28(2016)年

1月15日	第一回理事会
2月5日	第一回評議員会
2月16日	高校3年生対象総明会説明会
2月19日	総明会 顧問会
2月26日	武陵会との懇親会
3月10日	明治高校卒業式 明治高校卒業謝恩パーティー
3月11日	第二回理事会
3月12日	新卒業クラス委員との昼食会 大学4年生第1回同期会
3月25日	第二回評議員会
4月6日	明治高校入学式
4月22日	第三回理事会
5月28日	武陵会総会(明大中野高等学校 櫻山ホール)
5月29日	第22回総明会チャリティーゴルフ
6月18日	白駿会総会(京王プラザホテル)
7月2日	評議員・班クラブOB/OG会懇親会
7月15日	第四回理事会
9月10日	明朗会
10月7日	第五回理事会
10月21日	第三回評議員会

平成28年度 会計報告

総明会 平成27年度 一般会計報告

(自)平成27年4月1日～(至)平成28年3月31日

収 入 の 部	支 出 の 部
前年度繰越金	会議費
新入会員入会金	交流費(学校、他)
新入会員永久会費	会報発送費用
学年会費	事務通信費
雑入(会議費、他)	各委員会活動費
雑入(寄付金・ゴルフ委員会)	基金へ組入れ
預金利息	次年度繰越金
合 計	合 計

総明会 平成27年度 基金会計報告

(自)平成27年4月1日～(至)平成28年3月31日

基 金 区 分	平成26年度末残金	平成27年度増減額	摘 要	平成27年度末残金
事業遂行基金	14,347,206 円			14,347,206 円
財政基盤基金	516,000 円	2,000,000 円	一般会計から繰入	2,516,000 円

上記のとおり報告致します。

平成28年3月31日

会 長 吉 田 耕 太 郎

会 計 吉 武 孝 生

監査の結果相違ありません。

平成28年6月8日

監 事 中 河 孝 樹

監 事 狩 野 智 雄

総明会 平成28年度 一般会計予算(案)

(自)平成28年4月1日～(至)平成29年3月31日

収 入 の 部	支 出 の 部
前年度繰越金	会議費
新入会員入会金	交流費(学校、他)
新入会員永久会費	会報発送費用
学年会費	事務通信費
雑入(会議費、他)	各委員会活動費
雑入(寄付金・利息)	基金へ組入れ
	次年度繰越金
合 計	合 計

総明会 平成28年度 基金会計予算(案)

(自)平成28年4月1日～(至)平成29年3月31日

基 金 区 分	平成27年度末残金	平成28年度増減額	摘 要	平成28年度末残金
事業遂行基金	14,347,206 円			14,347,206 円
財政基盤基金	2,516,000 円	2,000,000 円	一般会計から繰入	4,516,000 円

第51回 総明会 特別会計報告

(自)平成27年4月1日～(至)平成28年3月31日

収 入 の 部	支 出 の 部
総会会費収入	総会関係費
総明会より助成金	会報関係費
寄付・広告	運営関係費
合 計	合 計

第52回 総明会 特別会計予算(案)

(自)平成28年4月1日～(至)平成29年3月31日

収 入 の 部	支 出 の 部
総会会費収入	総会関係費
総明会より助成金	会報関係費
寄付・広告	運営関係費
合 計	合 計

総明会設立50周年事業会計報告

(自)平成25年11月10日～(至)平成28年3月31日

収 入 の 部	支 出 の 部
学年・班・クラブ寄付金	会報作成費用
個人寄付金	消耗品費
チャリティゴルフ寄付金	事務通信費
企業広告収入	保管料
預金利息	次年度繰越金(保管発送料)
合 計	合 計

総会委員会 活動報告

総会委員会 副委員長

町側 尚則

昨年度の幹事学年、「昭和戊辰乃会」による第51回総会・懇親会が平成27年11月7日（土）に明治大学アカデミーコモンにて、大盛況で開催されましたこと、総会委員会と致しまして、ご参会頂きました総明会会員の皆様方に厚く御礼申し上げますと共に、幹事学年の企画運営、心より感謝申し上げます。

安川実行委員長をはじめ、各委員長



の統率で、同期が丸となり手作りで感での諸先輩方へのおもてなしが功を奏した結果だと確信しています。

我々総会委員会も本年度、染谷貴男委員長（昭和57年卒明魂会）・大山輝芳育成担当副委員長（昭和59年卒明心会）・藤原輝夫動員担当副委員長（昭和59年卒明心会）・栗本宜長懇親会担当副委員長（昭和61年卒新世輝）・町側尚則（昭和60年卒闘紺会）総会担当副委員長の4名と多くの委員会メンバーで、定例会や式典分科会での幹事学年をサポートしています。

本年度幹事学年、平成改元会は昨年より積極的な活動をしており、本年の総会・懇親会は11月20日（日）セルリアンタワー東急ホテルにて開催致します。若手会員も参加しやすい内容と、皆様方に楽しんで頂ける様に昨年に負けない企画を練っています。

是非、1名でも多くのご同期の方をお誘い頂きご参会頂きますよう、幹事学年共々、心よりお待ちしております。



会報委員会活動報告

会報委員会 委員長
関川 一浩

総明会会員の皆様、本年も会報誌「紫紺の詩」をお読み頂き有難うございます。本年より、会報委員会委員長を務めます昭和57年卒 関川一浩です。

会報委員会はここ数年、会報誌発刊のほか総明会50周年記念行事として、記念誌刊行、会報誌のネーミング制定等のイベントを行い、新たな時代を迎えたと実感しております。

本年の幹事学年は「Brand-New Pride」ともにつくれ！あらたな誇り！「伝承と革新」をテーマに活動を進めて参りました。皆様、表紙をご覧になって、「あれ？いつもと違う！」と思われましたか。また、特集をご覧になって「おや、今年の会報は違うぞ！」と驚かれた方が多かったのではないのでしょうか。実は、ここに本年の幹事学年の想いが詰まっております。

それは、「とにかく、会報誌をより多

くの方に目を通して頂くこと。そのためには、「届いた会報をまず開いてもらう」「視覚的なアプローチを増やし、読み易くする」という発想がありました。会報誌は毎年、幹事学年の創意工夫と努力奮闘の結晶だと思います。

是非、このことを頭の片隅に置いていただいて、目を通していただけますと幸いです。

50年の伝統のある同窓会の会報誌として、新たなスタイルを目にされた皆様におかれましては御理解をいただき、ご覧いただくことをお願い致します。また、今までご覧頂けなかった方々もこれを機会にご覧いただき、総明会に少しでも興味を持っていただければ、彼らの努力が報われます。

また、本年は広報委員会から復刊された機関誌「M」も同封されております。広報委員会活動とも連携をとりな

がら、会報の編纂を進めております。総明会は50年を経て新たな時代に入って参りましたが、今後とも会報誌「紫紺の詩」と「M」を通して、皆様へ学校や総明会の情報をお届けしたく、幹事学年と共に頑張つて参ります。今後とも会報委員会の活動へのご理解とご協力の程、宜しく願ひします。



総務委員会 活動報告

総務委員会 委員長

須藤 貢一

総明会会員の皆様、いつも総明会活動に御協力頂き、誠にありがとうございます。総務委員会としては、微力ながら総明会のお手伝い出来ればと考えております。

ところで、皆様の中には、総務委員会がどのような活動をしているか分からない会員の方々も大勢いらっしゃると思います。

大変簡単な説明で恐縮ですが、現在は以下の役割を総務委員会が担っております。

①年3回（1月、3月、10月）の 総明会評議員会の準備及び運営 （具体的業務）

評議員会開催のための会場の予約及び受付業務並びに評議員会での議事録作成を行います。

②評議員・班クラブOB・OG会 懇親会（7月）の準備及び運営 （具体的業務）

評議員会開催のための会場の予約及び受付業務を行います。

③総会（11月）での議事録作成

④忘年会（12月）の準備及び運営

忘年会開催のための会場の予約及び受付業務を行います。

以上ですが、会社の総務部の部署を想像して頂くと、身近に感じて頂くことが出来ると思います。常日頃、総明会会員の皆様の前に出て様々な業務を行うこともなく、縁の下で総明会を支えていく地味な委員会ですが、議事録の作成や各委員会との打合せ等、管理運営に関し大変重要な委員会ですので、総務委員全員誇りを持って活動しております。今後とも宜しくお願いします。



組織委員会活動報告

組織委員会 副委員長

高橋 浩

組織委員会副委員長の昭和58年卒明輪会の高橋浩です。組織委員会には幹事学年を務めた2010年の翌年より参加しています。

明治大学法学部を卒業した後、明治大学職員として働いており、現在は中野キャンパスで国際日本学部と総合数理学部の学生の就職相談を主たる業務としています。明治高校を卒業した大学3・4年生の相談にのることもあります。

2015年は組織委員会として、「OB・OG進路相談会」などの明治高校学校行事への支援や安藏伸治校長とともに「若手の会」の拡大を図るなど、いくつかの新しい試みを行いました。会報の誌面をお借りして、紹介させていただきます。

平成27(2015)年

①2月17日(火)総明会説明会 明治高校鶴澤總明ホール

高校卒業を控えた高校Ⅲ年生を対象に総明会の説明を行いました。

②3月3日(火)大学4年生 第1回同期会明治高校多目的ホール

大学卒業を控えた大学4年生(平成23年卒)の同期会に参加させていただきました。恩師の先生方4名の出席もあり、17名の出席者の多数決により5つの候補の中から、同期会の名前は「共楽会(きょうがくかい)」に決定しました。

③3月14日(土)高校Ⅲ年生クラス幹事との食事会 万世橋 フクモリ

明治高校を卒業したばかりの学年の各クラスから2名を招待して総明会役員・組織委員との昼食会を行いました。学年での横のつながりや総明会への理

解を深めてもらうことを目的に行っている行事です。卒業生6名と総明会側から7名の参加がありました。

④5月23日(土)ようこそ先輩 明治高校鶴澤總明ホール

明治高校でキャリア教育の一環として、毎年開催している行事です。これは明治高等学校の卒業生で、現在社会で活躍されている方をお招きし、現職に対する取り組みや姿勢、高校時代に進路で悩んだことなどを高校Ⅱ年生を対象にお話しし、生徒の将来の生き方や進路選択の一助とすることを目的とし



たものです。組織委員会から講師の候補として、明治高校出身の明治大学職員を2名推薦しました。

⑤ 6月13日(土) 高校Ⅲ年生対象
OB・OG進路相談会

明治高校で進路指導の一環として、毎年6月にOB・OGによる進路相談会を開催しています。例年は大学4年生が講師役となり、持ち回りで明治高校高大連携主任の関根正人先生が、一人ひとりに声をかけて集めていたそうです。今回は、就職活動の後ろ倒しの影響を考えて、講師の学年を変更しました。社会人1年目と2年目の三浦直人委員(平成23卒…共楽会)と亀屋将紀組織委員(平成23卒…明雄会)が中心となり、同期のネットワークを駆使して、講師を11名集めて開催されました。今後の課題として、講師の対象を社会人1年目で行う場合、地方転勤の場合もあり、各学部バランスを考えた人集めの困難さがあげられます。

⑥ 7月1日(水) 組織委員会法曹部会
旗揚げ 紫紺館2階校友会会長室
法曹(弁護士)有志を中心に総明会

及び母校明治高校の一層の発展に助力する趣旨のもと、組織委員会の下部組織として設立されました。

⑦ 8月27日(木) 第3回明治大学教職員明高会 新宿西口 旅籠

明治大学では明治高校卒業生の教職員が52名勤務しています。向殿政男総明会名誉会長のご意向もあり、3回目を迎えた今回は、安藏伸治校長、遠藤憲治PTA会長の参加もありました。当日の参加された方々には「大学4年生卒業前の同期会」「若手の会の今後」などのアンケートに答えていただきました。大学教員・高校教員・大学職員など異なる立場から、総明会の若い世代の方々をサポートするお考えをいただきました。

⑧ 9月26日(土)・27日(日) 紫紺祭

明治中学校・高等学校の文化祭において、総明会の広報活動の一環としてブースを1階に設置しました。

⑨ 12月6日(日) 若手の会 明治高校
多目的教室

組織委員会では、大学在学年次の4学年の総明会会員が集う「若手の会」

をクラス代表幹事の方々と共に開催しておりました。平成27年度は、明治高等学校 安藏伸治校長から「母校での開催」のご提案もあり、規模を拡大して開催いたしました。対象としたのは、調布キャンパスで卒業を迎えた平成21年卒業から平成27年卒業の7つの学年のクラス委員です。明治高校の安藏校長先生をはじめとした先生方のご参加もあり、今までとは違った幅のあるOB・OGの交流会となりました。社会人と大学在学生在が、進路や学生生活について語り合う場として、今後も続けていきたいと考えております。

.....

今後の方針

若手の会の周知と広報の方法の工夫、大学在生には大学を卒業するまでに同期会の名前を決めてもらうことへの働きかけ、明治中学・明治高校在学生への支援と広報、OB・OG進路相談会の進め方など試行錯誤をしながら、できることをできる範囲で行う支援を続けたいと考えています。

企画委員会活動報告

企画委員会 副委員長

横山 一実



平成27年9月5日(土)午後2時より毎年恒例となりました「明朗会」が行われました。

今年度は「明朗寄席」と題し、日本橋茅場町の老舗「鳥徳」さんにて、明高

平成7年卒の立川志獅丸さん、女性落語家の立川志ら鈴さん、そして女流三味線漫談の三遊亭小円歌師匠をお招きし、伝統芸能と名物鶏鍋をご堪能いただきました。

当日、まずはとても可愛らしい立川志ら鈴さんにご登壇いただきました。続きましてテレビや寄席でご活躍中の女流三味線漫談の三遊亭小円歌師匠のご登場。中入りのお菓子タイムをはさみ、とりは立川志獅丸さんにご登場いただきました。出演者の皆様にはいろいろと質問をさせていただき、また先輩方からは出演者の方へたくさんのご祝儀を頂戴いたしました。

大先輩方も終始大笑い、大変お楽しみいただけました。

寄席がハネた後は、同会場にて懇親会を開催いたしました。

まずは尾島会長よりご挨拶をいた

き、昭和31年卒の佐藤氏の乾杯のご発声で楽しい会が始まりました。出演者の皆様にもご参加いただき、嘶家さん色紙&明治グズ争奪戦「じゃんけん大会」を催し、大盛況の懇親会となりました。また総明会幹事学年からの挨拶もあり、大先輩より温かいお言葉と励ましをいただきました。

大詰めは恒例の明治高校校歌を昭和45年卒・応援指導班の比留間氏の指揮のもと、全員で声高らかに斉唱いたしました。

散会後は全員で鳥徳さんをバックに笑顔の記念撮影。

今回の「明朗会」を開催するにあたり、多くの方々のご協力をいただきました。

幹事学年をはじめ、ご寄付等を賜りました皆様に感謝申し上げます。これからの「明朗会」をさらに諸先輩方に楽しんでいただけますよう、より良い企画を考えて参ります。

今後とも御参加頂けます様、何卒宜しくお願い申し上げます。

平成 27 年 明朗会出席者

卒年		氏名	卒年		氏名
25	明二会	牛久 順之	39	三九会	若松 弘昌
27	明高会	目崎 裕昭	40	明優会	小原 義久
28	八明会	持丸 孝雄	41	四一明友会	尾島育二郎
ご同伴	八明会	持丸令夫人	41	四一明友会	菊池 博道
29	29会	山本 峰司	41	四一明友会	広瀬 準
31	明楽会	大出 育男	42	M41	結城 康郎
31	明楽会	佐藤 健一	43	紫讃会	中村 正容
31	明楽会	土田 饒	44	男坂倶楽部	中河 孝樹
31	明楽会	斉藤 弘	44	男坂倶楽部	栗田 茂
31	明楽会	柴田 信治	44	男坂倶楽部	佐伯 正
32	明治会	大塚 和哉	44	男坂倶楽部	藁谷 豊
33	三三会	米山 武男	45	獅子の会	桜井 久昭
35	珊瑚の会	丞村 裕次	45	獅子の会	笹本 和義
36	明駿会	加藤 真義	45	獅子の会	比留間竹郎
36	明駿会	神野 武美	47	四七四七同志酔会	内田 茂
36	明駿会	山田 和孝	51	明々会	岡本 雅仁
36	明駿会	坪井 弘	52	男子校根性組	大西静士郎
36	明駿会	長井 義正	52	男子校根性組	齋藤 弘幸
36	明駿会	前田 正彦	54	明誠会	志村 和哉
36	明駿会	高橋 孜典	54	明誠会	熊倉 章雄
36	明駿会	秦 秀行	57	明魂会	小林 謙之
36	明駿会	吉田 光夫	61	新世輝	土田 正昭
38	二年に一会	井上 進治	61	新世輝	横山 一実
38	二年に一会	関戸 淳一	63	昭和戊辰の会	川角 光太
ご同伴	二年に一会	関戸令夫人	63	昭和戊辰の会	諸井 右一
38	二年に一会	辰口 秀雄			



広報委員会 活動報告

広報委員会 委員長
衛藤 雅一

広報委員会の活動についてご報告させていただきます。広報委員会はこれまで総明会のホームページの運営管理を通して会員の皆様へ総明会の活動情報を提供してきました。

今年度からはこれに加えて若手会員への情報発信も担うことになりました。

新たに総明会会員になれる方々に向けた総明会の紹介と『M』の復刊です。前者の総明会の紹介は、組織委員会と協力し、「若手の会」開催時に総明会とはどういうものかということをお知らせするパンフレットの作成になります。後者は、平成5年から11号にわたり発行されていた

『M』の復刊になります。

この二つの発行物を作成するために平成23年卒の三浦直人さんを中心に林田こずえさん、高橋凌士さん、平成24年卒の朝倉貴紀さん、平成26年卒の土屋弦さん、平成27年卒の岩田滂夏さん、平成28年卒の北澤日菜子さんの7名体制で活動をしてい

ただいております。

広報委員会はこの二つの活動を中心に、関係する各委員会と連携をとりながらタイムリーで有意義な情報発信を目指して活動が続けてまいります。

なお、昨年の総明会50周年記念誌の発行を機に過去の会報と号外をホームページから閲覧できるようにしておりますのでぜひ、お時間のあるときに閲覧をしていただければと思います。

これからも広報委員会活動にご理解いただきご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



名簿委員会 活動報告

名簿委員会 委員長
鴨下 裕彦

吉武委員長の後任として会員名簿の管理をすることになりました昭和56年卒明翔会の鴨下です。宜しくお願い致します。よく整備されたデータを見ると歴代の委員長のご苦労がひしひしと伝わり、これを受け継ぎ、維持させなければならぬ重圧を感じています。

名簿委員会では、毎年会員の皆様へお届けしております会報『紫紺の詩』の発送業務をはじめ、評議員会やゴルフ、明朗会等への宛名シールの提供を行っております。名簿自体はデータ化されておりますが、データでのやり取りは、個人情報流出事故の危険性も高く、宛名シールに必要な分のみプリントして、配布するやり方を実施しております。

会報『紫紺の詩』は、住所の登録がある全会員1万2千名余の方に送付しておりますが、毎年さまざまな理由で、多くの会報が返送されて参ります。ちな

みに昨年の返送理由ですが、1. 宛先不明422通、2. 不在期限切れ15通、3. 旧住所表示の為、配達不能6通、4. 配達中の毀損により配達不能3通、5. 受取拒否5通、6. 逝去により返却5通、全部で456通ありました。

幹事学年の汗と涙の結晶である会報をできるだけ多くの会員の皆様へお届けしたいと思い、各学年の名簿委員や評議員の方に同期の方の名簿の調査をお願いしたところ、皆様ご快諾頂き、速やかに連絡を頂戴しました。皆様のご協力に對して厚く御礼申し上げます。まだご連絡頂けてない学年の方、まだお待ちしております。是非、ご一報ください。

同窓会とは、懐かしい顔が集まり昔話から近況を語り合い、楽しい時間が流れる場所だと思えます。まず、より多くの懐かしい顔に集まってもらわないと始まりません。お引越しの時は勿論、同期

の方の転居のご案内等の情報がございますたら是非ご一報ください。正確な名簿は、同窓会の要です。また、同期会のご案内を出されます幹事の皆様、ご連絡頂ければ、御依頼の宛名シールの出力致しますので、是非ご活用ください。

名簿は大切な個人情報ですので、これからもプライバシーポリシーのもと厳格な管理を心がけて参ります。皆様のご協力を引き続きお願い致します。

住所変更・宛名シール出力等の連絡先..

総明会事務局長 59年卒 平野一哉

メールアドレス k_hirano@motoyuki.jp

FAX 047-1354-7070



(口頭での誤認防止のため、恐れ入りますがFAX、メールでのご連絡をお願いします。また、同期会の宛名シール出力は、1回千円となります。ご了承ください。)

ゴルフ委員会活動報告

平成元年卒 平成改元会

油谷 敏昌

本年度で22回目を数えることになりましたチャリティゴルフ大会は5月29日(日)、千葉県のムーンレイクゴルフクラブ茂原コースにて、快晴の空の下開催されました。

今回は、31世代、総勢史上最多の167名にご参加頂き、初めて「オール明治」での貸切り開催を実現することができました。また、貸切り開催ならでは、4つのホールから同時にスタートする「ハーフ・ショットガンスタート」を取り入れ、大会表彰式時間短縮の取り組みも行われました。

競技は、新ペリア方式で行われ、「個人戦」「学年・班・クラブ対抗戦」「大名人戦」「名人戦」に加え、平成卒参加者対抗の「平成ジャンプ賞」、ワンダーコア、ルンバ、お風呂テレビなどの「特別賞」を含む64の賞品を競い合いました。またプレーヤーに平成卒が増えたこと

もあり、ドラコン賞は力で勝る平成卒が独占、ニアピン賞は技で勝る昭和卒が独占といった世代の幅の広がりを象徴する表彰もあり、パーティーも大いに盛り上がりました。

そして大会の締めくくりとして、応援団OB、平成6年卒大掛勇人氏のリードにより、全員で校歌を斉唱し盛況の中、閉会することができました。



最後になりましたが、母校へのチャリティにご協力頂いた参加者の皆さま、ご協賛、ご寄付を賜りました皆さまに心より御礼申し上げます。来年度第23回大会へのご参加もよろしくお願い申し上げます。





個人戦優勝 永井 建氏
(昭和 59 年卒 明心会)

個人 順位戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GROSS	HDPC	NET
	優 勝	永井 建	S59	39	38	77	7.2	69.8
	準優勝	渡辺 欣信	S54	42	42	84	13.2	70.8
	3 位	栗田 茂	S44	41	46	87	15.6	71.4
	ベスグロ	齊藤 公義	S46	40	37	77	4.8	72.2

学年 対抗戦		卒業年	代表選手名		NET
	優 勝	S54 明誠会 チーム M	木村 誠		216.6
			黒澤 徹		
			渡辺 欣信		
	準優勝	S46 明潮会	木村 茂		216.8
			齊藤 公義		
			渡辺 弘之		
	3 位	S60 闘魂会 チーム J	宮島 賢		217.6
			平林 康稔		
			森田 聡一		



学年対抗戦 優勝
昭和 54 年卒 明誠会 M チーム

名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GROSS	HDPC	NET
	優 勝	栗田 茂	S44	41	46	87	15.6	71.4
	準優勝	中尾 恵則	S43	39	41	80	8.4	71.6
	3 位	木村 茂	S46	38	42	80	8.4	71.6

大名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GROSS	HDPC	NET
	優 勝	宇田川雄弘	S30	50	47	97	24.0	73.0
	準優勝	村嶋大三郎	S34	46	45	91	18.0	73.0
	3 位	高澤 年晴	S39	50	48	98	24.0	74.0

全31学年、先生及び父母会による「個人戦」、各学年代表者3名または選抜チームによる「学年・班・クラブ対抗戦」のほか、「大先輩名人戦」として昭和37年卒から昭和46年卒までの先輩方による「名人戦」、昭和36年卒以前の先輩方による「大名人戦」が行われました。
4位以下の方は誌面の関係上省略させていただきました。

寄付ご報告（金一封）

吉田耕太郎 様	金壹萬円	下田 敬一 様	金壹萬四千円
尾島育二郎 様	金壹萬円	吉武 孝生 様	金壹萬円
関谷 芳久 様	金壹萬円	近藤 敏彦 様	金壹萬円
井家上哲史 様	金壹萬円	鴨下 裕彦 様	金壹萬円
山崎 秀樹 様	金壹萬円	平野 一哉 様	金壹萬円
佐藤 健一 様	金壹萬円	田中 重幸 様	金壹萬円

学校チャリティー報告

寄付 11 万 7 千円

賞品寄贈

山浦 晟輝 様	ディズニーランドペアチケット
明 楽 会 様	バター 2本
栗田 茂 様	バット 5本
大野 太郎 様	ボストンバッグ
宮井 俊樹 様	アースモンダミンカップ観戦チケット
ムーンレイクゴルフクラブ茂原コース 様	キャディバッグ

熊本地震義援金

日本赤十字寄付 5 万円

※多大なご寄付とご協賛を賜り、誠に有難うございました。

前年度幹事学年挨拶

第51回総明会実行委員長

昭和63年卒 昭和戊辰乃会

安川 琢哉



平成元年卒「平成改元会」の皆様、総明会第52回総会・懇親会の開催、誠にありがとうございます。

昨年は昭和最後の卒業生として、我々「昭和戊辰乃会」が幹事学年を務めさせて頂きました。当日はご多忙の中、予想をはるかに上回る多数の皆様にご来場いただきました事、また、

この開催にあたりまして、御協力頂きました関係皆様、全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

今後の未来ある総明会に向けて、何か一石を投じることが出来ればとの思いで、同期一同、頑張つてまいりました。先輩方、後輩はもとより、校友との交流は、かけがえのない最高の財産。それは、この一年間、色々な先輩同期会やOB会にお邪魔して、感じたこと！

そして、この幹事学年で経験した一年は、きっとこれからの人生をさらに充実させてくれることと思います。何十年ぶりに再会した同期との絆、先輩・後輩との繋がり、これもまた、総明会があるからこそ。普段のしがらみから解放され、青春時代を共に謳歌した仲間との語らひは、格別でした。その気持ちは「平成改元会」へ伝えられたと思っております。

何年後何十年後も、この交流

がより深まり、この想いが継続出来るよう、これからもバックアップしたいと存じます。

幹事学年も「昭和」から「平成」の時代へ!! 世の中間様、様々に変化していきます。これをきっかけに、先輩諸君には、「これまで」にこだわり過ぎず、色々なやり方でこの総明会を盛り上げていつていただければ最高だと考えております。根つこの部分は変わらないですからね!

「平成改元会」の皆さんも、自分達の信念のもとにチャレンジしている様子が随所に見受けられ、非常に頼もしかったです。総会・懇親会まであともう少しです。大変なことはまだまだあるかもしれませんが、是非、同期皆で楽しんで乗り越えて下さい。その先には、必ず最高のステージが待っています!

「平成卒」初つ端の第52回総会・懇親会の大成功を信じております。

次年度幹事学年挨拶

第53回総明会 事務局長
平成2年卒 明愛会

今泉 仁

第52回総明会総会・懇親会の開催に際しまして、次年度幹事学年一同、心よりお祝い申し上げます。総明会役員・執行部の諸先輩並びに学校関係者の皆様の多大なる母校愛を持ったご尽力に大変感謝致します。また今回の幹事学年の「平成改元会」の先輩方には、伝統を引き継ぎ、更に発展させる為のきめ細かい準備と団結力に対し、深く敬意を表します。更に「明治魂」「明治愛」を目の当たりに拝見し、我々に学生時代を思い返させて頂く事に繋がり、厚く御礼申し上げます。

「平成改元会」の先輩方は、卒業年が昭和から平成へ元号が変わった年でした。一学年後輩の我々も、元号が変わるという時代の節目を明治の学び舎にて一緒に過ごした事で、同じような気持ちを持って明治と向き合っていると感じて

おります。

そんな先輩方から総明会幹事学年の準備のお声を掛けて頂いたのは、今年の二月の事でした。「同期会の名前が無い」「同窓会もしていない」我々に、今年度総明会へ向けた準備の真つただ中に、「幹事学年の役割」「今からやるべき事」等を丁寧に教えて頂き、いつの間にか同期内の輪が広がり、次年度総明会に向け一歩ずつですが、先輩方に追いつくべく勉強をしているところ です。

先輩方のOB会等に参加させて頂き、必ず最後に声高らかに歌う校歌は、久し振りに歌うのにも関わらず身体に染み付いており、最後まで先輩方と歌い切れた事に鳥肌が立つ程の懐かしさと共に、「これが明治の力だ」と強く感じました。明治の繋がりを持って「オー明治」と昔のように同

期の仲間と肩を組んで歌いたい気持ちで一杯です。これこそが「明治愛」なのです。

これから諸先輩方の背中を追いかけて、次年度の幹事学年という大役をお受け致します。一人でも多くの同窓の仲間に参加頂き、総明会の更なる発展の為に微力ながら力を尽くして参る所存でございます。引き続きご指導ご鞭撻を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。



本年度幹事学年挨拶

第52回総明会実行委員長

平成元年卒 平成改元会

村嶋 健児

在学時代は特にワンパクだった平成元年卒。先生方は眉間に少ししわを寄せながら、今でもそのように語る。いうことを聞かない、手を焼く連中、それが平成改元会のメンバー。

諸先生・諸先輩の皆様には、心配を掛けることもあるかもしれないが、自らを信じて考えて行動に移す。その力強さを我々は自負している。血気盛んな若人のエネルギー、いわば『健児の意気』は、卒業して30年近く経った今も変わらない。

前へ——。その方向は明治での歩みがあれば互いに違うこととはない。なぜなら、振り返れば我々の後ろには、明治で共に刻んだ道があるから。その道の延長に、これからの道がある。そして、それは我々同期に限られるものではないはずだ。

世代を超え、明治の皆がともに前を切り開いて新たな誇りを築く、伝統に裏打ちされた新たな

な誇りの創出、平成改元会のエネルギーをそこに注ぎ込みたいと考え、この幹事年度の1年を過ごしてきた。

今年のテーマは、
**「Brand-New Pride
ついにこれ！あたたな誇り」**
～ 伝承と革新 ～

とさせていた。いた。

時代は変わる。明治維新がそうであったように、元号が変わるといえるのは、時代の変化の象徴となることを歴史は教えてくれる。そして、その時には「伝承」を重んじながらも、変わる時代に合わせ、大胆な「革新」も必要であることも——。その道理を形にし、具現化するのが、元号の改まった年に卒業を迎えた我々平成改元会の役割ではないか。

ひとつの形となったのがこの会報である。斬新なデザイン、独

創的なコンテンツで、これまでの枠に捉われない形で表現した。より沢山の方々に興味を感じていただき、手にしてもらいたい。

そして、まさにこれから形になるうとしているのが、総会・懇親会である。世代を超えた就活会などを同時に企画している。先輩と後輩、そして伝承と革新を繋ぐことを実現したい。

会報も式典も、伝統を受け継ぎながらも、ライフスタイルや職業などが変わり始めている平成の次世代へと引き継ぐべく、新たな風を吹き込む、これが平成卒の初代幹事としての重要な役割と信じている。

紫紺の旗の下に昭和も平成も集う。伝承と革新が鼓舞し、明治の新たな誇りが生まれる。昭和の風に平成の風が吹き込む瞬間、明治の名が刻まれたその旗は、新たな誇りに揺り動かされ、厳かな音を立てながら、大きな弧で未来を描くだろう。

第52回総明会 御寄付者一覽

(敬称略、八月末現在)

学校関係

白駿会

金 9万9千円

同期会・班クラブOB会

三七会

昭和37年卒 金 8万4千円

明優会

昭和40年卒 金 3万5千円

紫讃会

昭和43年卒 金 2万5千円

男坂倶楽部

昭和44年卒 金 8万4千円

獅子の会

昭和45年卒 金 5万7千円

明潮会

昭和46年卒 金 2万6千円

翼明会

昭和49年卒 金 6万5千円

明々会

昭和51年卒 金 5万6千円

明誠会

昭和54年卒 金 13万3千円

紫魂会

昭和55年卒 金 5万4千円

明翔会

昭和56年卒 金 9万8千円

明魂会

昭和57年卒 金 8万8千円

明輪会

昭和58年卒 金 4万円

明心会

昭和59年卒 金 10万4千円

闘紺会

昭和60年卒 金 5万2千円

新世輝

昭和61年卒 金 9万円

明猿会

昭和62年卒 金 4万9千円

昭和戊辰乃会

昭和63年卒 金 15万円

軟式テニス部OB会

金 2万7千円

明雪会

金 2万5千円

明水会

金 8万4千円

卯の木会

金 5万8千円

吹奏楽班OB・OG会

金 6万5千円

應援團OB会

金 5万7千円

フェンシング部OB会

金 2万7千円

ヤマダ大感謝祭

金 9万8千円

ごとう会

金 2万8千円

班・クラブOB会

金 5万2千円

明治高校卒

町側 尚則 昭和60年卒 金 1万円

明治大学職員有志一同

金 1万6千円

個人

平野 一哉 昭和59年卒 金 10万円

渡辺 智郎 昭和60年卒 金 3万3千33円

小田川玉城 昭和25年卒 金 3万円

狩野 智雄 昭和56年卒 金 3万円

赤岩 大輔 昭和62年卒 金 3万円

原 健治 昭和60年卒 金 2万円

比留間竹郎 昭和45年卒 金 1万円

石山 雅範 昭和45年卒 金 1万円

廣野 宏士 昭和47年卒 金 1万円

後藤 勇三 昭和50年卒 金 1万円

染谷 貴男 昭和57年卒 金 1万円

大塚 達宏 昭和58年卒 金 1万円

阿部 伸明 昭和60年卒 金 1万円

安川 琢哉 昭和63年卒 金 1万円

幹事学年 寄付者一覧

石井 一光	杉山 純也
伊藤 貴淳	鈴木 篤忠
内田 雅人	鈴木 真樹
榎本 雄峰	瀧 慎一郎
大塚 太郎	田中 潤二
大宮 美行	田中 博樹
小川 和弘	田中 康成
尾関 伸浩	田原 秀範
片山 祐司	中西 一成
川上 義洋	西原 崇
川口 貴之	野尻 栄一
菊池 源	野房(福本)恵
木村 秀生	原 康史
木本 春樹	福井 一彦
小林 太	福島 維規
小室 毅郎	伏見 成司
小柳 貴裕	北條 勝彦
佐野 崇	水野 勇
澤村 大樹	美濃部 健太郎
四手 宏尚	三宅 博史
篠田 守建	村嶋 健児
柴山 圭一	山下 博之
嶋田 剛久	山田 健人
清水 力	横島 高之
下 真一郎	吉井 昭

御 礼

この度は第52回総明会総会及び懇親会開催、並びに会報誌「紫紺の詩」の発行にあたりまして、大変多くの皆様からご寄付及び広告掲載を賜り誠にありがとうございます。深く感謝申し上げます。

今年度は平成初の卒業生である私達「平成改元会」が先輩方のご指導ご支援を頂きながら総明会の幹事学年を務めて参りました。早いもので平成も今年で28年の年月を重ね、社会情勢・経済状況も大きく変化し、明治高校・中学校を取り巻く環境も同様に大きく変化してまいりました。

そんな変化を繰り返す平成という時代にも関わらず、先輩方の同期会・班クラブOB会にお邪魔させて頂くと、そこには必ず明治を愛する気持ちと後輩である幹事学年を温かくご支援頂ける空気が変わらず満ちておりました。他校の同窓会のことを知る機会は殆どありませんが、「やつぱり明治がナンバー1」であることを強く認め

識することが出来た1年となりました。温かいご支援本当にありがとうございます。

11月20日の総明会総会・懇親会でお会いできることを楽しみにしております。総会・懇親会場で改めて御礼させて頂く所存ですが、まずはこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

総明会も少しずつ革新を重ねスタイルも変化していくかもしれません。しかし、明治の名の下に後輩である幹事学年を支援し続ける伝統は守り、来年の幹事学年「明愛会」にも今年以上のご支援をお願い致します。

最後になりましたが、明治高校・中学校並びに総明会の益々の発展を祈念し簡単ではございますが御礼の挨拶とさせて頂きます。

平成改元会 寄付広告委員長

美濃部 健太郎

総明会(明治大学付属明治高等学校同窓会) 会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、総明会と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助することを目的とする。

(事業及び会計処理)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 母校に対する賛助活動を推進すること。
2. 会員名簿を整備、管理すること。
3. 会報などの広報物を発行すること。
4. 同期会の結成を助成し、奨励すること。
5. 支部OB会の開催を助成し、奨励すること。
6. その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

② 前項に定める事業はすべて一般会計として処理する。ただし、会長は、理事会の議決と評議員会の承認を得て、前項1号ないし6号に定める一部

もしくは全部を特別会計として処理することができる。

(事務局、所在地)

第4条 本会の事務を行うために事務局を設ける。

② 事務局は、明治大学付属明治高等学校内に置く。

第2章 会員

(会員資格)

第5条 本会は、旧制、新制明治中学校、明治大学八丈高等学校もしくは明治高等学校の卒業生ならびに同校に在籍したことのあるものを会員とする。

(入会金及び終身会費)

第6条 会員は、入会の時に入会金及び終身会費を本会に納入するものとする。入会費及び終身会費の額ならびにその徴収の方法は、理事会が明治大学付属明治高等学校校長(以下「校長」という)の同意を得て定める。

(特別会員)

第7条 母校の教職員であるもの及びその職

にあつたものを特別会員とする。

② 特別会員は、本会が行う事業に参加することができる。

第3章 役員

(役員の種類及び定員)

第8条 本会に理事10人以上20人以内及び監事2人を置く。

② 本会に会長1人、副会長3人以上、専務理事1人、事務局長1人、会計1人を置く。

③ 必要であれば、本会に常務理事を若干名置くことができる。

(役員の選任)

第9条 会長及び副会長の選任は、別に定める「会長及び副会長選出規定」に基づいて選定し、理事会及び評議員会の承認を受け、総会の決議をもってこれを選任する。会長及び副会長はその就任と同時に理事となる。但し、任期中途で会長及び副会長を補充すべき場合は、「会長及び副会長選出規定」に準じて選定し、理事会及び評議員会

の承認を得て選任することができる。
この場合は選任直後の総会において承認を得るものとする。

② 会長及び副会長以外の理事並びに監事（以下「会長選任役員」という）は、会員の中から、会長が選任する。
会長選任役員は、選任後最初の評議員会の承認が得られなかったときは、選任されなかったものとみなす。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員のないように直ちに役員を選任しなければならない。

③ 専務理事、常務理事及び事務局長並びに会計は、副会長の同意を得て、会長が理事の中から選任する。

④ 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

⑤ 会長は、副会長の同意を得て、いつでも会長選任役員を解任することができる。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員の無いように直ちに役員を選任しなければならない。

⑥ 理事は評議員を兼務できない。

（理事会）

第10条 本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。

② 理事会は理事をもって構成する。

③ 理事会は会長がこれを招集する。

④ 理事会の議長は、会長又は会長が指名したものがこれにあたる。

⑤ 理事会の議事は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

⑥ 理事は書面により理事会の決議に加わることができる。

⑦ 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。

（会長等の職務）

第11条 会長は本会を代表し、会務を総理、執行する。

② 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した順位にしたがい会長の職務を代行する。

③ 専務理事は、会長の指揮のもとに会務を総括してつかさどり、かつ事務局を総括する。

④ 常務理事は、専務理事を補佐する。

⑤ 事務局長は、専務理事の指揮のもとに事務局を統括する。

⑥ 会計は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を行う。

⑦ 理事は、会務を分担する。

（監事の職務）

第12条 監事は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を監査する。

② 監事は、監査の結果を定時総会に報告する。

（名誉役員）

第13条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役を置くことができる。

② 名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役は、本会又は母校に永年にわたり特別に功労のあつたものの内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

③ 学校法人明治大学の総長、学長は、その在任中、名誉顧問としてこれを推薦する。

④ 明治大学付属明治高等学校の校長は、その在任中、顧問をそれぞれ推薦する。

⑤ 相談役は、会務に永年にわたり功労のあつた者の内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

第4章 総会及び懇親会

（総会の招集）

第14条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会が必要のあるときに開催する。

② 総会は、会長がこれを招集する。

③ 総会の招集は、本会が発行する会報に掲載し、もしくはその他の方法で会員に通知して行う。

(総会の議事)

第15条 総会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項のうち理事会が提案し、評議員会が必要と認めた事項を総会における審議事項として決議する。

② 総会の議長は、会長又は会長の指名したものがこれにあたる。

③ 総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(懇親会の開催)

第16条 懇親会は、会員の懇親を目的として毎年1回開催する。

② 懇親会の開催に関する事項は、理事会が決定し、評議員会の承認を得て、会長が会員に通知する。この通知は、総会の召集通知に準じて行う。

第5章 委員会

(委員会の設置)

第17条 本会は、第2条の目的の達成及び第3条の規定に掲げる事業の遂行のために必要な事項を調査、研究、審議し、または実施する機関として委員会を設けることができる。

② 委員会は、会則に定めるほか理事会の決議により設置する。

③ 委員会は、委員長1人及び委員2人以上をもつて構成する。

④ 委員会は、理事会の承認を得て会長がこれを委嘱し、委員は、会員及び特別会員の中から会長の同意を得て委員長がこれを委嘱する。

⑤ 委員会は、委員長がこれを主宰する。

⑥ 委員長は、その就任と同時に理事となる。

第6章 評議員及び評議員会

(評議員)

第18条 本会に、卒業学年毎に2人以内の評議員を置く。同期会は、同期会の会員のうちから評議員を選任して本会に届けるものとする。また、総明会に登録した班部OB会毎に1人の評議員を置くことができる。評議員を選任した場合は、本会に届けるものとする。

② 同期会が結成されていないか、もし

くは同期会において評議員を選任できない事情があるときは、会長は当該学年のために同学年の中から仮評議員を選任できる。

③ 総明会に登録すべき班部OB会が結成されていないか、もしくは班部OB会に評議員を選任できない事情がある場合は、評議員を置くことができる。

④ 同期会の評議員と班部OB会の評議員は兼任できない。

(評議員の職務)

第19条 評議員及び仮評議員は、評議員会に出席するほか、本会の事務のうちその属する学年もしくは同期会及び班部OB会の関係で必要な事務を処理する。

② 評議員及び仮評議員は、適宜代行者を選任して評議員会への出席、その他の事務処理を代行させることができる。

(評議員会)

第20条 評議員会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項につき議決する。

② 評議員会は、会長が適宜これを招集する。

③ 評議員会の議長は、会長もしくは評議員の中から会長が指名したものがあ

たり、その進行は事務局長が行う。

④ 評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第7章 同期会

(同期会)

第21条 会員は、学年ごとに同期会を組織するものとする。

② 同期会は、同期会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 同期会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 同期会は、同期会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第8章 班部OB会

(班部OB会)

第22条 会員は、在学中在籍した班部ごとに班部OB会を組織することができる。

② 班部OB会は、OB会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 班部OB会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない

ない。

④ 班部OB会は、OB会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第9章 会計

(会計の分類と会計年度)

第23条 本会の会計処理は、一般会計と特別会計に区分して行い、特別会計はこの会

則に定めのある場合のほか理事会において特に定めた会計に関する会計処理、一般会計は特別会計を除いたすべての会計処理とする。

② 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(基金)

第24条

理事会は、本会の財政基盤を安定させ、また第3条に定める事業の遂行資金を形成するため基金を積立てる努力をしなければならない。

② 基金は、特別会計(以下「基金特別会計」という)で処理する。

③ 入会費、寄付金のうち理事会で基金に組入れることを決議したもの、並びに基金へ組入れることを目的とする寄付金(以下「特別基金」という)は、基金として基金特別会計に計上

し、この会則に定めのある場合を除き支弁することはできない。

④ 基金は、財政基盤基金と事業遂行基金をもつて構成する。

⑤ 基金への組入金は、財政基盤基金の総額に満つるまで優先してこれに充当する。

⑥ 財政基盤基金の総額は、総会の決議により決定しもしくは変更する。この場合、第26条の定め(特別決議)を準用する。

⑦ 財政基盤基金は、原則として取崩すことができない。ただし、総会において承認を得た場合はこの限りではない。この場合、第28条の定め(特別決議)を準用する。

⑧ 基金のうち、財政基盤基金の総額を超える額を事業遂行基金とする。

⑨ 事業遂行基金は、第3条1項1号に定める事業もしくは理事会で決議した事業に支弁するため、理事会及び評議員会の決議によりこれを取崩し、当該事業のために支弁することができる。

⑩ 会長は、緊急に対処を要すると認めた事項(以下「緊急処理事項」という)のために、副会長の同意を得て、事

業遂行基金を取崩し緊急処理事項に支弁することができる。この場合、会長は、緊急処理事項が生じた後、最初に開催される総会において、当該事項の緊急性及び事業遂行基金取崩しの必要性を説明し、取崩しについて承認を得なければならない。

⑪ 事業遂行基金を支弁して行う事業を検討するため、本会に基金事業委員会を設置する。第17条4項の定めにかかわらず、この委員会は委員長1人と委員8人をもって構成し委員は理事の中から委員長が選任する。

(経費)

第25条

本会の経費は、入会費(ただし基金組入れ分を除く)、終身会費及び寄付金(ただし基金組入れ分を除く)並びに一般会計に属する財産から生じる果実その他特別会計に属さない収入をもつて支弁する。

(予算)

第26条

会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。

② 前項により、会長は、その会計年度

の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

(決算)

第27条

本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がこれを総会に提出して報告しなければならない。

② 基金特別会計の決算報告においては、財政基金と事業遂行基金を区別し、それぞれの収支の概要及び決算時の在り高のほか、特別基金の累計額を報告するものとする。

第10章 補則

(特別決議)

第28条

本会の会則の改正は、総会における出席会員の4分の3以上の多数による決議によらなければならない。

(届出)

第29条

会員は、氏名、住所及び職業を変更したときは本会に届け出るものとする。

② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

附則

(経過措置1)

第1条(年会費同期会)

前回の会則の改正が施行された平成11年1月1日以前に会員となつた者で構成される同期会(以下「年会費同期会」という)が納入する年会費については、次に会則改正のあるまで改正前の第7条の定めによるものとする。

第2条(年会費)

同期会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(経過措置2)

第1条(年会費班部OB会)

班部OB会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

第2条(年会費)

班部OB会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(施行期日)

この会則の改正は、平成18年12月3日より施行する。

(参考)

改正前第7条(年会費)

同期会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

.....

総明会会長及び副会長選出規定

会則第9条1項に基づき、会長及び副会長の選出は本規程により行う。

(選出委員会の設置、解散、委員の選出)

第1条 会長及び副会長の選出を行う場合は「選出委員会」(以下委員会という)を設置する。

② 委員会は役員改選又は補充の時期に合わせて、十分な期間を考慮し、理事会が設置する。

③ 委員会の構成は、委員長1人、委員6人とする。委員の選出は理事会及び評議員会で各々3人とする。委員長は会長が指名したものがこれにあたる。

④ 委員会の解散は、総会において会長及び副会長が選出された時点とする。

(会長、副会長の選出、承認について)

第2条 委員会は、会長及び副会長の選出にあたり、推薦及び立候補を受け付け、その者をもつて候補者とする。

② 候補者の中より、会長及び副会長候補者を選出する。選出においては全員一致を原則とするが、定員に絞り込めない場合は、その状態で選出終了とする。

③ 理事会は、委員会より選出された候補者の承認を行う。

④ 評議員会は、理事会で承認された候補者の承認を行う。

⑤ 評議員会において承認された会長、副会長は、総会の決議をもつて、これを選任する。

(理事会の承認)

第3条 委員会より選出された会長候補者が1名の場合、理事会において過半数の信任をもつて承認されたものとする。

② 委員会より選出された会長候補者が2名以上の場合、理事会において投票を行い、最も得票数の多い候補者を会長候補者として承認する。

③ 委員会より選出された副会長候補者が3名の場合、理事会において過半数の信任をもつて承認されたものと

する。

④ 委員会より選出された副会長候補者が4名以上の場合、理事会において投票を行い、得票数の多い順に3名を副会長候補者として承認する。

(評議員会の承認)

第4条 理事会より選出された会長及び副会長候補者は、評議員会において過半数の信任をもつて承認されたものとする。

(会長、副会長の資格)

第5条 会長及び副会長の資格は次の各号のいずれをも満たすものとする。

1. 総明会会員として20年以上在籍していること。

2. 評議員又は理事を経験していること。

3. 立候補届出締め切り時の年齢が70歳未満であること。

この規定は、平成26年11月16日より施行するものとする。

編集後記

平成元年卒
平成改元会
会報委員会

北條勝彦

瀧慎一郎

大宮美行

副委員長・福島維規

WEB化、マンガ、詫び状、
小渕・てへぺろ、意見広告、
棟朝基金、BL。

委員長・水野勇

地球を救うのは愛かも
しれないが、世界を変え
るのはアイデアだけだ。

副委員長・田中潤二

創造は狂気の中に潜む。
退屈は理性の中に潜む。

先生方はじめ、総明会会報委員の先輩方、諸所ご協力くださった先輩方、
まことにありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

そして我が平成改元会の同輩よ、ありがとう。永遠の友情をここに誓う。

平成改元会会報委員一同

住所変更時のお願い

総明会では、総明会会報・総明会からのお知らせが皆様のお手元に、一通でも多く届くよう各学年の評議委員を通じて総明会会員名簿の管理を行っております。お引越しなどで住所が変わられた方は、お手数ですが左記総明会事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先：総明会 事務局長

平野 一哉

電話 047-351-1511

FAX 047-354-7070

(勤務先：株式会社もとゆき 代表取締役)

E-mail k_hirano@motoyuki.jp

お礼・お詫び・お願い

本会報誌の発行にあたり、多くの総明会の皆様から、取材への協力、寄稿および貴重な写真の提供をいただきました。会報委員会一同よりお礼申し上げます。

誌面の都合上、すべてを掲載することはできないことを、ご理解いただきたく思います。また、文章中に不適切と思われる表現や、誤解を招くことは、不快と思われる表現などについては、割愛・変更させていただきます。プライバシーについては最大限の配慮を払い掲載しております。

なお、記事内の文章については会報委員全員で校正いたしました。が、至らぬ点もあるかと思えます。何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

最後に、本誌の企画内容や記事については、平成改元会の水野勇または田中潤二までお問い合わせください。

第52回 総明会実行委員会

実行委員長

村嶋 健児

実行副委員長

瀧 慎一郎

事務局長

杉山 純也

会計委員

横島 高之

ゴルフ委員

油谷 敏昌

式典委員

小柳 貴裕

和氣 眞悟

嶋田 剛久

田中 淳

福井 一彦

鈴木 信宏

美濃部健太郎

寄付広告委員

篠田 守建

川口 貴之

菊池 源

鈴木 眞樹

小室 毅郎

水野 勇

福島 維規

田中 潤二

北條 勝彦

伊藤 貴淳

大宮 美行

会報委員

小林 太

編集長

水野 勇 / 田中潤二

編集

福島維規 / 北條勝彦
大宮美行 / 瀧慎一郎

アートディレクター

島村武史 (昭和59年卒)

制作進行

田嶋慎治 (昭和63年卒)

表紙デザイン

水野 勇

印刷

ふじ・プリント

2016年10月1日発行

※本誌掲載の記事、写真、イラスト、図表の無断転載は固くお断りいたします。
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

揮毫（きごう）

紫紺の詩

筆 向殿政男

「紫紺の詩」は総明会設立
50周年を記念して総明会
会員の皆様から寄せられた
意見を基に決定し、総明会
名誉会長向殿先生に揮毫
いただきました。

「紫紺の詩」の「詩」という
文字は「歌（音）」ではなく、
総明会会員の皆様の心に
残る「詩（言葉）」、「会報」を
表す言葉を意味しています。



次は頼むぞ、
平成2年卒。

発行：明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会 総明会

〒182-0033 東京都調布市富士見町4-23-25

明治大学付属明治高等学校内

TEL 042-444-9100

<http://www.meiji-soumeikai.com>

編集：平成改元会(平成元年卒)

総明会 会報委員会

アートディレクター：島村武史(昭和59年卒)

印刷：ふじ・プリント

2016(平成28)年10月1日発行